

初學作文指掌二編

喻代豹藏編輯
小方孝溥

特34

141

文部省書庫					
二冊	一號	六架	三四兩	屬類	原九〇一號

第三千五百號

子道必行。彷彿道也。然於云。文不在於字。春秋作。寓
五法言。而云。文章。有日。有爭。先。不。遠。實。董。馬。班。韓。柳。歐
蘇。只。各。以。其。才。不。巧。道。於。時。雖。實。其。文。於。筆。以。自。見。猶。時
蔚。華。巨。觀。若。乃。繪。句。雕。章。沾。沾。自。喜。其。人。之。文。不
求。其。文。章。為。甚。哉。雖。然。欲。叙。子。狀。物。文。亦。不。得。不。資
於。此。是。為。一。可。棄。也。此。書。生。既。辨。時。之。詞。源。續。其。地。理
門。其。他。改。了。文。學。以。至。飛。潛。動。植。時。際。出。世。雜。或
虎。豹。不。成。章。孝。親。者。臨。用。加。揀。擇。見。其。於。叙。事
狀。物。思。或。過。半。矣。明。治。十。二。年。冬。三。月。代。納。藏。樓。

志島信忠書

初學作文指掌二編目錄

文話之部

漢土

文章ノ沿革

古文制藝

散文時文

駢體八股

四六古文辭

三丁

書

讀ム熟ヲ要ス

八丁

抄書ノ益

十二丁

文章

速成ヲ望ムベカラズ

譯文

復文

十五丁

作文率易ヲ戒ム

十七丁

熟語之部

地理門

都市

防火

作例

答芳川波山別紙

廿四丁

郵便電信 馬車カウチ 腕車ウラキ

港津ミナト 附海風濤

作例 日光山行記

三十四丁

船舶フネ 航海ウチウミ

作例 南汎錄

驛ウチ 郵ユ

作例 遊奧曆

四十丁

道路 附行樹 街燈

作例 氣燈說

四十五丁

橋梁ハシ 河鐵道

作例 扈駕餘賞

肆店シテイ 商雜

作例 經濟要旨敘

五十四丁

夜商ヨアキウラ 魚市

社寺

作例

遊攝州記
日光山行記
遊館山寺記

六十丁

神會カミツリ 教會

公園

作例 遊東叡山記

七十丁

狹斜イサヤノサチ

家屋 附家具

作例 煉火石造ノ説

八十丁

園池 附養魚 松竹

作例 麻溪紀勝

八十七丁

盆栽ハチウシ 盆景ハチウシ 瓶花ビンカ

遊竹説

以上

タレ氏要スルニ我邦數千年來ノ天下ヲ組織シタルモノハ、
 大半其原質ヲ漢土ニ資ラザルハナシ、其中文字ヲ特ニ著シ
 トナス、今我邦文章ノ一ヲ語リテ、彼邦文章ノ沿革ヲ知ラザ
 ルキハ、猶流ヲ挹ミテ其源ヲ窮メザルガ如ク、畢竟靴ヲ隔テ
 テ痒ヲ搔クノ憾ナキ能ハズ、ユエニ今復初學ノタメニ、聊彼
 邦文章ノ時代ニ因テ異同アル一ヲ説キ示サシ、秦漢以前ノ
 文ハ之ヲ古文トイフ、古文ノ名ハ何時ノ年代ヨリ始マリシ
 ヤ、今得テ知ル能ハザレ氏、思フニ漢以後駢體ノ文、世ニ盛ナ
 リシ頃ヨリノ稱ナルベシ、後世韓愈字宗元字退之柳子厚ヲ始トシテ、
 世ニ作者アリト雖、之ヲ學フ者ハ、オモニ專門擅業ノ學者ノ

ミニ止リ、世俗一般ニハ、其時代ニソレソレ俗文トイフモノ
 アリテ、通用スルト見エタリ、サテ此古文トイヘルハ、句法ニ
 長短ノ定格ナク、章法篇法モ亦最自在ナルモノニシテ、決シテ
 後世ノ四六ヤ、八股ノヤウニ、規則ニテ束ネタルモノトハ異
 ナリ、其句法ニ長短參差ノ不整アルヨリ、又之ヲ稱シテ散文
 トモイフ、サレ氏又決シテ散漫不法ナルモノニモ非ズ、無法
 中ニ自ラ法アリテ、語句ノ間、上下接連シテ、脈絡斷エズ、何處
 トナク調子ノ響クヤウニ、書クヲヨシトス、サレバコソ韓文
 公モ、言ノ長短、聲ノ高下ト皆宜シトハ謂ハレタルナリ、東漢
 以來、駢體ノ文盛ニ世ニ行ハレテヨリ、文章萎靡シテ振ハズ、

唐ニ至リテ韓退之、柳宗元ノ諸老、大ニカヲ古文ニ用キ、是ニ於テ偶儷ノ迹、始メテ一洗セリ、其後五季ノ衰亂ニ會フテ、文章再ビ弊シ、宋興リテ歐陽修、始メテ古文ヲ唱ヘ、三蘇洵字ハ明允、其長子軾字ハ子瞻、王安石字介甫曾鞏字ハ子固諸公之ニ繼ギ、宋ノ古文遂ニ以テ盛ナリ、今世ノ稱スル處ノ八大家トハ是ナリ、我邦慶元偃武以來、文運漸ク開ケ、始メテ八家ヲ推重スルヲ知ル人ハ、京都ニ伊藤仁齋名ハ維楨東涯名ハ胤長ノ父子アリ、江戸ニ室鳩巢名ハ直清アリ、仁齋ハ復古ノ學ヲ唱ヘ、鳩巢ハ宋學ヲ主張シ、學統同ジカラズト雖、要スルニ皆其學該博、其人純正、後學ヲ開キ、來世ニ賜スルヲ大ナリ、但此時代、戰亂纒ニ治マリ、風氣未

開ケズ、加ルニ物徂徠出テ、李王ノ古文辭ヲ以テ天下ニ唱ヘ、其雄才達識、又一世ヲ風靡スルニ足ル、天下ヲ舉ゲテ幾ンド將ニ邪徑ニ墮ントス、鳩巢晚年、駿臺雜話ヲ著シ、其中痛ク李王ヲ排斥セシ語アリ、然レモ救フ能ハズ、徂徠ノ李王ヲ嗜ムハ、猶人ノ昌歎ヲ嗜ムガ如シ、固ヨリ其癖而ルニ又他人ヲ強テ同ク之ヲ嗜マシメント欲ス、豈異ナラズヤ、駢體トハ、其句法ノ揃フテ對スル文ヲ謂フ、駢體ノ文ハ、文氣ノ卑弱ニ流レ易キユエニ、古文家ニテハ最之ヲ嫌ヘリ、コノ體ハ東漢以來行ハル、處然レモ朱子ハ前漢ノ鄒陽ガ獄中梁王ニ上ル書ヲ以テ、已ニ駢體ノ濫觴トナセリ、六朝ニ至リ

テハ益、綺靡ノ體ニ流レ、隋ノ李諤之ヲ論シテ、連篇累牘不出
月露之形、積案盈箱、惟是風雲之狀トイヘルガ如ク、尺文字彫
琢ノ末ニノミ趨ル流弊ヲ生スルニ至レリ、四六ハ唐以來、初
メテ盛ニシテ、制誥、表奏、文檄、祭文等ニ專ラ施スモノニシテ、
四字又ハ六字ヲ以テ句ヲ成シ、其辭ヲ偶儷ニシ、其聲ヲ諧協
ストアレバ、ヤハリ對句ニテ、平仄ノ協フヤフニ作ルモノト
見ユ、右ノ制誥、表奏等ノ文ハ、必^ズ四六ニテ綴ルモノハ、蓋シ宜
讀ノ際ニ方リテ、自^ラ調子ヨク響キテ、讀ム者ニ聳牙ノ患ナ
ク、聽ク者ニ詰曲ノ患ナキユエナリ、
制[○]藝[○]一ニ時[○]文[○]ト稱レ、又之ヲ八[○]股[○]トモイフ、コレハ士子ノ科

場ニ用キル文ニシテ、此レ亦自^ラ一定ノ法式アリ、元來彼邦
ニテハ、昔ヨリ人ヲ取ルニ、進士舉人等ノ科アリテ、經義或ハ
論策等ヲ試ミ、優等ノモノニハ、及第出身ヲ賜フヲ以テ例ト
ナスユエ、士子ノ祿仕ヲ求ムルモノハ、勢此ニ由ラザルヲ得
ズ、其制度ハ代々沿革アリト雖^モ明ニ至リテ、其法益密ニ益嚴
ナリ、隨フテ士ノ此學ヲ講スルモノ、亦益詳ニ益精ニ、唐順之
歸有光諸人出ルニ及ビテ、其法大ニ備ハリ、幾ニド能^ク其奧蘊
ヲ發揮セリ、其文ニハ冒頭、破題、承題、講題、結尾等サマガマノ
法則アリテ、其題旨ヲ講スルニ股ヲ分ケ條ヲ拆キテ、犁然井
然トシテ、網ノ綱ニ在ルガ如ク、枝ノ幹ニ依ルニ似タリ、而シ

テ其行文ハ對偶排比ニシテ、古文ニ比スレバ其格大ニ降ル
 モノトス、此文體、明ニ至リテ備ハルト雖、其法ハ、蓋シ已ニ唐
ニ胚胎セリ、韓退之ノ原毀ハ、大ニ此體ニ似タリ
 古文辭トイヘルハ、明ノ中葉以後ニ行ハレシ文體ニシテ、我
 邦ニハ享保ノ頃、徠翁ノ徒之ヲ奉ゼリ、鳩巢ガ駿臺雜話ニ曰
 久、明氏中葉已後、古文ハ稍衰へ、平易ナルハ鄙俚トナリ、簡古
 ナルハ剽竊トナリ、ソレヨリ天下ノ文章、科舉帖括ノ習ニ落
 テ是ヲ時文ト稱セシカバ、古文ハ復見ルベカラザルヲニナ
 リタリ、此時ニ當リテ、古文ニ志アル人、輩出シテ復古矯俗ニ
 急ナリシガ、韓柳歐蘇ガ文ヲコソ赤幟トナシ、篇ゴトニ掄揚
 シ、句ゴトニ品藻セザルハナシ、然レモ材識高カラズ、蘊蓄深

カラザルニヨリテ、ソノ作ル所ノ文ヲ見ルニ、古ニ似テ古ニ
 非ズ雅ニ似テ雅ニ非ズ、最後ニ李攀龍王世貞ノ徒出テ、ソ
 ノ平易ニシテ俗ニ近キヲ厭フテ、相與ニ奇怪ノ文ヲ造作シ、
 狂蕩ノ論ヲ講張シ、洗洋自恣ニシテ、一世ヲ鼓動シ、海内文章
 ノ柄ヲ操ルヲ、二十年ニ垂ントスト、其文ノ古ニ似テ古ニ非
 ザルハ、諸家ノ之ヲ論ズルヲ詳ナリ、清ノ周亮工ノ書影ニ、李
攀龍
 王ヲ論ジテ曰ク、王李ノ文、徒ニ夫ノ漢以前ノ文ノ無法ニ似
 タルヲ見テ、竊ニ之ニ倣ヒ、決裂シテ以テ體トナシ、鉅釘シテ
 以テ詞トナス、盡ク宋ヨリ以來ノ、開闔首尾、經緯錯綜ノ法ヲ
 去リテ、別ニ一種臃腫窘澁浮蕩ノ文ヲナス、其氣離レテ屬セ

其意卑クシテ其語溢ル、乃真ニ無法ノ至ル者ト、然ルニ我
 邦ニテモ物徂徠ハ英傑ノ資ヲ以テ、誤リテ于鱗ニ心醉シ、天
 ノ寵靈ニ倚リテ、于鱗氏ノ教ヲ奉ズトイフニ至ル、異マザル
 ベケンヤ、同時室鳩巢ハ、之ヲ譏リテ、王氏ノ棄餘ヲ拾フトイ
 ヒ、伊藤東涯ハ、鬼臉ヲ被リテ小兒ヲ嚇ストイヒ、中井履軒ハ、
 之ヲ經ノ燒痕ヲ摸シ、史ノ闕文ニ倣フトイフ、此レニテ古文
 辭ノ弊ハ大抵知ラレタリ、韓柳ノ古文ハ、法ヲ古ニ取レドモ、
 其語ヲ用キズ、李王ノ古文辭ハ、專ラ古語ヲ剽竊スルユ正、譬
 ヘハ九條ノ袈裟ノ如ク、金襴モアリ、綾モアリ、緞子モアリ、縐
 珍モアリ、美ハ則美ナリ、而モ其縫痕ハ掩フベカラズ、故ニ其

文ハ今日ニハ廢レタリ、

書ヲ讀ム熟ヲ要ス

前編ニモ既ニ其大略ヲ述ベレ如ク、歐陽公ノ作文三多ノ訣
 ハ、必^ズ三者トモ相須テ、偏廢スベカラザル^トナレ^レ、其入手ノ
 順序ヨリレテ之ヲ論ズルトキハ、三多ノ中、多看ヲ以テ最初
 ノ門徑トナス、サテ多看ノ博ク羣書ニ涉ル^トハ勿論ナルベ
 ケレド、亦徒馬ヲ馳セテ燈ヲ觀ルヤウニテハ、何程多ヲ貪リ
 得ルヲ務ムルトモ、之ヲ雲烟ノ眼ヲ過グルニ譬ス、一瞥ノ後
 ハ終ニ烏有ニ歸センノミ、此ノ如キハ恐クハ亦歐公ノ意ニ
 ハ非ザルベシ、勿論涉獵ニテ濟ム書モア^レ、余之ヲ兩森芳洲ノ
 氏、ソレハ又格別ノ^ト、

言ニ聞久、云ク、讀書ノ法、五張ヲ讀ム一遍スルハ、一張ヲ讀ム
五遍スルニ如カズ、一張ヲ讀ム五遍スルハ、半張ヲ讀ム十遍
スルニ如カズ、半張ヲ讀ム十遍スルハ、二三行ヲ讀ム二十遍
スルニ如カズ、二三行ヲ讀ム二十遍スルハ、一句ヲ讀ム四十
遍スルニ如カズ、此法ヤ、之ヲ日計スレハ足ラズ、月計スレハ
餘リアリト謂フト、旨アル哉言ヤ、芳洲八年八十一ノ片、始メ
テ和歌ノ道ニ志シ、自ラ謂ヘラク、今ヨリ古今集ヲ讀ム一
千遍ノ後、自ラ賦スル一萬首ナラバ、或ハ少シク通ズル所
アラント、夫ヨリ二年ニシテ遂ニ千遍ノ業ヲ卒ヘ、又三年ニ
シテ萬首ヲ就ストゾ、其自ラ詣ル所ヲ視テ、以テ其言ノ我ヲ

欺カザルヲ信スルニ足ル、物徂徠十四ノ時、其父方庵、罪ヲ幕
府ニ得テ、上總ニ竄セラレシニ、徂徠モ從テ俱ニ徙ル、朝夕
與ニ交ハル所ノ者ハ、アノ番戸レハ離丁ノ外、師友トテモナカリシニ、
獨、其父ノ篋中ニ於テ、大學諺解ノ一書ヲ獲テ之ヲ誦習シ、遂
ニ師ノ講説ニ藉ラズシテ、遍ク羣書ニ通ズル一ヲ得タリト
聞ク、亦以テ書ヲ讀ム熟ヲ貴ブヲ知ルベシ、韓文公ハ三代兩
東漢漢ノ書ニ非レバ觀ズトイヘリ、蓋、其觀ザルトイフハ、決シテ
涉獵モセヌ意味ニハ非ザルベケレド、其熟讀シテ法ヲ取ル
モノハ、必、三代兩漢ニ止マリシコトナルベシ、サレバ又讀書
ノ獨、熟ヲ要スルノミナラズ、亦必、精ヲ要スベキヲ知ルナリ、

昔歐陽公が漢東ニ住居セラレシ頃、州南ニ大姓李氏ト云ヘ
 ル者アリテ、學問嗜ズキノ人ナリケルガ、公兒童ノ代其家ニ遊ビ、
 壁間ノ敝筐ニ故書ノ貯ヘタルヲ見テ、訝リテ發キ見ルニ、
 黎先生ノ文集六卷アリ、脱落顛倒シテ次序モナカリシヲ、公
 乞フテ家ニ持チ歸リタリ、此頃ハ公モ方ニ進士ニ舉ゲラ
 レ、專ラ禮部ノ詩賦ヲノミ學ビ、未ダ其書ヲ讀ムニ暇ナカリシ、
 ラ十七ノトキ、州ノ試験ニ落第シケレバ、所藏ノ韓文ヲ
 取り出シテ之ヲ閱シ、始メテ喟然トシテ歎ジテ曰ク、學者當
 ニ是ニ至リテ止ムベシト、後洛陽ニ仕宦セシキ、尹師魯輩ト
 與ニ古文ヲ作ルヲ學ビ、昌黎集ヲ出シテ之ヲ補綴シケル程

ニ、天下ノ學者モ亦漸ク古文ニ趨キ、韓文ハ遂ニ世ニ行ハレ
 シトナリ、サレバ有宋三百年古文ノ開祖タル歐陽公モ、其最
 初ハ只一部ノ昌黎集ヲ手本トナセシモノト見ユ、公カ五代
 史ハ、昌黎ガ頌宗實錄ニ比シテ、出藍ノ評アリ、此ニテモ亦古
 人ノ讀書ニ精ナルヲ証スベシ、勿論韓文ヲ嗜ミテ之ヲ刻セシ
 人ハ、歐公ヨリ前ニ、柳仲塗名ハ穆伯長名ハ修並トイヘル人
 アリケルガ、歐公、韓文ヲ學ビテ其神髓ヲ得、後世韓昌黎ト並
 稱シテ、韓歐トナス程ノ大家トナルニ至リケレバ、世或ハ唯
 歐公ノヲヲノミ稱シテ、伯長ヲ略スルモノモアラシ、然レモ
 伯長ノ功モ亦没スベカラズ、蓋シ伯長ガ自ラ著セル柳文ノ

後序ニ、其酷韓文ヲ嗜ミ、缺墜スル處ノ亡字失句ハ、好事者ニ
 從フテ善本ヲ訪ヒ求メ、前後數十ヲ累ネ、長ズル所ヲ得レバ
 輒チ注竄ヲ加ヘ、四方遠道ニ行クトキ、或ハ他書ヲハ攜フルニ
 暇ナカリシオリモ、韓文ヲバ必齋ズモシテ自ラ隨ヘ、十有餘
 年ノ星霜ヲ經テ、始メテ校定ヲ了リシト見エタリ、又曲洧舊
 聞ニハ、伯長韓柳文集ノ世ニ行ハレントヲ欲シテ、自費ニテ
 之ヲ版ニ鑿バノ、相國寺ニ至リテ鬻ギケルニ、士人アリ或ハ
 來リテ價ヲ酬ヒテ相當ラザレハ、伯長之ニ語リテ、但成句サ
 ヘ讀ミ得タランニハ、便チ一部ヲ以テ相呈スベシトイフニ、買
 フ者、或ハ其言ヲ怪ムモノアリ、伯長色ヲ正フシテ曰ク、誠ニ

此ノ如シ、修伯長名豈人ヲ欺クモノナランヤト、士人其伯長ナルヲ
 知リテ、皆引キ去ルトナン見エタリ、伯長ガ歐公ニ先ダチテ、
 韓文ヲ識リテ之ヲ嗜ミ、之ヲ刻シ、之ヲ同好ニマデ分タレシ
 ハ、誠ニ篤志ノヲナリケラシ、然レモ當時ニ在リテハ、其成句
 廿ヘ讀ミ得ル人イト罕ナルヲ見レバ、其時韓文ノ世ニ少カ
 リシトモ亦知ラレタリ、彼土刻本ノ術ハ、蓋シ唐ノ中葉ノ頃
 ニ始マリシカド、宋初ニモ尚未多ク世ニ弘マラズ、其頃ノ書
 物ハ、大概寫本ニテ傳ハリシモノト見ユ、宋史邢昺ガ傳ニ、少
 儒ヲ業トス、時ニ經ノ具サニ疏アルモノハ、百ニシテ一二モ
 ナレ、カ傳寫スル能ハズト見エタリ、東坡カ李氏山房記ニ云
 ク、國初ノ薦紳ハ、即チ史漢ノ二書モ、人々ハ、當時學者ノ辛勞
 有タズト、當時刻本ノ希ナルヲ知ルベシ、

ハ今ヨリ想像スルモ、ナカナカ愚カナルトニ非ズ勿論時ニ
古今ノ異アリ、地ニ東西ノ別アリ、世態人情モ、各宜キ所アレ
ハ、一概ニ彼ヲ以テ、此ヲ律スベカラザルハ固ヨリナレド、亦
安ゾ古ノ書ニ乏カリシハ、反テ古ノ幸ニシテ、今ノ書ニ富メ
ルハ、反テ今人ノ不幸ニ非ザルヲ知ランヤ、蓋シ人ノ精神ハ
限リアテ、而シテ觀ルベキノ書ハ窮リナシ、限リアルノ精神
ヲ以テ、窮リナキノ書ニ供セバ、我ニ於テ未ダ獲ル所アラザル
ニ、其供スル所ノモノハ、先己ニ竭キン、故ニ書生ノ患フル處
ハ、書ノ乏キニ在ラズシテ、而シテ書ノ富メルニ在リ、書ヲ讀
ムノ博カラザルニ在ラズシテ、而シテ書ヲ讀ムノ精シカラ

ザルニ在リ、古ニ云ハズヤ、豪傑ノ士ハ文王ナシト雖猶興ル

ト、韓公ノ文ハ、八代ノ衰ヲ起シ、歐公ハ五代文弊ノ後ニ出デ、

東漢魏晉宋齊梁陳隋

後梁後唐晉漢周

古文ヲ以テ天下ニ唱ヘラレタリ、皆能卓然自立スルモノト
謂フベシ、豪傑ノ士ニ非ザレバ、安ゾ能、此ノ如クナランヤ、後
世剗剗ノ術盛ニ開ケ、書物ノ出板モ益多ク、重寶ナル世ノ中
トナルニ隨フテ、反テタメニ學者ヲシテ、偷惰ノ心ヲ起サシ
ム、此等ハ幸ガ、反テ不幸トナル者ト謂フベシ、

抄書ノ益

仰キテ觀、俯シテ察スルニ、宇宙間ノ事物、森羅萬象、能、其涯ヲ
極ムルナシ、況ンヤ又事理ノ百出スル、糾纏ノ如ク、亂緒ノ如

ク、誠ニ未^ダ端倪シ易カラズ、今乃^チ眇然タル一雙ノ眼孔ヲ以テ、
必^ズ上下數千年ヲ貫穿シ、東西數萬里ニ馳騁セント欲セバ、其
業タル蓋シ亦難シ、若シ徒ニ博ヲ務メテ、之ヲ約スルノ法ヲ
知ラザル片ハ、千條萬緒、何ノ處ニカ歸宿セシ、伊藤東涯ノ抄
書法ハ尤讀書ノ便法ニシテ、シヨセイ青衿輩知ラザルベカラザルモ
ノナレバ、因テ茲ニ之ヲ録ス、ソノ言ニ曰ク、今ノ書ヲ讀ムモ
ノ、涉獵稍博シト雖^ル而モ竟ニ關鍵ヲ欠ク、故ニ之ヲ屬スルニ、
用材ノ資ナク、事ヲ論ズルニ、引証ノ實以シ、予常ニ此ヲ困ム、
曾テ小冊子ヲ設ケ、類ヲ分チ門ヲ建テ、書ヲ讀ミテ抄スベキ
モノニ遇ヘバ、則^チ逐^ク款寫シ上ス、今其門類ヲ左ニ列ス、庶クハ

文ニ臨ミ字ヲ命スルノ間、造語事寔ニ資益スル所アラシ、昔
東坡ノ書ヲ讀ムニ、治道、人物、地理、官制、兵法、貨財ノ類、一過ス
ル毎ニ、專ラ一事ヲ求メ、數過ヲ待タズレテ、事々精覈ナリ、參
伍錯綜、八面敵ヲ受ケ、沛然トシテ之ニ應ジテ、アツ禦ルモノナシ、
山谷モ亦云フ、我ヲ以テ書ヲ觀ル片ハ、則處々ニ益ヲ得、書ヲ
以テ我ヲ博ムル片ハ、卷ヲ釋レバ茫然タリト、皆名言ナリト
ゾ、サテ其抄書ノ門類ニハ、第一ニ確言類、コレハ凡、古書ノ中
ニ載スル所ノ、聖賢ノ遺言、教化心術ニ裨アリ、議論引証ニ便
ナルモノハ、皆此部ニ入ル、第二ニ事實類、コレハ凡、賢人君子、
孝子烈婦、及ビ姦慝邪僻ノ、其事勸懲トナスベキモノハ、皆此

部ニ入ル、第三ニ譬喩類、コレハ凡、經史百家、多ク譬喩ヲ用ユ、
 讀ム者者ルニ隨フテ采リ收メ、其精切ナル者ヲ擇ミテ寫シ
 入ル、第四ハ偽語類、コレハ凡、古文ノ中、文字偽麗ナル者、或ハ
 一二字、或ハ四五字、或ハ全段ヲ連ネ、宜キニ隨フテ采リ寫ス、
 第五ハ訓詁類、コレハ凡、經史熟用ノ字樣、注家ノ解釋、記セザ
 ルベカラザルモノ、摘取りテ寫シ入ル、第六ハ虛字類、コレハ
 凡、古今使用スル所ノ、虛字助語ノ法トナスベキモノ、及ビ句
 法ノ變體ハ、皆之ヲ收ム、第七ハ辨正類、コレハ凡、近時ノ小説
 雜文ノ中、繆ヲ糾シ、愆ヲ繩シ、學者ニ益アル者、及ビ經史發明
 ノ處ハ、冗ヲ截テ采リ寫ス、第八ハ雜事類、コレハ凡、事實言語

ノ須ク記スベクシテ、何レノ部ニモ屬セズ、及ビ事罕ニシテ
 門ヲ置クニ及バザル者ハ、一切采リ入ル、抄書ノ初學ニ益ア
 ルハ、特ニ作文ニ臨ミテ、檢閲ニ便ナルノミトラズ、第一ニ、字
 ヲ置クニ、顛倒錯置ノ失ヲ免ルベク、第二ニ、助字ノ幹旋ト、虛
 字ノ押貼トヲ曉ルベク、第三、事ヲ記臆スベク、第四、多ク文字
 ヲ識ルベシ、故ニ詩文ヲ作ルモ、其遲速ハ、天才ニ關ルモノア
 リト雖、亦多クハ學事ノ習ニ由ルモノトス、祇園南海ノ湘雲
 瓚語ニ、明ノ張淮ガ事ヲ載セ、且ツ之ヲ評シテ云フ、淮侗儻ニ
 シテ才多シ、一日富人ノ家ニ過リ、牡丹ヲ賞ス、主人中峯ガ、百
 梅ノ韻ヲ以テ、淮ニ請フテ、牡丹ノ詩ヲ賦セシム、淮聲ニ應ジ

テ、即五十韻ヲ成シ、杯ヲ引キテ一醉シ、日未^ダ是カザルニ、百首
 皆成ル、仍テ繼グニ回文一首ヲ以テス、准コソ古今ノ奇オト
 謂フベシ、然レモ是亦法アリテ、甚難事ニモ非ズ、人苟^モ天才ア
 リテ、且記臆善カラシニハ、宿^テメ文料數百斛ヲ胸中ニ貯藏シ、
 其佳對好字ハ、大概ニ句體ヲ備成シ、而ル後ニ場ニ臨ミ題ニ
 觸ル、片ハ、七縱八橫、毫飛ビ詞湧キ、頃刻ニシテ紙ニ滿チ、傍
 觀スル者ハ、咄々咨嗟シテ、天授トナサン、蓋シ天地間ノ事物
 ハ多シト雖^モ題目ヲ分記シ、類ニ觸レテ之ヲ長セバ、應ズベカ
 ラザル者ナシト、此レ詩ノ一邊ニ就キテ論ズルモノト雖^モ、文
 章トテモ亦異ナルヲナシ、古ニ云フ、長袖善ク舞ヒ、多錢善ク

買フト豈其レ然ラズヤ

文章速成ヲ望ムベカラズ

文章ノ速成ヲ望ムベカラザルハ、猶之ヲ方士ノ丹ヲ煉ルニ
 譬フ、自ラ火候ノ到ルキアリ、唯或ハ薪ノ繼ガザランヲ恐
 ル、耳、韓公ノ後世ヨリ文ノ泰斗ト仰ガル、程ニ至リシモ、
 其始ハ日ニ數千百言ヲ書サレシ、李漢ガ昌黎文集ノ序ニ見エタリ、サ
 レバコソ、イツトナク慣熟シテ、其心ニ取リテ手ニ注グニ當
 リテ、汨々然トシテ來ルトイヘル如ク、安排ヲ勞セズシテ、易^ス
 易ト文章ノ出來ル時候モ到レルナリ、歐公ガ所謂^{オホキ}做多トハ
 乃^チ此ノ一ナリ、孫莘老嘗テ作文ノ益ヲ歐公ニ請ハレシニ、公

ノ云ク、疵病ハ必^ズレモ人ノ指摘ヲ待タズ、多ク作レバ自^ラ能^ク之ヲ見ルト教ヘラレタリ、賴山陽翁、弱冠ノ頃漢土進士ノ策試ニ倣ヒ、一日一篇ノ文ヲ課シ、二十三日ニシテ二十三篇ノ文ヲ作レリ、今新策ニ載スル所ノ二十三論ハ即^チ是^レナリ、歐陽公モ亦嘗テ自^ラ云ク、某毎日別文字ノ作ルヘキナシト雖^モ亦須ク題目ヲ尋討シテ、一二篇ヲ作ルベシト、此レ即^チ山陽先生ノ新策ヲ書カレシ意味ト同ジ、然レ初學ニ在リテハ、亦其題目ヲ尋ネテ案ヲ起ス^トサヘ易カラネバ、初心ニハ、復文譯文ヲ尤^モ宜^シトナス、譯文ノ式ハ、伊藤仁齋翁ノ定メラレシコトノ由、其子東涯ノ著セル刊謬正俗トイヘル書ニ見エタリ、コ

ハ本^ト先生、士子ノ漢文ヲ學ブモノ、タメニ、設ケラレシ法ナリ、今初學ノタメニ、其大略ノ方式ヲ述ベン、サテ其式ハ、先^ツ最初ニ、唐宋已來ノ諸名家ノ文ノ辭理精^ニシテ、佶屈贅牙ナラヌモノ、一二百字ヨリ、五六百字位ヲ擇ビ、長キモノハ節略シ、短キモノハ全文ヲ用^キ、之ヲ原文トナシ、次^ギニコレヲ國字ニ換ヘ寫シ、助字アル處ニハ圈ヲ加ヘ、國訓ニテハ助字ヲ讀マス故ニ、句末ニ在ル、矣、也、焉、耳ニ在ルモノニハ、必^シモ圈ヲ加フルナリ、乎、之、於、而等ノ句ノ中間圈ヲ加ヘズトモ可ナリ、原文ノ字數ヲ計リテ、傍ニ若干數ト注記スルナリ、サテ文ヲ譯セント欲スルモノ、右ノ原文ニ就キテ、コレヲ漢文ニナホスナリ、是^レ所謂譯文ナリ、復文モ大ニ概ハ同様ナレバ、其殊ナル處ハ、譯文ハ、原文ヲ悉ク國字ニテ

寫スヲ復文ニテハ、之ヲ真片假名ニテ書キ下レニナスダケ
 ノヲナリ、故ニ復文ノ方易シ、其誤謬ヲ判スルノ法ニ、四科ノ
 目ヲ立ツ、錯置トイフハ、文字ノ置違ナリ、不復トアルベキヲ、
 復不ニ作り、誰欺ト
 アルヲ、欺誰ト作ス、妄填トイフハ、國音ノ同キヲ以テ、字義ヲ
 等ノ如キ類是ナリ、臨ヲ誤リテ、望トナシ、易ヲ誤リ、剩添ト
 取違テ填メルヲナリ、テ安トナスガ如キ類是ナリ、明添ト
 ハ、本文助字ナキ處ニ、他字ヲ添入ル、ナリ、明添トアルベ
 キヲ、明於明德ト
 ナスガ如キ類、漏逸トハ、原文ノ助語アルベキ者ヲ失フテ、填入
 ノ類是ナリ、謂フナリ、止於至善トアルベキヲ、止至
 善ニ作ルガ如キノ類是ナリ、此四科誤謬
 ノ多寡ヲ以テ、優劣ヲ判スルナリ、サテ又其益ニ三アリ、習誦
 ヲ待タズシテ、自然ニ先賢ノ傑作ヲモ諳熟スルヲ得ル、其益

一ナリ、平日國語ニテ讀ミ過ゴシ、字法ニ心付カヌモノモ、復
 文ヲ將テ原文ニ對照スル片ハ考フルヲ待タズシテ字法ヲ
 識ル、其益ニナリ、即チ上ニイヘル、臨、平生漫爾書ヲ讀ミ、用語
 ニ熟ヒズ、筆ヲ弄スルニ及デハ、茫然トシテ失措ス、之ヲ復シ
 テ精熟スル片ハ則チ材料胸中ニ積ミテ、之ヲ用キテ竭キズ、其
 益三ナリ、且文ニ自ラ成語トイヘルモノアリ、譬ヘハ、ユカネ、
 パナラヌト云フ和語ハ、漢語ニテ譯セバ、不可不往トカキ、ヒ
 トツ、テハス、マヌト云フ語ヲバ、不一而足、キツトソウ、デモナ
 イト云フヲバ、不必然トカク如キノ類、自然ニ胸中ニ融洽シ
 テ、筆ニ苦勞少ナクナルモノナリ、且又譯復ノ文ハ、別ニ師ニ

就キテ正ヲ乞ハストモ、原文ニ照シテ之ヲ正サバ、得失ハ判ルモノユエ、寒村僻郷ナドノ師ニ乏キ地ニ在リテハ、尤モ便法トス、苟モ文字ニ志アルモノハ、毎月數次日ヲ剋シテ之ヲ演習スル片ハ、歲月ノ後功ヲ積ミテ、文章モ自ラ達者ニ至ルベシ、

作文率易ヲ戒ム

文ヲ作ルハ、先、題意ヲ認メテ後、方ニ語ヲ下スベシ、凡、文題手ニ到ル毎ニ、如何ニ筆ヲ下シテ可ナルヤト、最初ニ文思ヲ運ラス、一ヲ肝要トナス、即歐公ノ謂ヘル、商量多ク、説ナリ、黄宗義曰ク、一題毎ニ必、庸人ノ思路、共ニ集ルノ處アリテ、筆端ニ

纏繞ス、一層ヲ剝リ去リテ、方ニ至理ノ言フベキアリ、猶玉ノ璞中ニ在ルガゴトク、頑璞ヲ鑿開シテ、方ニ始メテ玉ヲ見ル、璞ヲ認メテ玉トナスベカラスト、歐公モ亦謂フ、凡、文ヲ作ルニ、發意第一番ニ來ルモノハ陳言ナリ、掃ヒ去リテ用ウベカラズ、第二番ニ來ルモノハ正意ナリ、之ヲ停メテ亦盡用ウベカラズ、第三番ニ來ルモノハ精意ナリ、方ニ之ヲ用ウベシト、コレ皆文思ノ庸俗ニ墜チテ、精妙ナラザルヲ恐ル、ナリ、昌黎モ亦云ク、吾ハ其雜ヲ懼ル、迎ヘテ之ヲ距ギ、平心ニシテ之ヲ察スト、コレハ文思ヲ運スルニ方リテ、或ハ其思付キノ道理ニ背キタルモヤアラント思量スルナリ、右ハ未筆ヲ下サ

又前ノ工夫ニテ、既ニ大概草稿ヲ著ケタル後モ、尚ホ子細ニ商
 量セザレバ、文義ノ妥貼ヲ得難キモノナリ、歐公ガ三上ノ説
 ハ、一ハ馬上、二ハ枕上、三ハ廁上ナリ、馬上ハ、馬ニ乘リナガラ
 考フルナリ、枕上ハ、卧セリナガラ考フルナリ、廁上ハ、廁ニ登
 リタル片考フルナリ、昔唐ニ賈島トイヘル詩人アリ、一日驢
 上ニ於テ詩ヲ案ジ、鳥宿池邊樹、僧敲月下門トイヘル句ヲ得
 タルガ、敲ノ字ニ深ク案ジ煩フテ、始メ推ノ字ヲ著ケント欲
 シ、又敲ノ字ヲ著ケント欲シ、何分ニモ判斷シ難ク、遂ニ我レヲ
 忘レテ、驢上ニ於テ手ヲ以テ推敲ノ勢ヲナシ、覺エズ韓退之
 ノ鹵簿ヲ衝ク、退之此頃ハ京兆ノ尹タリシガ、タメニ馬ヲ立

テ、コレヲ判シテ曰ク、敲ノ字佳ナリト、遂ニ轡ヲ竝ベテ歸
 リ、與ニ交ヲ定ムト唐宋遺史ニ見エタリ、此ヨリ後世詩文テ
 ドヲ思量スルトヲ稱シテ、推敲トイフナリ、此レモ今ヨリハ
 チト時節後レノ話ニ思フマケレド、決シテ然ラズ、特ニ詩文
 ノミニ限ラズ、何藝ニテモ人ニ秀ヅル程ノ人ハ、其用心モ亦格別
 ナルモノニテ、古今其例少シトセズ、豈獨リ賈島ヲ哂フベケンヤ、又
 左思ガ三都賦ハ、十稔カ、リテ之ヲ作レリ、門庭、溷、墻、皆筆紙ヲ
 著ケ、一句ヲ得ル毎ニ、即チ之ヲ書付シトナリ、勿論昔ヨリ敏才
 ノ人モ亦多ク、食ニ當リテ案ヲ草スルノ禰衡アレバ、馬ニ倚
 リテ萬言ヲ試ムルノ李白アリ、淮南ハ崇朝ニ騷ヲ賦シ、枚臯

ハ詔ニ應ジテ賦ヲ成シ、子建ハ口誦ノ如ク、仲宣ハ宿成ノ如シトイヒ傳ヘタレハ、一樣ニハ論シ難ケレト、疾行ニハ善迹ナキノ喻ニテ、必^ズ純粹ニシテ瑕疵少キ文ヲ作ランニハ、尤^モ宜ク率易ヲ戒ムベキナリ、

體段ノ製

室鳩巢ノ駿臺雜話ニ、讀書ノ四法トイヘルアリ、其一ヲ字例トイヒ、慎ト敬ト、國訓同クシテ義異ナル類ヲ分別ス、上文復^ト文ノ下ニ舉グル所ノ臨望易^ト例ト同^ク、其二ヲ語類トイヒ、古人ノ用キ來リシ成語ヲ、記臆スベキナリ、其三ヲ鋪敘トイヒ、其四ヲ體裁トイフ、其一ニハ、上文己ニ略之ヲ論及シタレバ、今其三四ヲ舉グテ之ヲ論ゼン、翁ガ言ニ曰ク、鋪敘トハ、語ヲ鋪キ

テ章段ヲナスヲイフナリ、羣分類聚ノ所アリ、交互錯綜ノ所アリ、意ヲ設クル廣ク、言ヲ布ク贍^キシキヲ見ルベシ、其四ハ體

裁、前編ニ謂フ所ノ體裁トハ、異ナリ、即チ體段ノ謂ナリ、鋪敘ニヨリテ首尾ヲナスヲイ

フナリ、起端アリ、轉折アリ、收結アリ、文勢ノ抑揚頓挫、條貫ノ

滯ラザルヲ見ルベシト、文章體段ノ一ハ、前編ニモ既ニ其大

略ヲ述ベタル、即^チ結構布置ノ謂ニシテ、文家ノ尤^モ難シトナシ

テ講求スル所ナレハ、猶其重複ヲ厭ハズ、再ビ之ヲ語ラン、伊

藤東涯云ク、作文ノ訣ハ、先結構ヲシテ其體ヲ得セシムルニ

在リ、士子ノ文ヲ作ルハ、猶匠氏ノ室ヲ造ルガ如シ、盈尺ノ紙

ヲ持シ、曲面ノ勢ヲ審ニシ、門牆堂宇、庖福更衣、秩々井々トシ

テ、各其所ヲ得テ、而ル後塗ルニ黜堂ヲ以テスレバ、輪奐トシテ其レ美ナリ、若シ夫レ庖湍ハ外ニ在リ、廳堂ハ内ニ在リ、閒架布置苟_モ其所ヲ失フキハ、縱ヒ虹梁雲_{セツ}、金碧ノ輝煌タルモ、曾テ一小屋ニダモ若カザルナリ、其華ナルハ祇其陋ヲ益ス耳、故ニ匠氏ノ良ナルモノハ、閒架所ヲ得テ、居處ニ便ナラン
 一ヲ欲ス、而シテ其染ヲ芥藻ニスルヲ務メザルナリ、蓋シ文ニモ一篇ノ主意アリ、一篇ノ綱領アリ、作文者ハ須ク一篇ノ主意ヲシテ、通篇ニ貫穿シ、先ニ伏スレバ後ニ應ジ、前ニ抑レハ後ニ揚ゲ、一瀉千里、脈絡礙リナク、起承腹尾、言々敘アリテ、綱ハ上ニ提ゲテ、目ハ下ニ張ラシムベシ、是ノ如クナルキハ、

則千言萬語、變化方ナシト雖_レ、讀者解シ易ク、自_ラ其長キヲ覺エザルナリト、此言結構布置ノ、須ク先講ズベク、文字潤色ノ、宜ク後ニ施スベキヲ謂フナリ、サテ鳩巢ノ所謂、起端轉折收結ト、東涯ノ所謂、起承腹尾トハ同ジトニテ、即一篇結構ノ在ル所ナリ、體段ヲ論ズルノ説、人ニ因テ其名ハ變リタレ_レ、其實ハ異ナルトナシ、或ハ之ヲ起承鋪敘過結ノ六ニ分テ、或ハ之ヲ頭腹尾ノ三ニ分ツ、又ハ起中結トモイヒ、或ハ之ヲ破題承題講題結題ノ四ニ分ツ、文章一貫ニハ、凡六節_{起承鋪敘過結}ハ、大小諸文題ノ中、皆之ヲ用ウ、然レ_レ或ハ其ニヲ用キ、或ハ其三四ヲ用キ、以テ五六ニ至ル、皆宜キニ隨フテ増減スベシ、有レバ

則之ヲ用キ、無レバ則已△、若シ強テ擺布セハ、即時文ノ境界
ニ入ラン、其間起結ノ二法ハ、則必無カルベカラザル者ナリ
ト見エタリ、聞ク山陽翁ノ門人ニ詩ノ起承轉結ノ意味ヲ喻
サレシニ、大坂本町絲屋ノ娘、起姊ハ十六妹ハ十四、承諸國諸
大名ハ弓矢デ殺ズ、轉絲屋ノ娘ハ目デ殺ス結トイフ、俚諺ヲ
舉ゲテ示サレシトナリ、文ノ起承腹尾アルハ、猶詩ノ起承轉
結アルガ如ク、起ハ一篇ノ言ヒ起シニテ、文家ノ最意ヲ用ウ
ル所、其趣ハ、或ハ油然トシテ雲湧クガ如ク、或ハ倏爾トシテ
風起ルガ如ク、或ハ嚴重ナル一山ノ如ク、或ハ徐緩ナル一潮
ノ如ク、其筆勢モ亦一樣ナラズ、承ハ起端ノ意味ヲ承ケテ申

明スル筆、尤疏通ニシテ意味ノ明瞭トルヲ貴ズ、轉法ノ一ハ、
董玄宰ノ文訣ニ云フ、文章ノ妙ハ全ク轉處ニ在リ、轉ゼバ則
窮マラズ、轉ゼバ則板ナラズ、名山ニ遊ブガ如ク、山窮マリ水
盡クル處ニ至リテ、以為ラク觀止矣ルト、俄ニシテ懸崖穿徑、
忽又別ニ境界ヲ出ス片ハ、眼目大ニ快シ、若シ千里ノ江陵直
下奔迅ノ如クナル片ハ、便轉勢ナシ、文章モ題ニ隨フテ敷衍
セバ、口ヲ開キテ竭キナン、須ク言盡キ語絶ルノ時ニ於テ、別ニ
一路ヲ行クベシト、此レニテ轉法ヲ曉ルビシ、今山陽が舉ゲ
ラレタル俚諺ニテモ、絲屋ノ娘云々二句ヲ説キ、サテ次ニ其
容色ヲ説クベキ一段ナルガ、忽諸國諸大名ト一轉シ、次ニ姿

色ヲ以テ收結セリ、此一轉尤手際ナリ、サテ又結處ハ、上文ヲ
 繳回シテ結ブモアリ、更ニ一層ヲ進メテ結ブモアリ、前意ニ
 反シテ結ブモアリ、全篇ノ文意、此ニ至リテ圓滿具足シ、意窮
 リテ更ニ意ヲ求ムルノ病ナキヲ善シトス、此レ文章結構ノ
 大較、即篇法ナリ、勿論文ノ法ニ一定ノ規則トテハナキモノ
 ナレ、亦決シテ無法ナルニモ非ズ、所謂法ハ自然ニ生スル
 モノニシテ、イヤデモ左様ニユカネバナラヌ勢アリテ、頓挫、
 亢墜、波瀾、抑揚ノ變化モ此ヨリ生ズルナリ、天地間ニ在リテ、
 物ノ定質ナクシテ、方圓屈折、尤自在ナルモノハ、水ヨリ甚シ
 キハ莫シ、ユエニ古今ノ文人、多ク文章ノ變化方ナキヲ、水ニ

比シテ語ラレシモノ多シ、東坡云ク、吾文ハ萬斛ノ泉源ノ如
 シ、地ヲ擇バズシテ皆出ヅベシ、平地ニ在リテハ、滔々汨々、一
 日千里ト雖難キヲナシ、其石山ト曲折スルニ及ビテハ、物ニ
 隨ヒ形ヲ賦シテ、知ルベカラザルトリ、知ルベキモノハ、常ニ
 當ニ行クベキ所ニ行キ、常ニ止マラザルベカラザルニ止ル、
 是ノ如キ而已矣ト、此ニ謂フ所ノ物ニ隨フテ形ヲ賦スルト
 アルハ、猶孟子ノ所謂流水ノ科ニ盈タザレバ行カズトイハ
 レタル如ク、文意ノ充分ニユキワタルヲナリ、文ヲ作ルニハ、
 成丈ウハスベリノセヌヤウニ、意味ノ綿密ニシテ、疎漏ニ涉
 ラヌヤウニト、心付ケル片ハ、自ラ照應モトレ、姿態モ生スル

ナリ、然レモ其根本ハ、多ク書ヲ讀ムニ在リ、杜子美ノ所謂、讀
 書破萬卷、下筆覺有神トヤラニテ、我ニ在リテ理ヲ省ルアキラ
 ナルキハ、神足リ氣旺ニニ、文章自然ニ活氣アラン、韓文公ノ
 所謂、氣ハ水ナリ、言ハ浮物ナリ、氣盛ナルキハ、物ノ大小盡
 ク浮ブトハ、亦是ノ謂ナリ、果シテ能シニ至ラバ、法復何ゾ道
 フニ足ラン

熟語之部

地理門

都市

防火

火災ヲ消防スル

郵便電信

馬車、腕車

地形

規模宏壯ニシテ、氣象雄豪

○土壤廣大ニシテ、人民蕃殖ス

○沃野千里、天府ノ土、古ヨリ武ヲ用ルノ國ト稱ス

○天府四塞ノ國、物産が多ク、地形ノ堅固メガヨキ

○天ノ中區ヲ鎖シ、地ノ四鄙ヲ控シ、岡阜繚轉、龍盤虎伏

○天下ノ要領ニシテ、諸道ノ咽喉地勢ノカニテ、巍然一方ノ雄鎮地形ノ堅固ナル

○地脈高燥カアリテ、辺ノ干トナル処ヲ云フ、地勢爽塏上同、地平坦ニシテ、海面ヲ

抜ク一高カラズ、○東西南北ハ山ヲ負ヒ、東西南北ハ海ニ面ス、○山産海物四方ヨリ輻湊シ、嚴然トシテ一都會ヲ為ス、○海陸ノ總會、米鹽ノ原

二編 都市 廿四

府海陸運送ノ都合ヨクテ、品物ノアツマル処ノ ○各地ノ往還諸物ノ運搬、日夜萬ヲ以テ數フ ○

平土四通運輸極メテ便ナリ ○百貨輻輳シ、貿易隆盛 ○貿易樞

要ノ地ニシテ、商賈ノ集マル所 ○商旅雲集アキウドヤカセ人多クアツマル ○四方ノ運船

津口ニ輻湊シ、豪家温戸肆ヲ城下ニ列ネ、海内錢穀ノ權舉ビテコニ

歸ス ○全國ノ富盛ヲ網羅ス ○人物盛麗、都邑ノ雄富、全國ニ冠ク

リ ○古代ヨリ著名ノ都會ニシテ、夙ニ殷富ヲ稱ス ○百事皆華美ニシテ、

富豪ノ氣象ヲ窺フニ足ル ○人品都雅ニシテ、萬物富饒 ○人ハ則チ

勇武義烈、物ハ則チ豐饒富盛 ○地ハ要ニ臨ミ、俗ハ淳ニ近シ地勢モ肝要ナ

○人中和ノ氣ヲ稟ケ、俊毛儒雅 ○性緩ニシテ、儒ヲ尚ビ、義ニ仗

リ、俠ニ任ズ、土廣ク俗雜ハリ、人文武ヲ習フ ○人性勁悍ニシテ、戎馬ニ習

俗風

フ ○禮義ヲ重ンジ、廉耻ヲ尚ブ ○憂深ク思遠ク、淳儉ニシテ、學ヲ好

ム ○人物敏系盛ニシテ、衣冠萃止シ、風流人物、古今ニ冠映ス ○衣冠

文物儼トシテ、古風アリ ○質直ニシテ、義ヲ懷フ、古ノ風烈アリ ○文

物彬々 ○文學盛ニシテ、發行ノ書多シ ○華ヲ競ヒ、美ヲ鬪ハス ○

麗衣鮮食、華美自ラ尚ブ ○都俗漸風ヲ成ス ○都俗

ノ尚好、屢變ズ ○婦齒ハ涅セズシテ、軛犀ヲ露シ、婦額ハ眉ヲ畫キテ、

遠山ヲ呈ス ○行クニ幅織ヲ張り、領ニ時表ヲ掛ク ○其食ヲ牛羊ニ

シ、其言ヲ英佛ニス ○相習フテ、風ヲ成シ、牢クシテ、破ルベカラズ ○

國中靡然トシテ、風ヲ成シ、新様ヲ出シ、奢侈ヲ窮極ス ○名傳イハレタビ

場ニ登レバ、婦女ノ粧飾頓ニ舊觀ヲ改ム ○奢靡風ヲ為シ、游惰心ヲ

郭城

殿宮

家人

為シ、飲食美ニ誇リ、衣服華ヲ照ラス○金城突兀トシテ、譙樓空ニ聳

ユ○城樓空ニ聳エ、樹影參差○地勢高峻ニシテ、規模雄壯トシテ

○其地タル江海ヲ襟帶シ、金城萬雉、東道ノ咽喉ヲ扼ス○城樓

雄偉○樓櫓壕塹、土ニシテ且整○殿宇ノ壯麗、斬壘ノ完固、號シテ天

下第一ト為ス○雄麗堅全、天下無雙ト稱ス○五層ノ木樓、巍然ト

シテ屹立ス○樓閣堂殿、奇巧巨麗○殿閣高樓、駢列ス○屋宇建

築ノ鉅大、宮殿衙署ノ宏峻、甚壯觀ヲ極ム○堯瓦山巍々トシテ、蒼空ニ

聳ユ○銅瓦鱗次シ、聖粉粧飾ス○碧瓦蟻々トシテ、白堊連綿ス○

垣墻重密○公邸嚴然、濠水蒼々○朱邸參差、車馬喧闐○人家

櫛比稠密ニシテ、皆峻麗○高堂連閣、貴賤共ニ其居ヲ壯ニス○比

屋甍ヲ連ネ、千廡萬室○玉檻彩ヲ連ネ、粉壁明ヲ迷ハス

○佳樓麗屋、甍瓦相映、煉化石ヲ積ム者アリ、花崗石ヲ疊ム者ア

リ、白堊ノ雪ハ富嶽ノ雪ヨリモ輝キ、石炭ノ烟ハ淺閑ノ煙ヨリモ熏ス

○兩層ノ高樓ハ、瓦磚整齊ニシテ、高ク雲霄ニ接シ、路ヲ夾ム櫻松雜

樹ハ、緑ヲ成シテ陰ヲ交フ○石室ハ峻層ト、雲霄ヲ凌ギテ、白玉樓ノ

聳テルガ如ク、汽燈ハ榮耀ト、街市ヲ照ラシテ、不夜城ニ入ルガ如シ

○畫棟雲ニ飛ビ、珠簾雨ニ捲ク○飛閣雲棟ハ、夕陽斷段ト相

映帶ス○樓閣重層、碧瓦ハ鱗ノ如ク、亞壁ハ雪ノ如ク、翠松紅樹ノ

間ニ隱見ス○遠ク亞堞ノ樹林ノ間ニ隱見スルヲ見ル、城ノ塼ナドガカケ

海上ヨリ都城ヲ望メバ、人家概緑樹ト相參差ス○其光景ハ全都宛

刃具正八寸、一編 都市 廿六

然屋氣樓ヲ現出スルガ如シ○高樓峻閣水邊ニ嵯峨タリ○米塔林

立シテ其狀竹筍ニ似タリ○避電線ヲ曳キ煉化石ヲ疊ム○千尺萬

壁長城ニ似タリ○樓居櫛比○碁峙鼎列家ノゴミアフテ

○其結構壯大美麗ヲ盡ス○朱門粉壁○建築ノ風庭石ノ景瀟

洒清潔ニシテ觀ルベキ者多シ○隨フテ燬ケレバ隨フテ築ク○戸口稠

密ニシテ、敏系華歲ニ加ハル○人煙稠密ニシテ、商戸櫛比○物盛ニシテ人

衆シ○戸聚マリ口衆シ○人物戸口衆クシテ且夥シ○街場美麗○

街衢闊闊方正カクニタジ○市街華麗ニシテ、眺望極メテ美ナリ○景色幽秀

ニシテ、市街佳麗清潔マチモキレイ○市街ハ洞開直達、屋宇ハ高爽美麗

ナリ○道路清潔ニシテ、織塵ヲ見ズ○市街ノ觀望大ニ前日ニ異ナル

口戸

街衢

繁華

者アリ○官道四達、鐵道連接ス○鐵道ハ市中ニ互リ電線ハ屋

上ニ通ズ○電線ハ道路ニ縱横、氣燈ハ市街ニ班置ス○巡官夜ヲ

敬言メ、瓦斯街ヲ照ラス○戒火ノ鐵棒ハ、鋸々トシテ夜ヲ敬言メ、報更ノ柝

木ハ、櫛々トシテ更ヲ報ズ○旭日始メテ映ジ、喧塵漸揚ガル

○雞鳴狗吠、煙火萬里、人家ガ多クシテ、衣香扇影、往來織ルガ如シ、人ノ往來

○千尺萬履、客來リ客去ル上○履聲、音々々シト○四羅織、碧ヲ張り、

蠟屐玉ヲ鳴ラス○履聲地ヲ轟カシ、人勢煙ヲ捲ク、人ノ往來ガ

人ノ肩摩レ腕擊ツ上○肩摩、項背相望ム上○人羣湧キ、喧嘩

洶々、人ノゴミアフテ、喧囂ハ雷ノ轟クガ如ク、塵埃ハ雲ノ蒸スガ如シ、同○

繁雜殊ニ劇ク、喧ヲ鼓シ、譁ヲ吹ク上○笑語喧闐○絃歌ハ吼ユルガ如

ク熱鬧ハ沸クニ似タリ○士女等ヲ吹キ、瑟ヲ鼓シ、四時歌舞ノ聲、城市

ニ喧溢ス○其地ハ華ニレテ劇、其人ハ豪ニレテ雅○舟車輻湊ノ地、紛

華花柳ノ街○森伯肆包子店、養申場、杜康樓、雜然闐然、山ヲ成シ

林ヲ成ス○伎藝ハ則走索、戴竿、吞刀、弄丸、藏擲、筋斗、傀儡、角觥、口

伎、影伎、獼猴、猫鼠ノ戲、演史、學、鄉談、說、譚、話、種々アラザルナレ○窠、漢

雜居シ、爛紙ヲ買フ者アリ、敗鍋ヲ錮スル者アリ、烟管ヲ脩ムル者アリ、

日ニ市上ニ出デ、己ノ業ヲ叫ビ、吾口ヲ餽ス○炊飯ノ烟ハ朝來ニ雲

凝リ、鼓、擗ノ聲ハ晚間ニ雷轟クタルサマ○牙房相對シ、中間ニ道ヲ通ズ

○下井汲ヲ同クシ、數、劇、便ヲ同クスナドノサマ○慶、弔相通ジ、出入門ヲ

共ニス上○東鄰ニ親ヲ喪ヒ、西舍ニ子ヲ舉グ○繁華ノ内ニ在テ、紛、雜、日

ヲ送ル○城市秋隘ノ區ニ局促シ、車馬塵埃ノ為ニ侵、汨セラル○屋舍

櫛比シテ復縱、眸、騁、懷ノ地ナレ○隙地ノ竹木ヲ裁ウベキナシ、朝夕見

ル所紫陌紅塵、車馬綺、轂ノミ○天下ノ都會、昇平ノ樂土○人文ノ淵

叢○人物ノ會萃○畸人墨客、往々萃集ス○四方萬國、異言異服

ノ民、千里糧ヲ裹ミテ、奔走輻、輳ス○地靈人傑、地人モ不

析ク高キ米ヤ薪○地ニ不稅ノ田ナク、民ニ自主ノ權アリ○百般ノ事物、舊

ヲ改メ新ニ移ル○陸ニ汽車アリ、水ニ火船アリ○鐵道アリテ、旅人ハ飛

鳥ヨリモ速カニ、電機アリテ、書信ハ彈丸ヨリモ疾シ○溝渠ヲ鑿キ、舟

楫ヲ通ズ○彩旗萬竿、搖曳風ニ飄ル○日脚西ニ卷キテ、人影開亡○

盜賊蹤ヲ潛メテ、市肆安、謐、巡、査、テ、手○比屋安堵、狗夜吠エズ、盜賊不

雜

刀是作七思

二編

都市

共

關防禁嚴 ○各處ニ餘地ヲ存シテ散歩ニ便ス ○到ル處園林ノ風致アリ

○勝境奇跡ノ夥キ一枚舉ニ暇アラズ ○名勝舊跡頗ル多シ ○歷代

ノ遺跡甚多シ ○銀盃金甲ノ叢ハ轉ジテ、繡帶錦衿ノ林ト成リ、白刃

素鎧ノ霜ハ消エテ、瑚簪玳瑁ノ雲ヲ生シ、三軍連營ノ鼓ハ歇ミテ、衆

履羣屨ノ雷ヲ起シ陣糧兵糈ノ山ハ崩レテ、賣鮫賈資ノ海ヲ湧カシ、烽

臺狼烟ノ火ハ滅エテ、千店萬肆ノ燭ヲ放ツ 昔イクサナドムアリシ処ガ今ハ打

飛バス ○柝聲急ヲ報ズ ○西鼓東鐘、一齊ニ撞擊シ、火ヲ報ジ方ヲ呼

○吶喊海ヲ翻シ、鐘鼓天ヲ驚カス ○天半烟起リ、紅炎者漲ル ○焰

烟漲リテ、青天忽曇ル ○紅焰天ニ漲リ、黑烟地ニ迷フ ○風烈クシテ火

起火

消防

勢四面ニ延ク ○火ハ風威ヲ趁ヒ、風ハ火勢ヲ助ク ○風ノ吼ユル聲、火ノ爆

スル聲、霹靂震ヒ、山壑裂ク ○烈燄益起リ、震爆ノ聲、雷ヲ成ス ○西

北風急ニシテ、俄頃ニ烟焰天ニ漲リ、格澤飛越シ、連燒奔ルガ如シ ○萬

樹花ハ爛レテ、顛風ニ飄リ、百羣鷗ハ輕クシテ、狂瀾ニ起ツ ヤケ乱レテ、火ノ

鼓一聲火ヲ報ズレバ、部下一時ニ蹶起シテコレニ赴ク 火ケレ入足 ○部伍

整齊號令明肅同 ○一喝令ヲ傳ヘバ、衆聲ニ應ジテ進ム同 ○鈎ヲ持シ

梯ヲ荷ヒ、大ニ開レテ疾ク馳ス上 ○喊聲天ニ震フ上 ○烟ヲ冒シ、焰ヲ突

キ、列火ノ中ニ雄入ス上 ○梯ヲ踏ミテ屋ニ登ル ○鈎ヲ揮フテ火ヲ撥ス

○水龍ヲ排列シ、吐水數丈、注射ノ力殆層樓ノ巔ヲ越エ ○意豪氣傑

ニ進ムアリテ退クナシ 火消入足 ○殆死ニ濱シテ自若タリ 同 ○死ヲ視ル

火避

燼灰

歸ノ如ク、水火ニ赴オモムキテ辭セズ上ト○髮ヲ焦ガシ手ヲ爛カクラカス○麻米爛カクシテ

烈火ノ中ニ墮オツ○焦頭爛額シヨウトウワシカク消防力ヲ盡クス○呼號コガウキヤウホン狂奔、火馳チ星

飛ス○烟ヲ追ヒ馬ヲ躍フドラセ、馳チ驚オドロク往來ス○人皆書籠文具衣服器皿ベ

ヲ負荷フカシテ火ヲ避ク○火ヲ避クル者狼狽ラウタイス○衣帶タイニ及バズ履フキ豈門ニ

及バンヤオヒニテ○人相蹂踐シムセシムシ、物相搶壞サウクワスス○人羣狼狽ラウタイシ兒

女滾倒コンツウス○老幼錯愕サクガクシ爛額焦頭ワシカク號呼コガウシテ相蹂躪シムセシムス○人老ヲ扶タ

幼ヲ攜ヒキへ逃走タウソウ四散シサンス○四散五走七轉八倒シサンゴウソウシチテンハツオ

愕オドロク狂奔キウボン○哀號アイコウノ聲沸騰フツトウシテ路ニ載ミツ○三千ノ妃嬪ヒヒン阿房アハフノ烟ヲ逃カ

ル女中メカトモガ命ヲ脱ツツスルヲ幸ト為ス、他ハ言フニ足ラズ○男女老幼巡査メカ

ノ救護キウゴニ頼タテ、命ヲ全クスル者甚衆オホシ○多少ノ樓館盡灰燼トクカイジンニ屬ス

○屋宇灰燼カイジンレ、一ノ殘物ナレ○大小ノ館舍延燒エンカクスル者勝アゲテ計ハカルベ

カラス○灰燼カイジン慘澹サンタンハレナサマ○佳麗紅軟カレイニシ變カシテ無何有ムカイウノ郷ト為ルサカ

トナヤカタル○瞬息シユンシクノ間、百十ノ屋宇、一掃サウシテ灰ニ歸ス○一瞬間ニ高觀木カウケン

榭シヤ乍シヤ鳥有トウニ付ス○一炬焦土キョウシツ○珍寶奇玩チンハウキョウワン盡ク灰燼カイジンニ委ホス○什具衣シツグ

著カク一モ存ゾクスル者ナレ○衣服器皿イフツクヲ論ズルナク、書籍筆硯シヤクヒツインモ一ノ餘ヨリス

所ナク、盡ク烏有ウト為ル○殘冊ザンサクヲ燼餘センヨニ收ユム○到チレバ則チ己ニ焦シヨウセリ○

燼センヲ踐フミテ先マヲ爭マヒ、灰ハイヲ趁オフテ後オクレンヲ恐オソル○星火セイカ戒メズシ

テ、遂スニ燎原レウエンヲ成シス○火ノ將モニ然シトスルヤ、一滴イチテツノ水スイ、以モ

テコレヲ制セスミレ、其熾シカナルヤ、千百人ト雖モ亦但タ手ヲ拱キョウシテコレヲ視シル○

城門シヨウモン火ヲ失シフテ、殃池魚ヤクチウイニ延ノブ○火漸暗シヤンアンク、金鳴キンナウリテ衆退シュウタイク

雜

城門火ヲ失フテ、殃池魚ニ延ブ○火漸暗ク、金鳴リテ衆退ク

防火

用通

郵便電信

平安好意ノ消息○交誼相通直交樂互ニ報スルノ影ノ

形ニ應スルガ如シ○千里モ比鄰東西其情ヲ通ズ○北海ノ瀕南島ノ

既至ラザルナク達セザルナシ○通信ノ便コレヨリ捷ナル公莫シ○其便

利普ク人ノ知ル所○衆人コレガ為ニ莫大ノ利益ヲ得タリ○書信往

復ノ便ヲ圖ル○以下專ラ郵便ニ屬スル語○國家公益ノ良法○國力暢達ノ基礎

政令及速ノ要務○政府獨占ノ權利ニシテ文明ノ良法歐米ニテ郵便ヲ評シタル

○政令交誼ノ通流スル大溝渠上同○外國交際ノ閑閉スル戸樞

上○民ニ便アリ、政府ニ利アリ、固ヨリ經濟ノ大要ニシテ、國益ノ基本

郵便○内外一般均一ノ低價ヲ以テ往復ヲ自在ニス上同○信書傳輸

ノ價ヲ廉ニシ、國內邊境僻陬ニ至リテモコレヲ達セザルノ地ナカラシム○

信電

西陲北隅數日ヲ出デズレテ、鴈書相達シ、朝ニ百里ノ外ニ生ケイ慶シタ

ニ千里ノ遠キニ死ヲ吊ス○海外萬里モ、信音阻隔ノ患ナシ○郵便

ハ遠ニ達シ、電信ハ急ヲ傳フ○電信ノ妙機○以下專ラ電信ニ屬スル語○大柱ヲ排

列シ、線ヲ其上ニ架ス○恰如網ノ如ク、通セザル所ナシ○電信線○海峽ヲ

互リ、海底ヲ通ズ上同○空ヲ擲リ、海ヲ互リ、全世界ニ周遍ス上同○其

線、水程ヲ達スルガ如キハ、裹ムニ象皮ヲ以テシ、周圍鐵線ヲ以テコレヲ

護シ、再膠漆ヲ以テ外ニ塗リ、巨浸ノ中ニ沈ム海中ニシカケ○彼此ノ線尾

ニ各針盤一具ヲ置キ、二十一字母ヲ列ス、此ニ擊テバ、彼ニ應ジ、此處ノ

針某ノ字母ヲ指セバ、彼處モ亦某ノ字母ヲ指ス電報ヲカケル器械ノサマ○秘密ノ信ア

ルハ、號字ヲ以テ暗訂シ、兩地心ニ照ラス○萬里ノ波濤ヲ隔ツト雖、

談話スル、競面ニ異ナラズ○一線萬里瞬息千里○萬里モ一瞬間

ノ應答ヲ為ス○飛報ノ最神速ナル者電信○固ヨリ人脚ノ及ブ所ニ非

ズ上○何ゾ復人脚ト馬蹄ト勞セン○開化ノ驛路ニシテ、文明ノ飛脚電

ノ蒸船疾シ雖汽車亟ナリト雖、豈此氣線ノ迅速ナルニ如カンヤ

馬車ノ聲
腕車ハ人カ車ノ一人カ腕、カニヒク故腕車ト云フ ○鐵輪木轆轤聲ヲ作ス○車聲麟々

トシテ、木達塵起ル○乾雷地ヲ轟カシ、眞塵天ヲ暗マス○雷延、乍驚鳥ク

ガ如シ車ノ○轉々トシテ速ク聽エ、杳トシテ其之ク所ヲ知ラズ

スカニ ○數里一瞬、期ヲ刻シテ往返ス○人足ナクシテ奔リ、翼ナクシテ飛

ブ○雨ニモ雪ニモ、寒苦ヲ知ラス○程ヲ計リテ値ヲ定ム○馬ハ輕塵ヲ飛

バン、車ハ怒雷ヲ轉ズ ○車ハ極メテ美麗、馬ハ極メテ駿足○

車馬

用通

車腕

例作

馬車ニ駕シテ、鐵蹄響ヲ送ル○四輪轉々、輕輓地ヲ轆ル○鐵輪

地ヲ轆リ、鐵蹄塵ヲ起ス○青蓋日ヲ蔽ヒ、翠帳風ヲ護ス○馬車ニ雙

輪ト四輪トノ者アリ、一馬ト兩馬トノ者アリ、其式ハ隨意ニ構造ス雨

ニ宜ク晴ニ宜クシテ、各其妙ヲ盡クセリ○馬車豪ヲ鬪ハシ、腕車先ヲ

競フ○腰ヲ屈メ腕ヲ伸ベ、羣集ノ中ヲ雄奔シ、巧ニ避ケ妙ニ讓ル○以下腕

語○車夫矯健ニシテ、力挽已マズ、左喝右叱、臂ヲ掉フテ馳突シ、行人皆

コレガ為ニ辟易ス○奔逸絶塵○前車ヲ軼グルヲ以テ雄ト為ス

○五車ノ隊ハ縦ヨリ來リ、十車ノ陣ハ横ヨリ來ル

西街、輻輳シテ編ムガ如ク、南橋北梁、奔走シテ織ルガ如シ車ノコミ

答芳川波山別紙 原漢文 安積良齋

本月廿日午下、火神田佐久間巷ヨリ起ル、時ニ北風方ニ厲シク、
 飛鼓直ニ柳原堤ヲ踰エ、須臾ニシテ蔓延シ、勢奔馬ヨリ疾ク、
 關都蒼皇狂ノ如ク、械器ヲ持シテ火ヲ救フ者、家具ヲ搬出ス
 ル者、屋ニ乘リ飛燔ヲ防ク者、堵立シテ觀ル者、罅ニ投シテ筐
 匱ヲ偷ム者、呼暴スル者、哀號スル者、負フテ且走ル者、蟻簇蜂
 屯、街衢ニ填咽シ、跣歩ヲ容レズ、地勢益熾ニシテ、神田諸街未
 燬ケ盡キザルニ、火道ハ遠ク兩國濱街ノ間ニ在リ、紅火數里、
 夜ノ明カナルヲ晝ノ如ク、翌曉始メテ熄ム、北ハ泉橋ヨリ南
 ハ中橋ニ至リ、東ハ淺草門内ヨリ西ハ本街ニ至ル、其他小網
 巷靈巖島八町堀皆ヤカク斯已ニ大災ナリ矣、越テ九日、火又擡

物街ニ起ル、延燒シテ西河岸ニ至ル、街卒數人アリ、土庫ニ乘
 リテ之ヲ防クニ、火忽チ庫中ヨリ發ス、即皆身ヲ翻ヘシテ河
 水ニ投シ、復岸ニ上リ、カヲ極メテ之ヲ防グ、其狂勇類此ノ如
 シ、翌十日、西北風甚劇シク、沙ヲ揚ゲ塵ヲ捲キ、天日翳晦、人々
 自ラ危ブム、卓午火果シテ宮津侯ノ邸ニ發ス、邸ハ郭内ニ在
 リ、所謂大名小路ナル者、鄰竝ニ皆列侯ノ第宅、復區々市塵ノ
 比ニ非ズ、先、前段ヲ取リテ、一筆撇開シ、然後ニ鬱攸云々
 ノ句ニ接ス、極メテ作者胸中ノ分チヲ見ル、鬱攸
 既ニ暴加フルニ飛廉ノ威ヲ以テシ、烈焰競ヒ起リ、煙焔天ニ
 漲ル、關都ノ防火將卒、爭ヒ來リテ之ヲ救フ、而ルニ燎原ノ勢、
 嚮ヒ過ツクマカラズ、呼號喊ノ聲、刮々爆々ト相雜ハリ、風

益怒り火益激シ、松本西尾岩村岡山津山高知侯ノ諸邸飛塵
轆々天ヲ摩スル者、猶稿ヲ束ネテ之ヲ燕クガ如ク、直ニ德島
多カキ侯ノ邸ニ及ブ、堂廡樓閣、尤宏壯ト為ス、俄頃ニ紅燄騰上シ、崑
岡ヲ炎クガ如シ、是ヨリ先キ德島侯、芝罘山防火ノ命ヲ承久、
故ニ延焼已ニ邸ニ及ブト雖奮テ顧ミズ、士衆ヲ部勒シテ、
煙焔中ヨリ突出ス、隊伍齊整、意思閒雅、曾テ幾微憂恤ノ色ナ
シ、所謂公耳忘私、國耳忘家、モノニシテ、吾邦忠勇ノ風、漢人ノ
夢見スル所ニ非ズ、賢兄ヲシテ之ヲ觀セシメザルヲ恨ム耳、
是時飛塵既ニ郭外ニ星散シ、炎々トシテ上リ、分チテ二道ト
ナリ、一ハ鍛冶橋ヨリ築地ニ至リ、一ハ數寄屋橋ヨリ芝口仙

臺邸ニ至リ、竝ニ海灣ヲ極メテ止ム、火光海ヲ照ラシ、殷血色
ヲ作ス、布帆驚キ走ル、蛺蝶ノ桃花林ニ翬飛スルガ如ク、甚シ
クシテ帆檣モ飛焰ノタメニ焮カレ、舟人恒駭シテ、海ヲ洄リ
テ遁ル、ニ至ル、凡、三日ノ大災、諸侯ノ邸第、商賈ノ闕闕、天下
ノ稱シテ繁華殷賑、熱鬧ノ區トナス所ノ者、一時化シテ赤土
トナル、但見ル焦瓦、燼材、縱横礧礧數里相接シ、長橋平梁モ、或
ハ燒斷シ、或ハ其半ヲ存シ、高門穹闕モ、僅ニ遺礎アル耳、其餘
大刹西本願寺藥師堂ノ若キモ亦烏有トナル、人畜ノ死傷固
ヨリ以テ悉計ルベカラズ、洵ニ未曾有ノ變タリ矣、

港津 都市ヲ見
合スベシ

附 海風濤
一編ノ望海ヲ
見合スベシ

船舶 航海

刀身作大指掌

二編

答芳川波山別紙

港津

三十四

勢形

天下第一ノ巨港○貿易樞要ノ港ニシテ、船舶輻輳ノ地○天造地
 設、自然ノ要害○海岸ハ堤坊ヲ築キ、以テコレヲ壅隔ス○海岸ニ砲
 臺ヲ設ケ、形勝畫クガ如シ○照夜燈ヲ置キ、行舟ノ的トナス○水路ノ便
 灣々港ヲ為ス○港底淺クシテ、巨艦ヲ容ル能ハズ○海ニ臨ミテ、衙
 置キ、賈舶ノ出入ヲ檢ス○戌堡ヲ置キ、瞭臺ヲ設ケテ、コレヲ候察ス○車
 馬舟楫、日夜雜遝、行旅商賈、其間ニ輻輳ス○糧艘商舶、風帆上下
 シ、虛日アルナク、百穀萬貨、未擔馬馱ヲ假ラズシテ、コニ
 雙ノ便、四方ノ往還、坐ナガラニシテ達ス○樞要ノ海港ニシテ、商船ノ出入
 甚多シ○諸州ノ船、米柴ヲ運シ、魚鹽ヲ漕ス○諸州轉運ノ船舶、出入
 スル者、日ニ約數百艘○歐艦米舶、麋至シテ輻輳シ、旗章揺々トシテ

港海

津河

街市

日ニ閃ス○百般ノ旗章ハ、林立シタル帆檣ノ上ニ翻ル○商船賈舶、盡
 燈籠ヲ列ス、其幾千萬ナルヲ知らズ、火光閃々トシテ海面ニ映射ス、夜ノケ
 ○帆檣森立シ、江ヲ争フテ、錨ヲ下ス○巨艦碇泊レ、輕舸往還ス○
 船舶相銜シ、楫擢相擊ツ、舟ノヨミ○竹篙鱗次シ、帆檣林立ス○帆檣
 林立シテ、對岸ヲ見ルヲ能ハズ○釣艇網舸モ亦其間ニ居ル○川
 狹クシテ、舟影シ○舟楫ノ往來甚繁シ○張歎相呼ビ、舟腹相摩ス○
 櫓枝ハ、啞啞ノ響ヲ送り、棹歌ハ、于隅ノ韻ヲ傳フ○千萬ノ材木、水濱
 ニ堆シ、倉脚夫數十名、皆鷲喙鏢ヲ揮ヒ、邪許シテ以テコレヲ牽ク、
 ○橋ノ南北、人家鱗比シ、中ニ街衢ヲ開ク○百物富饒○舟楫輻輳
 シ、蹄輪絡繹ス○車馬輻輳シ、船舫鱗次ス○笑語紛、綺羅叢ヲ

刀學作

二編

港津

景風

成ス マキナドク ○瓦屋鱗次シ、粉壁參差海霧ト相出沒ス ○屠沽櫛比
 一酌買フベシ ○翠松波ニ映ジ、白沙銀ヲ湧カス 濱辺ノ ○白沙平布シ、
 皎トシテ素ヲ展ブルガ如ク、潮ノ呼吸、雪ヲ潑シ霜ヲ刷シ、人ノ往來、墨ヲ點
 ジ粉ヲ滴ス、真ニ一ノ木活畫幅ナリ 上同 ○澳灣描クガ如ク、人家數點、其
 間ニ隱見ス ○漁蟹巖ヲ占メ、个烟糜羅 ○海中ノ濛標ハ夕陽ニ映ジ
 テ立ち、渚邊ノ蘆葉ハ、暮潮ニ揺キテ蒼シ ○清波 茫々、兼葭蒼々、風景
 ノ美言フベカラズ ○漁舟相望ミ、歌唱互ニ答フ ○漁笛雲ニ響キ、鷓鴣
 侶ヲ呼ビ、欸乃ノ聲、櫓聲ト相和ス ○危檣林ノ如ク、岸ニ依リテ潮ヲ候
 ス、潮應ニ風發ス、千帆齊ク張ル疾キ者アリ、徐カナル者アリ、歌ツ者アリ、正
 キ者アリ、征人歸客、各其情ヲ異ニス ○風帆ハ雲ヲ出デ、釣艇ハ波ニ没

ス ○舟ハ雲ヲ破リテ出デ、鳥ハ波ヲ掠メテ起ツ ○輕鷗波ヲ逐フ天乍低
 ク乍高シ ○蒼波渺茫トシテ、遙ニ一帯ノ陸地ヲ認ム 遠クニ島ナ
 一髮有ルガ如ク、無キガ如シ 上同 ○隱約トシテ掌ニ上ル 上同 ○翠色掬スベ
 シ 上同 ○島嶼ノ點綴、或ハ歌子或ハ側ツ 上同 ○屏ノ如ク障ノ如ク、婉々ト翠
 ヲ舒ベ、疊々ト黛ヲ攢メ、遠キ者ハ淡クシテ逃ルガ若ク、近キ者ハ濃カニシ
 テ媚ルガ若シ 遠クニ見ユル 山ナドナシマ ○某ノ洲某ノ島、四面揆逼シテ、技ヲ
 間ニ呈ス 洲ヤ島ノケレシキヤ 海水ヘウツル ○波濤洶湧、峯巒峭峻 ○膽寒ク毛豎キ久ク印田
 マルベカラス 海ノケレシキ処ナド 又見タル所ノコナ

絶壁天ニ懸カリ、騰波迅急 ○暗礁劔ヲ樹テ、窅ヲ設ク ○激

浪巖ニ碎ケ珠ヲ噴ク ○敬駕波駭濤、雪山崩レ山立ツ 石怒リ水

海津海 三十一

渦マキカメガミ龍出カメガミ鼉没カメガミス上カメガミ○萬里一カメガミ波カメガミ香カメガミトシテ際カメガミ涯カメガミナシ○紺碧カメガミ萬頃カメガミ

海ノアラクトヒロキカメガミ○碧海カメガミ渺漫カメガミ殆カメガミ天ヲ吞カメガミマント欲カメガミス上カメガミ○烟雲カメガミ變幻カメガミ潮汐カメガミ吞カメガミトス

○風雨雲烟カメガミ晨夕カメガミノ氣象カメガミ萬變カメガミス○布帆カメガミハ晝カメガミニ皜カメガミク、漁火カメガミハ夜カメガミニ燦カメガミキ

辰虫樓カメガミハ春天カメガミニ湧カメガミキ、神燈カメガミハ秋空カメガミニ燃カメガミユ海カメガミノケシキ、種カメガミ々ナルサマ○旭日カメガミ紅カメガミヲ流カメガミシ、晴月カメガミ

金ヲ躍カメガミラシ、螺貝カメガミ珍異カメガミノ物、其間カメガミニ紛錯カメガミシ、日月カメガミト相閃鑠カメガミシ、晝夕カメガミ其變カメガミ

ヲ百千カメガミニス上カメガミ○天曉カメガミケ烟消カメガミシ、上下カメガミ一碧カメガミ、旭光カメガミ金カメガミヲ流カメガミシ、亂カメガミレテ定彩カメガミ

ナレハサスサマカメガミ○落日カメガミノ滄海カメガミニ没カメガミスルヲ望カメガミメバ、朱輪カメガミ十丈カメガミ、毫光カメガミ萬道カメガミ倒カメガミマ

ニ海心カメガミヲ射カメガミリ、木光カメガミ水色カメガミ、上下カメガミ掩映カメガミシ、猩血カメガミヲ涵カメガミシ、黄金カメガミヲ浴カメガミマルガ如ク、

氣象カメガミ千萬カメガミニシテ、久ク視カメガミルベカラス上カメガミ○陰風カメガミ怒號カメガミ濁浪カメガミ空カメガミヲ排カメガミシ、

日カメガミ星耀カメガミヲ隱カメガミシ、山岳カメガミ形カメガミヲ潛カメガミム海カメガミノドガアレテ、○濤聲カメガミ洶々カメガミトシテ、鑼カメガミヲ擊カメガミツツガ

濤風

如ク、鼓カメガミヲ鳴カメガミラスガ如ク、木軍カメガミノ吶喊カメガミシテ戰カメガミニ赴カメガミクガ如シ、ナミノオト人カメガミ○怪風カメガミ

吼カメガミユルガ如ク、驟雨カメガミ亂點カメガミシテ、濤立カメガミチ瀾翻カメガミリ、澎湃カメガミ、宏汨カメガミ、島嶼カメガミモコレガ為カメガミ

ニ搖動カメガミシ、蛟龍カメガミモコレガ為カメガミニ飛騰カメガミス○木風カメガミ浪カメガミヲ鼓カメガミシ、跳カメガミル者カメガミハ、騰龍カメガミノ如

ク、吼カメガミユル者カメガミハ、怒猊カメガミノ如ク、奔カメガミル者カメガミハ、駿驥カメガミノ如ク、逆折カメガミスル者カメガミハ、崩岳カメガミノ如

ク、衝突カメガミスル者カメガミハ、萬斤カメガミノ推カメガミノ如ク、旋カメガミ、眾カメガミ、瀆カメガミ、薄カメガミ、天輪カメガミヲ激カメガミシ、地軸カメガミヲ轉カメガミシ、百

靈カメガミヲ舞カメガミハシ、萬怪カメガミヲ飛カメガミバシ、詭狀カメガミ殊態カメガミ、名類カメガミスベカラズ、ナミノアラ

船舶航海

船舶航海 船ノ長サ若干丈尺、深サ若干丈尺、寬サ若干丈尺、旁板厚サ

若干尺寸○木料ハ松ヲ用キ、舷端ハ楠板ヲ以テコレヲ覆フ○四圍

皆銅○水ヲ吃カメガミスル處ハ、包ムニ銅片ヲ以テス○上ニ三柱ヲ植テ、帆數

十片ヲ繫ケ、風ニ隨カメガミフテコレヲ轉カメガミズ、順逆皆進ム○桅三アリ、頭桅ノ長

サハ若干尋、圍ミハ若干尺、次桅ハ差短クシテ小ナリ、材皆杉ヲ用キ、
 毎桅分チテ三截トナシ、布ヲ用キテ蓬トナス、又蓬索數十條、紛トシテ
 蜘蛛ノ如シ○桅上ニ斗アリ、四十人ヲ容ル、繩ヲ繫クル一梯ノ若シ○
 帆ハ布ヲ用キ、木小帆若干片、蜘蛛網ノ如ク、盤旋シテ八面風ヲ受ケ、往クトシテ順
 ナラザルハナシ○船端ニ横桅アリ、長サ若干尋○船尾ニ玻璃窓アリ
 ○窗牖ハ玻璃ヲ以テコレヲ嵌シ、船ハ碎支綴ヲ以テコレヲ鋪ク○内ヲ
 二層トナシ、上層ハ兩邊ニ殿十位ヲ安ジ、下層ハ二室ニシテ、左右ノ厦
 閣ニ彈丸及ビ凡百ノ器械ヲ藏ム○船腹ニ孔ヲ穿テ、以テ巨砲數
 門ヲ置キ、變アレバ輒發ス○鉛砲ヲ用テ淺深ヲ量リ、繩板ヲ用テ遲速ヲ驗ス○
 船腹ハ數重、繩シテ下ル○釜ヲ懸ケテ炊ギ、錦綉白氈ヲ張リテ臥ス○

快蟹アリテ船外ニ懸ケ鐵鎖ヲ以テコレヲ上下ス○烟熾ニ氣激シ、輪ノ
 轉ズル一飛ガガ如ク、水ヲ撥シテ前ニ帆葉ヲ用キズ、風カヲ借ラズ、蒸氣船
 ○輕捷常ニ異ナリ○製極メテ堅厚○風浪ヲ畏レズ、獨暗礁淺沙ヲ
 畏ル○儼然トシテ一城壁ノ如シ、軍艦ナ○堅艦城ノ如ク、快蟹箭ノ如
 ク、巍然トシテ止マリ、倏然トシテ進ム、以テ攻ムレバ則九天ノ上ニ動キ、
 以テ守レバ則九地ノ下ニ藏ル上○水輪、艦千尺ノ檣百尋ノ楫○
 艦艘巨艦、洪濤ヲ蹴テ、長風ニ駕ス○風ニ駕シ浪ヲ破リ、萬里モ比鄰、
 往來織ルガ如ク、地球ヲ舉ゲテ、一木市場ト為ス○龐然波浪ヲ凌ギテ
 海上ニ横タル大船○青雀黃龍ノ舳、昔ノリツバネ○畫舫飾ルニ丹漆ニ以
 テス、舳中器械諸物悉ク備ハル○壯麗目ヲ奪フ○破損ヲ修理ス○

海航

潮ヲ候レ風ヲ待ツ○シホマチラスル司船令ヲ傳ふ、レレク船人數十名、聲ニ應ジテ、フナテ轉輪ヲ走ラシ碇ヲ起コス、セシヤク綱ヲ操ル者、繩ヲ引ク者、カチ舵ヲ執ル者、ホト桅斗ニ登ル者、ホウ篷ヲ張ル者、セ旌ヲ建ツル者、順序立ドコロニ辨ズ○ハ船ノ行ク疾クシテ、ハ馳スルガ如ク、ハ鵬程萬里、チカ杪際ナシ○アサ朝晚唯波濤ノ聲ヲ聞ク、フナナ舟中ナシ○ケイ敬濤濤駭浪、カ一颿萬里○ナ萬里濤ヲ破リテ、ナ片帆恙ナシ、ナ海上安全○ナ船港ニ向フテ帆ヲ落シ、ク洶然一聲鐵錨ヲ抛下ス○ナ水風順ナラズ○オ風濤大ニ作り船殆將ニ覆没セントス○ナ船屢天ニ朝シ地ニ入ル、ナ波風ノアラキキノサマ○カ或ハ天ニ翔ルカト訝リ、ナ又ハ地ニ潛ルカト疑フ同○ナ雨大ニ至リ、ナ風益逆ニ濤吼エ海立チ、ハ船簸颯掀翻シテ、ナ人皆迷眩困倒シ、ナ嘔瀉地ヲ擇バズ○ナ檣傾キ楫摧ク○ナ蓬碎ケ糧絶ユ○ナ鯨濤山立シ、ナ一瞬ニ覆没ス○ナ船上ハ火ヲ禁ズ

例作

ル一最嚴ナリ○ナ船ノ快利ト、ナ船人ノ慣熟ト、ナ洵ニ驚歎スベキナリ

日光山行記 注子港一節ヲ録ス 佐藤一齋

紀、行ノ文、地ニ隨テ景ヲ敘ス景ヲ敘セバ必地名ヲ存セザル行ク一ニ里右ニ阜アリ、ル海ロヲ登臨スレバ、ナ一眼ニ盡クスベシ、ル邱ヲ下レバ即港呼ビテ注子ト曰フ、ナ形似ヲ以テ名ヲ得濱ニ怪石嵌巖多シ、ナ其大ナル者ハ、ナ崇構魏闕ノ如ク、ナ鯢鯨ノ如ク、ナ犀象ノ如ク、ナ小ナル者ハ、ナ猛獸ノ相搏ツガ如ク、ナ劔戟攢立ノ如ク、ナ色皆紫赭、ナ駭篆ノ如シ、ナ而シテ巨川東ニ注ギ、ナ海潮ト相逆ヒ驚濤屋大、ナ碎ケテ紫雪ヲ成ス、ナ偉觀ト謂フベシ、ナ聞ク港ニ暗礁アリ、ナ舟舳極危ノ處ト號ス、ナ往年清國寧波ノ南船漂ヒ到リ、ナ之ニ觸レテ幾覆ラントス、ナ山頂惟松雜樹ナシ、ナ斥鹵種々礧礧

雜文具多シ、僕シテ拾フベシ、歩スル一里餘、石山嶄然前ニ當
 リ、路ナキ者ノ如シ、至レハ則竅穴アリ、穿然洞開シ、數人ヲ通
 スベシ、又里餘ニシテ遙ニ一礁ヲ見ル、物アリ蠢然タリ、之ヲ
 土人ニ問ヘバ、曰ク、是ヲ海鹿トナス、人ヲ見レバ輒投没スト、
 乃遠鏡ヲ出シテ之ヲ觀ルニ、狀果シテ鹿ノ如シ、凡五六頭、又
 半里バカリニシテ漁村アリ、外川ト曰フ、日既ニ晡ニ過ギ、漁
 船皆歸リ千百羣ヲ成ス、艤腹ハ即魚獄、活板ヲ撥スレハ、銀カ
 躍リ出ヅ、沽售皆斗筭ヲ以テ之ヲ筭ス、價賤キト土ハ如シ、墜
 尾遺鱗ハ即村童ノ拾ヒ去ルニ從ス、余一店ニ投シテ酌ヲ命
 ズ、棘鬚魚ヲ擊チテ鹹湯トナス、新鮮比ナシ、薄暮路ヲ山間ニ

取テ、夜松岸村ニ返ル、

例作

南汎録

節略
原漢文

羽倉簡堂

初十日、黎明、船島東二百餘里ニ在リ、適ニ是客月初四、飄流人
 ル所ノ處、辰後風息ミ雨來ル、上午雲柱ヲ艮位ニ見ル、蓋龍柱
 ナリ、少馬アリテ東風大ニ作ル、旗帶西ニ指ス、帆ヲ展マテ復、
 ハ丈ニ僚フ、鷓首潮ヲ劈キ、涼々トシテ聲アリ、唯泡沫ノ卻走
 甚箭キヲ見ル、蓋泡沫ノ卻走ニハ非ズシテ、舟行ノ儼疾ナル
 ナリ、旁暮海霧濃漲、舫司白ス、島ヲ距ツルヲ計ルニ、四五十里
 ニ過キズ、船駛キト太甚シ、恐ラクハ沖擣ノ虞アラシ、乃帆ヲ
 低レテ馳ス、初更西山ノ下ニ到ル、急遽舵ヲ轉シ、山ニ傍ノテ

北シ、島西ノ荷浦ニ淀泊ス、是日風潮俱ニ順故ニ濤暴雨狼ト
雖舫中寫字ヲ妨グズ、世ニ處ル順ヲ貴ブ、吾之ヲ知レリ矣。

驛村 驛市ノ繁盛ニ屬スル事ハ都市及ニ肆店狹斜等ヲ見合スシ、村落田野等ノ語ハ二編ノ春秋郊遊ヲ見合スベシ。

市驛

市色雄富ニシテ、列肆繁錯ス。○家屋高爽ニシテ道路清潔。○比擔一里、人烟一十ニ餘ル、頗豐富ノ象アリ。○人烟繁族。○人戸頗稠密。○街衢相連ナル。○市街清潔。○道路雜遝シテ、頗喧鬧ヲ覺ユ。○人馬ノ聲、晝夜潮ヲ湧カス。○輿影馬聲、日夜往來絶エズ。○往來憧憧トシテ、織ルガ如シ。○人行雜遝、車馬輻輳ス。○行人絡繹トシテ、車塵馬跡絶エズ。○逆旅櫛比、皆山腹ニ就キテ營構シ、窓爽華潔ニシテ、都市ニ讓ラス。○酒樓妓館、駢屋相望、詔言媚色、百方

村落

客ヲ留ム。娼妓トガ客。○驛舍多ク娼妓ヲ畜ヘ以テ旅人ノ錢幣ヲ要ス。○驛舍繁シト雖佳ナラズ。○市街ハ概木製塗造ノ矮屋ニシテ、甚觀ルニ堪ヘズ。○家屋多クハ矮小ニシテ巨商ナレ。○茅屋荒陋ニシテ、街衢不潔。○道路汚惡ニシテ、橋梁頽地ス。○屋宇破壞シ、人烟衰頽ス。○民戸頗整フ。○居民數百家ニシテ、商漁雜處ス。○瓦屋茅店、山ニ依リ樹ニ傍ヒ、烟火蕭條。○人家ハ丘陵ニ跨リ、飛橋ハ溪流ヲ互ル上。○溪南皆漁家。○茅屋參差隱見。○孤村冷廟、幽林密篠。○樹邊ニ茅草泊ヲ下シ、菽乳ヲ炙リ、村女田婦、手ヲ揚ゲ客ヲ招ク。○翠秧綠樹ト相映ズ。○園壽行沃、廬舍竹樹極メテ盛ナリ。○環堵蕭然、百姓家。○數畝ノ宅地、自ラ便宜ヲ占ム。○隘居短垣、僅ニ風雨ヲ蔽フ。○環堵ノ室、茨々ニ生

候氣

草ヲ以テテ、蓬戸完カラズ○窮居荒涼ニシテ、草樹茂密○蓬蒿宅
 ニ満チ、唯一行ノ徑ヲ開ク○堂下ニハ藿藜ヲ生シ、門外ニハ荆棘ヲ
 長ス○棟傾落シテ、草萊除カズ○窮門漏屋○簾門圭窻、蓬戸
 窺漏○紙窗竹屋、燈火青熒○夜中燈ヲ點スルニ、皆松炬ヲ用ウ○
 貧窶ノ敗宇○民居荒敗シ、道路蕪穢ス○土地卑濕ニシテ、季候順
 ナラズ○夏月ニ至ル毎ニ、連旬雨トク、毒炎燬クガ如シ○地ハ北海密
 邇シ、奇寒膠ヲ折リ、惡風銅ヲ裂ク○江河海灣、都テ堅氷ヲ土ロビ、
 水路ノ通ズベキナレ○大雪地ヲ埋メ、地ノ高キヲ屋ト齊シ、履履ノ聲
 駢トシテ頭上ニ在リ○屋舍盡ク没シ、野ニ行人ナク、人家洪爐ヲ設ケ、
 薪炭ヲ盛り、膝ヲ駢ベテ團集ス○雪ノハゲシ○塵甍ノ雜ナクシテ、風俗ノ

俗風

美アリ○其俗朴ニシテ鄙ナラズ○風俗淳朴ニシテ、民皆義ヲ知ル○
 風俗循美○風俗質實樸茂○人民豐樂禮義敦行○知識頗開
 達ス○開都ノ風ヲ習ヒ、朴野ノ陋ヲ脱ス○民淳ニシテ訟簡○民風
 狡猾ニシテ、俗詐欺ヲ尚ブ○民風險惡ニシテ、政ヲ布クノ易カラズ○
 民情剛復ニシテ、風俗固陋○風俗粗暴鄙野○郷俗博奕健訟ヲ
 喜ム○人率頑固ニシテ、書ヲ讀ム者絶エテ無シ○人皆無學ニシテ、智
 識暗ク、怠惰ニシテ生業ヲ理メズ○恬然トシテ其寡聞ニ安ンジ、頑乎
 トシテ其鄙俗ヲ甘ズ○地僻遠ニシテ人開化淺シ○夫妻反目、兄弟
 鬩牆○風俗漸頹敗シ、田園久ク荒蕪ス○平原四達膏腴ノ地○
 地形凸凹ニシテ鋸齒ノ如シ○山勢逼塞、運輸ニ苦ム○山国ナドニテ荷物ノ
 運送ガ不都合ナリ

地勢

地形凸凹ニシテ鋸齒ノ如シ○山勢逼塞、運輸ニ苦ム○山国ナドニテ荷物ノ
 運送ガ不都合ナリ

○地ハ山間僻境ニ在テ、江海ノ利ナシ○平田萬頃、丘陵夾馳ス○

彌望、甲壽ニシテ、間スル村落ヲ以テス○田野豐饒ニシテ、樂土ト稱スベ

レ○土地肥饒ニシテ、物産少カラズ○肥沃ノ土壤ニシテ、人民敏殖ス

○田菜鰲闢シ、野ニ惰農ナレ○人烟稠密ニシテ、閑墾至ラザルナレ○

食貨富穰ニシテ、人カ餘アリ○不毛ノ地、盡閑墾ノ功ヲ奏ス○草木

叢茂シテ、居民鮮少ナリ○國力空乏ニシテ、人民窮餓○土瘠セテ産

寡ク、民貧クシテ家窮ス○曠土多ク、游民多シ○地廣クシテ人稠ク、

民皆自ラ其カニ食ム○土地肥美ニシテ、江水沃野、山林竹木蔬食果

實ノ饒アリ○地形漸高クシテ、菽粟蕎麥ノ屬ヲ種ウ○地ノ高下、磽

腴、宜キニ隨フテ五穀ヲ雜殖ス○沃野千里、幾萬頃、稻粱菽麥

民産

黍稷コレニ生シ、麻棉蠶桑コレニ殖ス○山ヲ墾シテ茶ヲ殖シ、林ヲ伐リ

テ圃ヲ拓ク○務メテ田疇ヲ修メ、滋桑麻ヲ殖ウ○田ニハ粟ヲ收メ、圃

ニハ藍ヲ刈リ、利ヲ獲ル少シトセズ○民耕織ニ勤メ、地ハ漆ニ宜ク、桑ニ

宜ク、麻苧ニ宜ク、土物充溢ス○製作甚精工○蒸氣器械ヲ設ケ、綿

ヲ繰リ、絲ヲ紡シ、布ヲ織ル○紡績組織、悉汽機ヲ用キテ人カヲ省ク

○産物隨フテ繁殖シ、製品隨フテ精巧ナリ○山谷ノ民ハ則薪炭ヲ輸

シ、林木ヲ賣リ、或ハ篠竹ヲ誅シテ以テ筐篋ヲ作り、或ハ楮標ヲ伐リテ

以テ器具ヲ製ス○人往々漁獵ヲ以テ業トスル者アリ○地瘠セ民窮

シ、蜀黍野蒜ヲ采リ、纒ニ過活ス、絶エテ一人ノ粒食スル者ナシ

○交十歳ノ人、百金ニ過ギス○田地ノ入、他壤ニ倍ス○甲園ノ入ハ以テ伏

臘ノ用ヲ裕カニスルニ足り、近市ノ貨ハ以テ周身ノ須ニ供スルニ足ル

高ニシテ數業ヲ兼ヌキナカミセ○衣食ハ生人ノ源ニシテ、耕織ハ古今ノ重

ンズル所ナリ○麻衣以テ身ヲ煖メ、蔬食以テ口ヲ養フ○衣ハ麻服、

食ハ糟粕以テ父母ニ孝養シ、以テ長上ニ服事ス○太平ノ澤、海隅

ニ被及シ、人戸漸密ニ、生齒漸滋シ追々土地、ヒラケル○歲月ノ久キ、家漸構シ、

田稍墾ス同○寂莫ノ野、闢土ト為ル○民甲閒ニ熙々タリ○

遐陬僻壤トホシ○海隅僻陬同

例作

遊奥曆 節略 原漢文

平澤旭山

初四早ク起キ、雇夫ヲシテ炊ガシメ、飯畢リテ乃發ス、行ク
二十許里ニシテ一村ヲ得、八幡ト曰フ、此ヲ過ギバ、行松盈々

トシテ列立ス、行ク一五里許ニシテ驛アリ、石碯ト曰フ、簷端

ニ賣酒球ヲ挂ク、試ニ一盃ヲ飲ム、甚美ナリ、遽ニ下物ヲ命ジ、

更ニ一サク大白ヲ盡クシ、醉ハテ行松ニ靠リテ眠ル、久フシテ覺

メズ、雇夫ニ喚ビ起サルレバ、日已ニ西山ニ在リ、衣ヲ振フテ

行ク、行ク一十五里、北郡山ト曰フ、其村三落アリ、近日燒亡シ、

旅店ニ飲食ヲ設ケズ、足ヲ託スル所ナシ、乃路傍ニ頓シテ以

テ要廚ヲ食ス、今ニシテ富ノ貧ニ如カザルヲ知ル、若シ都人

ヲレテ之ヲ觀セシメバ、其レ余ヲ何トカ謂ハン、東坡句アリ

象村々、酒、以テ此文ヲ形容スベシ、

同 節略 原漢文

同人

十四、平館ヨリ大濱驛ニ至ル、大濱ハ青森ト鄰ル、遠ク南部ノ諸山ヲ望ミテ、歸來ノ期アルヲ喜フ、翌、八子山ト別レテ西シ、復、生路ニ入ル、松前侯路費ヲ賜ヒ路引ヲ給ス、槍ニ記號アリ、至ル所農夫笠ヲ卸シ、行旅馬ヲ下ル、吁青松喝道耻ヅベシト為ス耳、是日、途ニ村婦牧童ノ多ク秋草ヲ駄シテ行クヲ見ル、數馬魚貫シテ過グ、紅白雜花、楚々、有脚ノ家園ニ似タリ、日夕、弘前ニ抵ル、注病後腹中攪急シ、之ニ加フルニ、終日鞍ニ在リ、逆滿硬痛シテ苦ム甚シ、因テ醫ヲ倩フテ按腹ス、將息一日、少ク愈ユ、亦惟烟霞ノ性、來路ノ自由ニ如カザル故爾、翁平ヲ好ミ、足跡幾ンド海内ニ遍シ、到ル處、旅窗驛燈、草々筆ヲ命ズ、此篇ハ乃チ其奥州ニ遊ブルノ道中日記ナリ、今其本題ニ係

ル一節ヲ抄録シテ、聊カ童蒙ノ為ニ作例ヲ示ス、固ヨリ崑玉ノ憾ヲ免レズ、其他南汎録、扈駕餘賞、日光山行記ノ若キモ亦皆然リ、讀者コレヲ亮セヨ、

道路

都市ヲ見合スベシ

行樹

街燈

橋梁河

鐵道

徧城悉是石街ニシテ、最雅潔ト為ス、大街道平直ニシテ、人行車行、街衢タラシム

分界分明、サカヒハッキリス其平カナルト、サカヒハッキリス如ク、其直キト、ナホ矢ノ如シ、ヤ道ノ稍、ヤ其中

ヲ高クシ、其左右ヲ平夷ニス、同路心ハ龜背ヲ作ス、キハク遍ク白砂ヲ敷

キテ、サシ粲々皎々、サシ街道ハ砂石ヲ敷キ、垣々トシテ、雨ニモ行潦ナシ、シ街

路清潔ニシテ、サシ地質善良、ツチノガヨイ大道幅廣クシテ、處々ニ宏闊ノ地ヲ存ス、ヒロキ

○寬地瀟灑、ヒロキチ廣サ數十步、サシ木柵域ヲ為ス、ヤライ車馬輻輳ノ地タルヲ

以テ、破損殊ニ甚シ、ヒロキチ陷地數寸ノ深キヲ致ス、カシ雨後ノ泥濘、ドロク一步ヲ

進ムベカラズ、イレコソ石屑及ビ粘土ヲ用キ、ネ相和シテ以テコレヲ填ム、ドク道ヲツ

修築

道路ヲ修繕スルハ必ス砂小石ヲ用ウ同○石片ノ圓カラザル者ヲ撒

布ス上同○凸處ハコレヲ削リ凹處ハコレヲ埋ム同○樹ヲ將テ封固ス上

○舊泥ヲ鋤去リ碎石或ハ瓦礫ヲ滿鋪スル一七八寸再細沙ヲ加フ

ル一層千斤ノ鐵錨ヲ用キ數十人ヲシテ牽挽シ沙面ヨリ滾過セシ

ム其平カナル一砥ノ如シ上同○隨テ治ムルモ隨テ壞ル○小損ヲ補ヘバ

大壩ニ至ラズ○險路ヲ坦平ニス○道路ノ修整溝澮ノ浚鑿○川

路ヲ閑キ溝渠ノ汚水ヲシテ遊滯セシメズ○水竇ヲ兩側ニ設ケ霖雨

ト雖一滴ノ行潦ナシ○山腹丘陵ヲ貫キテ隧道ヲ構造シ氣燈ヲ以

テコレヲ暉ラス○儼然トシテ街道ニ異ナラズナドイ○山地ト雖往來至

テ更ナリ上同○道ハ平坦ニシテ近キヲ貴ブ○人馬往來絶エズ○行人雜運等

渠溝

道隧

雜

驛村ニ多ク出セリ見合スベシ○灰沙飛揚シ塵埃面ヲ撲ツ○刻々水ヲ灑ギテ已マズ

○塵芥ノ掃除灌水ノ方法○地位ヲ測量ス

行樹 道里ヲ均フシ行樹ヲ植ウ○沿道皆杉ニシテ長翠濯々玩ブベシ

○杉林繁翳シテ街道自ラ暗シ○行松路ヲ挾ミ絡繹數里葱々焉

タリ井々焉タリ○綠樹陰々トシテ街道ヲ掩フ○楊柳陰ヲ交ヘ萬

條垂下ス○千枝ハ春夜ノ烟ヲ罩メ萬條ハ夏晚ノ月ヲ遮ル柳○

暖景涼光最人ニ可ナリ上同○路傍ハ則花木ヲ栽エ或ハ稠茂シ或ハ扶

疎タリ○植ウルニ雜樹ヲ以テス每樹相距ツル一四五步○春ノ芳雲

秋ノ彩霞行人錦繡幕裏ニ絡繹ス市街ニウエタル樹木○葱鬱トシテ林ヲ

成ス洵ニ畫ニ入ルニ堪ヘタリ上同○枝葉繁茂シテ暑ヲ凌グニ足ル○冬

日ハ葉ヲ落シテ日光ノ暖ヲ誘ク○左右ノ緑樹ハ冬猶其色ヲ易ヘズ
 ○冬夏常ニ蔚然○繁華ノ地ニ郊垌ノ趣ヲ得テ、輪蹄ノ街ニ山水ノ觀
 ヲ得タリ
ミギヤカナマチニ樹木ガアリテ、ケシキノヨキ ○宛然庭園ヲ望ムガ如シ

管竈

街燈 鐵室ヲ用キテ煤ヲ其中ニ熱キ氣ヲシテ地中ニ下達セシム○每
 竈鐵管ヲ附著シテ以テ瓦斯ヲ通ズ土中ニ埋メタル○鐵筒ヲ埋メ各處ニ貫
 通シ、千條萬派綿長數里上○銅管數條、蛇トシテ曲折ス上○四
 接申通シテ、滿街ニ平佈ス上○石炭焚熱スレバ、則瓦斯從テ蒸發ス
 ○其度ヲ測リテ其量ヲ節スガスヲ管ヘカヨハセルトキノ○晝夜烟ニ熏シテ、渾身糝
 黒人ナクイ○器械ノ巧ナル、裝置ノ大ナル、故驚歎スルニ堪ヘタリ○燈
 大サ巨算ノ如シガスヲトモス、オホキナトヒ○每街鐵燈臺ヲ建テ、兩側ニ竝列ス上○

臺燈

光燈

管口ニ數箇ノ小孔ヲ刺シ、以テ煤氣ヲ透シ、其氣火ヲ得レバ、晝夜息
 マズ同○管口ニ機紐アリテ、旋轉シ、時ニ隨フテ、啟閉ス管ノトモレグチニツキタシカケ○口毎
 ニ竹簧アリ、簧ニ機アリ上○四ニ玻璃ヲ掩ヒ、以テ風雨ヲ避ク○コレニ種
 ウルニ火ヲ以テスレバ、則瓦斯陸續トシテ焚燒シ、撥起シ、焰ヲ吐ク○斜
 陽全ク影ヲ斂メ、氣燈忽光ヲ放ツ○萬星一連、光明晝ヲ欺ク○燭
 光映射シ、夜ヲシテ晝ト為サシム○火光四射シ、朗徹晝ノ如シ○是々
 皎々アカリ○繁々爛々同○玲瓏輝映同○愈燃エテ愈輝ク○木
 陽ノ没スルヲ知ラズアカリム○行ク處是々トシテ人影認メ易シ上○路上
 ノ點塵モ猶能數フベシ上○通街既ニ明カニシテ、餘焰天ヲ焦ガシ、滿市皆
 白クシテ、流華地ニ溢ル街燈ノアカルキミタテ○一瞬早已ニ廣寒宮ヲ現出シ、四時

切學作文指導

二編

行樹 街燈

真ニ是不夜城ヲ築キ成ス同○素色ヲ玉樓映射ノ間ニ戰ハシ、光華

ヲ花木扶疎ノ中ニ洩ラス同○銀花ハ彩雲ヲ拂フテ競ヒ落テ、寶炬ハ碧

月ニ映ジテ輝ヲ争フ同○火樹銀花、光リ白晝ニ同ジ、真ニハ不夜水晶宮

天ナリ同○銀樹花ヲ開ク同○市街稍閑ニシテ、街燈獨明カナリ

夜ヲケ同○穴竊偷ヲ警メ、行人ヲ便ス○市井ヲ裝飾シ、開化ノ形容ヲ標示

ス街燈同○開化ノ明輝○門戸ニ硝燈ヲ照ラシ、燎々トシテ庭ニ暗、夜ナ

シケタラシナド同○蘭燈煌々トシテ、不夜城ニ入ルガ如シ○吊燈同晝々トレ

テ、真ニ白日ノ如シ○白玻璃ヲ以テ罩ト為シ、光一室ヲ燭ラス同數百ノ

○燈心ヲ用キズ、火光四射シ、煤氣燈ト異ナルナレ同○數百ノ

日燈相輝映シテ、五彩目ヲ奪フ○其功績ヲ見ル、此ノ如ク瞭然タル

雜

者ハ鮮シ

用通

橋梁 長橋波ニ卧ス同○建築功ヲ交ス○建築精良○宏壯偉

麗○奇巧佳麗○水際ヨリ屹立ス○屹々トシテ虹霓ノ卧スガ如ク、

霖潦怒漲シテ來ルト雖屹然トシテ少シクモ動カズ同○虹霓ノ水ニ

飲ムガ如ク、蒼龍ノ空ニ騰ルガ如シ同○彩霓ノ雨ヲ截ツガ如ク、金龍

ノ闌ニ横タルガ如シ同○蛟螭盤結シテ、飛ブガ若ク動クガ若シ同○羽翼スル

ニ扶欄ヲ以テス○人道ハ高クシテ、車道ハ低クシ同○橋梁中ノ巨

觀ト稱スベシ○堅實精工、一ニ法ヲ洋制ニ取ル○鐵函ニテ橋ヲ為シ、鐵

柱ニテ欄ヲ為ル○欄柱橋梁、一ニ精鐵ヲ以テコレヲ築ク○全體鍊

鐵ヲ以テ函ノ如クニコレヲ造ル○飾ルニ青綠漆ヲ以テシ、山欵スルニ鐵柱

造鐵

街燈 橋梁 四十八

造石

丹ヲ以テスノ多クナド ○巨大ノ鐵橋ヲ架シテ汽車ヲ通ズ ○懸崖ヲ連絡シテ鐵鎖橋ヲ架ス ○全體花崗石ヲ以テコレヲ築造ス ○欄干モ亦石ヲ建ツ ○兩崖石ヲ疊ミテ以テ基ト為シ、中ニ柱ヲ置カズタルハレノ ○脚ハ兩彎ノ形ヲ為シ、恰雲鏡ヲ架スルニ似タリ ○底面ノ靚レバ則巨石ノ空ニ懸ルガ如シ、同上、橋ノ下 ○物ヲ載スル一愈重ケレバ則愈齒同 ○甚危キニ似テ甚固シ上 ○表面ハ平坦ニシテ、一木砥ヲ磨スルガ如ク、以テ車行ノ便ト為ス ○一石空ニ架シテ起ル、高大ナル一石狀スベカラス、石被鱗起シ、真龍ノ飛騰スルガ如シ、一枚石ヲカケ ○石ヲ岸ニ疊ミ、柱ヲ水ニ立テ、梁ヲ互ニ板ヲ比ベ、締造堅緻ニシテ、廣サ若干尺、長サ若干丈 ○堅石ヲ以テ其岸ヲ固メ、巨材ヲ以テ其趾ヲ壯ニス ○一木ノ幹スル

造木

橋舟

雜

流緩

所、萬鈞モ輕シトナス ○舟ヲ造リテ梁ト為シ、繫グニ鐵鎖及ビ檜皮ノヲ以テシ、太錨千條ヲ下シ、以テコレヲ鎮ス、船上ハ板ヲ排シ、敷クニ席ト沙トヲ以テス、一 ○或ハ鐵造、或ハ石造ニシテ、甚巧ヲ極ム ○木材モ為シ易カラザルノ巧ヲ為ス、鐵又ハ石トテ造 ○木船通行スルキハ、橋ノ中間ヲ開ク ○橋下ハ行舟ヲ礙エズ ○板橋溝ニ吊レテ以テ不虞ニ備フハ、ハネン ○敗橋ヲ修理ス ○エヲ廢スル一若干萬人、賃ヲ廢スル一若干萬金、ハネン ○周ノ錦帶、甲ノ猿橋、飛ノ繩橋、越ノ舟橋、深クシテ、水流靜カナリ ○寬緩ニシテ、迫ラズ、優折シテ波ナシ ○清流百里、穩波、席ノ如シ ○江面練ノ如シ ○白練一帯、滾々トシテ東南ニ趨ク ○曲折練ヲ挽キテ、海門ニ奔注ス、以上皆派、川 ○湍悍ニシテ、迅疾、石ニ激

刀馬車ノ音

二編

橋梁河

四十九

急流

シテ吼ユルが如シ瀬ノハマキ ○水淺クレテ流レ急ニ泥沙渙散シ、石皆米
 トシテ頭角ヲ露ハス上肝々トシテ岸ヲ齧ミ、流レ甚駛シ ○波浪騰躍
 奔放馳騁大河ナ ○滔々數百里、大石ニ觸レ懸崖ヲ齧ミ、漚リテ潭ト為
 リ激シテ瀨ト為リ、渾浩トシテ流轉シ、晝夜ヲ窮メテ息マズ、以テ海ニ造ル上

軌道

鐵道 鐵道ヲ築營ス ○平直一線 ○五尺許ノ方木ヲ以テ横サマニ
 排シ相離ル、一ニ尺許上ニ鐵條ニテ釘シ、連接シテ斷エス ○一道路必ニ
 條ノ鐵軌ヲ置ク車ノワスウケ ○二條ノ鐵塔ヲ以テ兩車輪ヲ銜ム上 ○火
 輪車ノ奇巧タル、山川高低ノ險路ト雖、能鐵道ニ由リテ通ズベシ ○鐵
 道ヲ地下ニ設ク ○山ノ高キ者ハ、隧道ヲ穿テテコレヲ透シ、川ノ深キ者ハ、
 橋梁ヲ架シテコレヲ濟ス鑛道 ○深溪ヲ互リ、廣河ニ架シ、山腹ヲ穿テ、

汽車

丘脊ヲ貫ク上 ○深溪廣河ヲ互リテ複道ヲ架ス同上、複道ハ上下ニ ○坑
 谷ヲ填メ、丘陵ヲ穿ツ上 ○險阻ノ地ト雖、巧ニ鐵道ヲ構造シ、隧道複道
 ノ懸崖ニ彌ルアリ上 ○複道アリ、隧道アリ、絶險ノ地ト雖、構造ノ宏壯、驚
 歎スベキ者多シ上 ○山腹ヲ貫キテ汽車ヲ通ズ上 ○數里ニ停車場ヲ
 設ケ、側ニ一臺ヲ建ツ ○臺上ハ旗ヲ掲ゲテ晝號ト為シ、燈ヲ懸ケテ
 夜號ト為ス、車中ノ人、旗燈ヲ望ミテ安危ヲ知ル ○二車ヲシテ相
 ツノ憂ナカラシム ○車ハ四輪ヲ用キ、輪邊ハ中空クシテ外實シ、鐵條
 ヲ銜ミテ以テ行キ、旁越ヲ致サシラシム ○前輪ヲ蒸氣動ト為シ、石炭
 ト水ト機器トヲ備フ ○一火輪車ニシテ約七八車ヲ連ヌ ○火車一輛
 ニシテ、坐車八九輛ヲ帶ビ、每輛約三十人ヲ坐セシム ○車尾ニ鈎アリ

以テ客車ヲ牽ク○石炭重シテ狼烟ヲ噴ク○汽笛鳴リテ笛音ヲ

傳フ○號鈴鏘々○急雷地ニ轟キテ狂雲風ニ亂ル○一帶ノ黒烟靡

キテ飛ブガ如シ○雲烟漸濃カニ遠雷響キヲ送ル汽車人遠クヨリ○天外

一髮有無淡々蒸氣ノ烟が速○車輪ノ疾ク行クヲ飛ブガ如シ○其神速

ナルヲ飛鳥モ及ブ能ハズ○一瞬間ニ能數百里ヲ飛行ス○一瞬十里

一刻百里汽車ノ○客小標紙ヲ買フテ證ト為ス○毛席華

麗ニシテ坐卧安適○窓榻玲瓏炭烟到上○油飾鮮明油禱

厚軟ニシテ坐卧飲食ト起立シ左右ニ望ムト皆隨意ナルベシ○車中ニ在ル者

彼此面ヲ認ムルヲ能ス汽車人兩方カス行○忽山忽水奇觀變移ス外ノ景色

○海面ヲ左顧シ山光ヲ右瞻ス上○坐シテ遊歩ヲ為ス○人ニ飛

雜

ヨク翼ヲ著クルノ妙術汽車ノハヤキ○千里モ一日ノ程ノ往返ヲ為ス○汽車ノ

迅速ナルヲ電線ニ一歩ヲ讓リテ蒸船ニ二三舎ヲ避ケシム○風馳電掣

瞬息往回シ輪舟ニ較ブルニ尤速ナリ○大ニ運輸ヲ便益シ盛ニ商賈

ヲ往來ス効能○物品融通シ金貨循環シテ自ラ偏重ノ弊ナカラシム上

○務メテ都鄙ノ權カヲ平均ニス○便益盛大ノ一端汽車○驚クベク歎ズ

ベキノ大業鑛道ナ○巨萬ノ財ヲ抛テ漸其成功ヲ奏スルヲ得タリ同

○知術ト財カトラ惜マズ終ニ全クコレヲ大成スルニ至ル上○蒸氣機

關○汽車抵觸ス○汽罐破損シ熱汽迸注シ爛死スル者若干人○

汽罐破裂シテ塵粉ト為ル○前車ヲ火輪器具ト為シ石炭ヲ燒キ

水ヲ儲ヘ輪ヲ激ス後車接續スルヲ三四十輪ノ輪住屋一所ノ如ク

分チテ三間ト為ス、間ゴトニ各門アリ、門ヲ啟キテ入レバ、兩面ノ小一丸、
 八九人ヲ坐セシムベク、毎間、木窓、木扇ニシテ、ハカラス玻璃ノ木掃アリ、以テ
 風日ヲ障ヘ、ヒキトク啟閉人ニ隨フ○鈴ヲ揺カス、三次ニシテ始メテ行ヲ
 開ク、初メハ猶緩々ナレドモ、ヒキトク數武ノ後ハ、即達馬ノ過ムベカラザル
 が如ク、車外ノ屋舎樹木、山岡、ハカラス阡陌、皆疾ク馳セテ過ギ、徧ク視ル
 ベカラズ

例作

氣燈説 原漢文

小永井小舟

一座ノ罐ハ、萬斛ノ氣ヲ蓄ヘ、一線ノ管ハ、數百里ノ光ヲ傳フ、
 灼々皎々、宛不夜城ヲ開ク、トシヨリ偃杖行、車馳馬走、皆俱ニ顛蹶ノ
 ノ虞ナキヲ得、氣燈ノ利亦大ナリ矣、是以テ文明ノ化ヲ見ル

○足ル○歟○守疑詞ホダ遠ニ他ニ文明ヲ許サシルノ意ヲ見ル者アリテ、曰ク子ノ文明ヲ説クハ則似
 タリ矣、獨我が剝膚ノ害ヲ奈何セン、抑氣燈ノ利タル、黑夜ニ
 行路ヲ燭スニ過ギザル耳、ワレ吾ガ一枝ノ燭ヲ秉リテ行ク
 ニ、未嘗テ其往クベキ所ニ往クヲ誤ラズ、何ゾ必シモ氣燈ヲ
 假ラン耶、若カズ、且其行路ヲ燭ス所以ハ、テ移シテ、以
 テ民ハ生路ヲ燭サシメ、ニハ夫レ民ノ生路ヲ燭シ、誘キテ
 コレヲ利導シ、其レヲシテ腹ヲ鼓シテ謳ヒ、缶缶ヲ擊チテ歌ハ
 シムル者ハ、文○明○本○色○即文明ノ化ナリ、組今ヤ一鄺ヲ受ケバ則一鄺ノ租
 アリ、一物又當ダバ、則一物ノ税アリ、ウシヤウ雞狗車馬僕婢ハ、則雞狗
 車馬僕婢ノ算アリ、民ノ生ヲ保ンゼザル、水旱疾疫ヨリ甚シ、

刀是作

二編

鐵道 氣燈説

拮据奔走、作苦頓踏トクシテ、夜寐饑啼カセギクノ聲裁ニ止ミテ、催科レヨウシヤク

ノ呵カ己ニ門ニ踵イカル、加之法網人網密數サクニシテ一タビ手ヲ揺カス

片ハ則曰ク、違式一タビ趾アヲ舉グル片ハ、則曰ク、罰金、民尺寸

ノ半路ヲ求メテ、之ニ就カント欲スルトモ得マカラズ、又△

燈ノ故ヲ以テ、將ニ萬計ノ筭ニ及バントス、民背席ニ貼テセズ

矣、尚惡ホトクシズ其誘キテ利導スルヲ望マン哉ヤ、租稅燈ナリ、法網ナリ、

生ノ行路ヲ遮斷シテ、文明ノ化域ニ到ラシメザルモノ、余聞テ憮然トシテ曰ク、是アル

哉、是則事ニ莅シムモノ、責ナリ、氣燈ノ設ハ蓋泰西ニ法ル、固

ヨリ文明ノ物タラザル莫シ、然レモ彼レハ則其實ヲ積ミテ

其華ヲ發ス、我レハ則其華ヲ拾フテ其實ヲ遺ス、相去ル一何

ゾ帝天淵ノミナラン耶、蘇氏ノ十字架ニ釘セラレテ衆罪ヲ

贖フハ、誕ト激トニ出ルヲ免レズト雖然文然レモ其愛惠誠ニ久

ク民ニ孚マレ、上下欽仰シテ、今ニ至リテ其教ヲ奉守ス、故ニ其

言行政事ニ在テハ皆一ニ愛心ニ原ヅク、而シテ下ノ上ニ走

ク、水火ト雖敢テ避ケズ、何ゾ況ンヤ、其獲ル所ヲ割キテ、以テ

上用ニ供スルヲ乎、今ヤ民ニ孚スルノ誠、民ヲ愛スルノ政ア

ルナク、專ラ民ニ取ルヲ之謀ル、宜ナル乎、其教ヲ致スヤ、傳

ニ曰ク、知萬物ニ周クシテ、道天下ヲ濟フト、嗚呼、萬物ニ周キ

ノ知ニ在テハ、則之ヲ講ズルヲ知リ、而シテ天下ヲ濟フノ道

ハ、則之ヲ繹スルヲ知ラズ、一燈ノ明、能數百里ノ行路ヲ燭シ

例作

テ、而レテ尺寸ノ生路ヲ燭ス能ハズ、文明ヲレテ終ニ假裝ニ
 歸セシム、斯民ヲ如何セン哉、此、文兩、大、截ニ合ツト雖、仍、是、一、意、及、覆、上、截、客ノ言ハ、文明ヲ説クハ、詳
ク處略シ、時弊ヲ説クハ、詳カナリ、下、截ハ、文明ヲ説クハ、詳
 カニ、時弊ヲ説クハ、及テ略ス、是レ文章前後互ニ讓ル法、

扈駕餘賞

錦帶橋ヲ記スル一節ヲ録ス
 原漢文

川北温山

未牌、關戸驛ニ宿ス、驛南ヲ巖邦ト曰フ、長ノ附庸吉川氏ノ治
毛利氏
 所ナリ、錦帶橋アリ、構架奇巧、川田厚壽ヲ拉シテ往キテ視ル、
 驛北水ニ傍フテ錦川ヲ得、水日光ヲ承ケ、時ニ錦紋ヲナス、因
 テ以テ河ニ名ヅク、述異記ニ載スル所ノ續水ナル者蓋是類、
 水涯ヲ涉ル一里許ニシテ橋ヲ得ル五、橋穹窿、其前後涯ニ架
 スル二橋ハ、尋常ノ制ノ如シ、中三橋水心ニ瘡ル處、飛橋空ニ

架ス蓋河水漲ル片橋柱決シ易シ、機巧ノ由リテ設クル所、五
 橋合セテ百二十有五間、試ミニ飛橋ニ步セバ、軋々トシテ聲
 アリ、重ヲ載セバ益堅シ、時ニ水落チ沙出ヅ、水際ニ至リ仰キ
 テ橋裏ヲ瞻ルニ、交結測リ難シ、遠ヨリシテ之ヲ望ムニ筭子
橋ヲ記スル此ニ止ル
 ノ如シ、故ニ又筭子橋ト名ヅク、一石ノ長サ尺、經、五、六寸ナル
 ヲ獲、水勢ノ穿ツ所、自然ニ泓ヲナス、以テ硯トナスベシ、傍岸
 ノ民坊、賣鋪稠密、櫛比、浮鋪ニ就キテ飲ム、川甲生水ニ臨ミテ
 竿ヲ投ス、須臾ニシテ細鱗ノ大サ食指ノ如キヲ獲、余曰ク、已メ
 ヲ矣、何、漫ニ波臣ニ災セン、余釣ニ拙、生大ニ晒ス、舊路ヨリ歸ル、

肆店 商雜

都市ヲ見
 合スベシ

夜商

魚市

刀是作

二編

氣燈説

扈駕餘賞

肆店

五十四

百肆千店、商工、櫛比アキトヤ職人ミ○百貨ノ肆店、櫛比軒ヲ列ヌ○列

肆キヨニー鉅麗ニシテ、富商大賈多シ○肆店商家櫛比シテ、百貨ヲ販賣ス○

市場百貨ヲ列ネ、殊ニ雜選ヲ極ム○日ニ新開ヲ競ヒ、月ニ繁華ヲ鬪ハス

○紅旗ヲ掲グテ、標牌ト為ス○美本麗丹、枕籍重疊○朱皮

屏立シ、鳥裝櫛比西洋書本ト多○表題皆金字ヲ鏤メテ、晃々眼ヲ射ル

洋書○二酉五車、庫ニ藏シ、汗牛充棟、肆ニ列ス書物ノ多クアルハ、二酉ハ昔木酉小酉ニ山ノ丸中ニ藏書千卷アリレ故也

○綿布絹帛、紅白相映ジ、綾羅錦繡、金碧互ニ輝ク○更紗ノ花紋

ハ、暗香動カント欲シ、黼黻ノ鳥紋ハ、薄翅振テカ如シ○綺羅星ヲ欺キ、光

輝日ヲ奪フヨキキヌルイハ○錦綺目ニ繁タリ○彩霓重復、紅霞濃抹布帛類

○越後ノ縞、玉川ノ縵、山城ノ縮、緬薩摩ノ藍、珍○

每絹價ヲ寸紙ニ記シテ、以テ帛端ニ附ス呉服物ノ正札付○蚊紗帳、懶流水、綠渦

○磁器瓷瓶、球々疊々セトモノ○其質ハ堅緻、石ノ如ク、其色ハ瑩然

玉ノ如シセトモノ○錦色ヲ帶ブル者ハ、山城肥前ノ名産ニシテ、碧紋ヲ染ムル

者ハ、美濃尾張ノ精品ナリ○玻璃ノ盃、碟、皎々トシテ、雪堆シ○陳設

品、瑩瑩トシテ、皎潔ニシテ、霜雪ノ如シ上○燈罩器、精瑩目ヲ奪フ上

○玻璃店ハ、則魚餅、葫蘆、鼓、鐘、鐵馬、燈碗、各色ノ盃、碟、アリ○玻璃ノ

粧鏡ハ、行人影ヲ映ジテ、全體ヲ寫ス○扁鏡、炯々トシテ、銀派レ氷

水、晶宮ニ遊ブカト、疑フ○百貨山積シ、丘陵帝ノミナラス品物ノ多クアル

トシテ、丘積シ、鱗々トシテ、雲瀉ス上○鷹陣魚貫品物ノ多ク○貴貨珍器

ヲ羅列ス○爭フテ、新品ヲ列ネ、競フテ、奇物ヲ飾リ、金銀相輝キ、青紅互

ニ、羅列ス

品雜

璃玻

器陶

帛布

籍書

切見左

肆店

五千五

ニ映ズ○百色煌々トシテ光ヲ銜ス○金玉珍寶珠翠璫璨目ヲ奪フ○
 金銀ヲ點化シテ以テ什具ヲ飾ル○金鑲銀飾星光映射シ珠器玉具
 水色滴瀝○金器銀具黃白相映ズ○金銀及ビ珊瑚ノ飾ル所爛然
 目ヲ奪フ○彫珠鑲玉丹青互ニ輝ク○烏漆金鑲○琢磨自在ニシテ
 白壁ニ微瑕ナシ玉番○珊瑚ノ麗口玳瑁ノ隨子○玉几日ニ光輝ク○鐵
 具銅器モ亦陶物ト伯仲ス○古色ノ茶器新製ノ酒具○蒼古ノ鐵
 瓶○藥氣鼻ヲ薰シ藥埃眼ヲ眯ス○粉米糲散青紅相雜ハ
 ルフルギミセ○天ハ彩霞ヲ落シ風ハ紅葉ヲ揮フ上○洗染補綴ニ點化巧ニ
 製ス○麗シク春ヲ剪リ祭カニ秋ヲ織ル花布○虎頭ハ風ニ掉ヒ獅子
 ハ花ニ戲ル物ト○粉墨ヲ施シ錦衣ヲ衣スナド○縷金ノ襯衣縮緬

食酒

ノ表服綺羅錦繡ニテ前刃裁裝置スハゴ板入オ○雜賣ハ則烟管烟袋各色
 ノ摺扇梳篦髮及釵釵香囊彩勝水上浮紙畫兒遠視畫凡兒戲ノ
 物泥孩陶犬惜千々類名件甚夥畢數フベカラズ○千品
 萬種奇具珍器雜然肆上ニ臚列ス○凡人家需用ノ物有ラザル所ナク
 賣ラザル物ナシ千種萬類一々其品彙ヲ臚記スルヲ得ス○屠戶酒
 肆雜比ス○酒舖美店其間ニ雜錯ス○屠沽ノ多キ一算數ニ勝ヘズ○
 青幌ヲ掲ゲテ以テ酒ヲ賣ル○茗碗燈盤精巧ナラザルナレ○朱觥銀
 盤其豐美ヲ盡クス○葡萄酒ノ名酒瀝々トシテ蜜ノ瀉ガカ如シ○殆上國
 ノ佳釀ニ讓ラスカミガツクリデ○庖丁燭ヲ照ラシテ美ヲ調ス○刀ヲ鼓シテ
 コレヲ屠ル肉ヲ魚スレウ○割切方正手逐ヒ刀移ル凡板隨テ鳴ル即ヲ擊シ

刀學作人百字

肆店

アルガ如シ○一椀ノ美苧モ調セズ半醬ノ肉苧モ宰セズ濃烟

輕ク走り、薰香益嚴ナドイ○泥鱒團魚ノ美、紅鬚青鱒ノ鮮○魚肉

ノ精鮮、割烹ノ鹽梅○各口一味傑ト叫ハサルハ莫シ○饒客水至レ後

先序ヲ争フ○粗梨、橘、柚、時ヲ追フテ菓ヲ堆クスミセト○紀州ノ蜜柑、甲

州ノ葡萄、外山ノ乾柿○西瓜、甜瓜、林檎、杏、桃、楊梅、諸色ノ水果アリ

○買フ者、嚮グ者、喧嘩雜選レ頭ヲ掉カシ手ヲ拍チ、毛末ノ利ヲ争ヒ、滿

路填塞シテ、車馬モ行クヲ能ハズ○諸祠刹ノ間往々浮鋪アリ○

軒ヲ争フテ居ヲ占ム○曝商棚ヲ連ネ席ヲ接ス○露肆地ヲ填ム○

百爾席ヲ争フテ物ヲ嚮グ○荷擔ヲ弛ベテ以テコレテ賣ル○市ハ價ヲ

貳ニセズナキト○五尺ノ童ヲシテ買ハシムト雖欺ヲ受ケス○偽製履作

雜

浮鋪

菓菓

コレヲ望メバ精良コレニ近ケバ濫惡遠クカラ見タハヨイヤウダ○風流好事

ノ客皆黄白ヲ擲チテコレヲ購フ○來リテ黄金ヲ投スレバ、囊中ノ物ヲ探

ルガ如ク、求メテ獲ザルナシ○買フ者賣ル者各隱語ヲ用キ、何ノ言ナルヲ

知ラズ**商雜**其有ル所ヲ以テ無キ所ニ易フ○有無ヲ遷シ居ヲ化

フ上○韞藏シテ價ヲ待チ、負切手シテ沽ヲ求ム○買遷ヒト○時ヲ逐ヒ

負ヲ居ク○時ヲ待チテ大利ヲ釣ル○壟斷ノ利ヲ罔ス○贏利薄カラス○

ニシテ巨萬ノ富ヲ為ス○奇策ヲ畫シテ木利ヲ網ス○贏利薄カラス○

封侯ニ等シ○素封ノ家○一獲得ル所、黄白棟ニ充チ、一敗失フ所、家

ヲ破リ産ヲ覆ス、其得其失、間息ヲ容ルカラズ、朝ニ猗陶ト為リ、夕ニ丐

コト

肆店 商雜 五十七

夫ト為ル ○利ヲ得レバ則喜ビ利ヲ失ヘバ則悲ム ○失敗立ドコロニ至ル ○
 損敗ヲ致ス ○商法ハ詭道 ○一錢ノ損益ニ關スルモ敢テコレヲ忽ニセス
 ○帳ニ對シテ算ヲ歩ス ○牙籌ヲ握リ、錐カヲ爭フ ○蠶絲ヲ析キ、牛
 尾ヲ分ツ ヤウラスル ○致々トシテ朝夕唯貨是求ム ○利心中ニ動キ、負
 目瞬ガズ ○坐賣ハ顯々、行賈ハ遑々 ○萬足一心、人ノ我ヨリ先ダ、ン
 一ヲ恐ル ソトヲカケハレリテ、レ ○花主ノ望ミニニ因ル ○飢ヲ射テ米ヲ四買フ ○
 物價騰貴 ○子母殆相伴シ 借リタル金ノ利ガツモリテ、元 金ト同位ノ金高ニル ○名ヲ爭フ者ハ朝
 於テシ、利ヲ爭フ者ハ市ニ於テス
 夜宿 肆店ヲ見 ○地ニ席シテ天ニ幕セズ ○榻ヲ聯ネ席ヲ鋪キ、百貨ヲ陳
 列シテ、下木市場ヲ開ク ○火焰ハ天ヲ焦シ 熏烟ハ地ヲ掠ム アカリノ盛 ○

火烟愈盛ニシテ、繁雜益劇 ○燭火天ヲ燒ク、熱鬧知ルベシ ○火焰
 空ヲ熱キ、喧闐明ニ徹ス ○涼棚茶店、鱗次櫛比 ○彩燈ノ間ニ氷ヲ
 賣リ、木傘ノ下ニ錫ヲ鬻グ ○錫商賣、魚鱗相連ナル ○玻璃ノ彩燈
 星ヲ綴ル ○彩燈團圓、硝杯玲瓏 ○西瓜ノ皮ハ空ニ翻リ、砂糖ノ水ハ
 雨ヲ傾ク ○舊布禪アリ、敝綿袍アリ、木盤銅瓶アリ、磁壺陶碟アリ、
 鐵葉ノ匣アリ、硝子ノ簪アリ、馥郁トシテ薰スル者ハ、巴里ノ香水ニシテ、
 奴才トシテ耀ク者ハ、倫敦ノ石鹼ナリ ○其價格ノ廉ナルヲ以テ、其口
 等ノ卑キヲ知ルベシ ○黄昏ニシテ會シ、午夜ニシテ散ズ ○夜商既ニ散
 ビテ、人行漸絶ユ

魚船相銜、集リテ橋下ニ泊ス ○魚鱗織ルガ如シ ○魚ヲ捕ヘテ

口ヲ餽スル者、算數スベカラズ○朝夕網ヲ舉クル毎ニ皆來リテコ、ニ
 魚ノ價ヲ傳フ萬人環市シテ、手ヲ揚ゲ指ヲ揺カシ、其價ノ廉ナルヲ欲
 スル、蟬ノ如ク鴉ノ如ク、嗜熱人ヲ醉ハシム○春夫ノ板魚ハ、响濡丘ヲ
 築キ、秋風ノ鱸魚ハ、潑刺江ヲ傾ク○夜潛ノ鮓魚ハ、子規ト飛ブヲ
 争ヒ、晚市ノ竹筴魚ハ、紫茄ト時ヲ競フ○紅魚ト青魚トハ、籃中ニ躍リ、
 烏魚ト章魚トハ、石上ニ歩ス○沙狗ハ腕ヲ奮ヒ、海蝦ハ長再ヲ怒ラス○
 石決明ハ礪石トシテ、良巖ヲ崩ス○江瑤柱相支フ○拳螺相搏ツ
 ○鼠頭、牛尾、貂皮、烏頰ノ諸魚ハ、委スル塵ヨリモ輕ク、棄ツル芥ヨリ

例作

モ甚シ○交錯尾ヲ翻シ、枕藉鬣ヲ横タフ○土俗鮮魚ヲ嗜ム○ニ
 日肉食セザレバ、骨皆離ル○奇獲アリテ、コレヲ市ニ斥賣スレバ、一二ノ紅
 鱗化シテ千百ノ青銅ト為ルトラヘタ魚ヲ市へ、○得ル所ノ利、一網ニ千金
 ○鹽腊脯醢、遐域ノ物、長風濤ヲ破リテ、萬里爰ニ湊マル
 經濟要旨敘 原漢文

小永井小舟

經濟大矣ナリ、而シテ要旨ノ書ハ、財利ヲ説クニ過ギズ、是徒
 盡ス、是レ下文ノタメニ勢ヲ取ル法
 一人ノ心計ヲ長スルノミナラズ、恐クハ將ニ民ノ趨向ヲ移
 サントス、然レハ厚生利用、既ニ聖經ニ著ル、而シテ食ヲ足レ
 兵ヲ足スハ、又聖言ニ出ヅ、則所謂人富ミテ而シテ仁義附ク
 者ニ非ズ耶、經濟ノ要、財利ヲ捨テ、惡ゾ取ラン、管子ノ政、范

蠡ノ治、後世以為ラク及ブモノ莫シト、富厚ニ由ル爾、而ルニ
 迂儒ハ察セズ、務メテ高遠ニ馳人、壞レザルモノ、鮮シ、劉歆手
以下方ニ書ヲ説ク
 介甫ノ周官ニ於ケル是ナリ、此書精細深切、約ニシテ守ルベ
宋ノ人
 ク、夷ニシテ行フベク、利源斯ニ通ジ、國本斯ニ實ス、要旨ノ義
其旨
 蓋是ニ於テ得タリト為ス、嗚呼、今ノ學者、速作衆矣、其言密ニ
要ソ得ズ
 シテ而シテ碎、精ニシテ而シテ拘、拘者ハ迂、碎者ハ俚、均ク經
是亦高遠ニ馳スルノ弊、終ニ要旨ノ義ヲ得ズ
 濟ニ益アラズ、則劉王ト與ニ同ク壞ル、耳、而シテ間、又衆作
是亦高遠ニ馳スルノ弊、終ニ要旨ノ義ヲ得ズ
 ヲ排シテ高ク自ラ表シ、其ヲ辨ヲ肆ニシテ、其狂ヲ馳セ、前賢
 ヲ奴トシテ、後オヲ隸トスルアリ、抑果シテ何ノ學ゾマ、是則
 行ハレズシテ、先壞ル、者ナリ、

山林

社寺

一編ノ宿山寺ヲ見合ス

附

神會

教會

石磴面ヲ掠メテ立ツ、數百級、○石磴數尋面ニ當リテ起ル、○石級ニ
 道アリ、峻ナル者ヲ男坂ト曰ヒ、迂ナル者ヲ女坂ト曰フ、○上方ニ登ル
 處、石ヲ壘ム、數十級、○鑑ヲ下シテ攀援ク、坂ナク、○磴道崎嶇、級ヲ
 拾ル、數百步、磴盡キテ堂アリ、○神門聳エ石橋跨カル、○深樹繁茂
シヨ卒雲埋掩ス、自ラ靈物ノ憑ルガ如キアリ
○老杉構參トシテ、罽フニ
 紫嵐ヲ以テス、隱然トシテ鬼神ノコレヲ呵護スルガ如シ、○祠畔ハ櫻樹
希疎ニシテ、翠松アリコレニ錯ハル
○松多クシテ、翠影映射ス
○深樹圍
 繞シ、間雲吐出ス、○碧松白雲、欣然トシテ目ヲ怡バシム、頓ニ意況ノ別ナ
 ルヲ覺ユ、○數百年ヲ經タル古木、森々トシテ繁茂ス、○空ヲ摩シ、雲ヲ

千レ秀拔萬狀松杉ノ類○大松樹路左ニ偃レ、枝皆横ニ指ス、長サ數丈

千年外ノ物ナリ○翠木蔭蔚飛泉激越○池上ノ懸崖十尋瀑泉コ

レニ懸リ、鏘然トシテ石ニ觸レ、透流曲折ニ匯リテ池ニ入ル○怪巖爭ヒ

立ち、古木蒼鬱人ヲシテ凜然タラシム○巖肩ヲ攀テ、匍匐レテ行ク、

峻險ニシテ足ヲ措キ難シ山本ノ○一圓石アリ、高サ人頷ニ及ブ、重サ

數千斤ナルベシ、手ヲ以テコレヲ撼セバ則兀々トシテ動揺ス、而レモ終ニ轉ズ

ベカラズ○玉殿金宇、丹碧交輝キ、覺楹頗壯ナリ宮ヤ堂ヤト人○紅樓翠

殿、金碧眼ヲ、刺シ、駢闐逼側立、錐ノ隙ナシ、壯麗狀スベカラズ○規模

宏敞ニシテ、殿宇壯麗、人ヲシテ敬ヲ起サシム○殿甚古リ、彫刻剝落シ、

柱皆蠹蛀ノ痕ヲ成ス、殿扉彫鏤頗纖巧ナリ○堂院荒蕪シ、殿宇

宇殿

破壞ス○輪堂層塔、鴈行並建ツ○浮圖數級アリ、聳エテ雲霄肖ニ入

ル○米頭峨々トシテ雲間ニ聳ユ塔○鏤金ノ高塔、日光ニ輝キ、最モ壯

觀ヲ極ム○高龕巍峩トシテ、米塔屹立シ、丹碧交輝キ、覺楹相接ス

○山ヲ披キ、木ヲ伐リ、法宇ヲ構崇ス○官民踊躍シ、贊ヲ損テ役ヲ助

ケ、規模ノ宏ナル、丹雘ノ美ナル、日ナラスシテ功ヲ成ス○壯嚴ノ美、建築

ノ麗、固ニ都下ノ寺域ニ冠タリ○尊龕莊嚴、徳ヲ街ニ威ヲ裝ス、

ノシニカウ○玉龕寶帷、金碧射レ、莊嚴ノ美、固ニ比ナレ○石龕アリ、

サ三五人ヲ容ルベシ、窓戶林策、渾然タル天工、或ハ曰フ、太古穴居ノ時

穿ツ所ナリト○紫幕儼然○五色ノ彩旌○珍寶什器ノ海

外各國獻備ノ物品外國カラシナ○莊嚴煥發、堂宇○金碧眼ヲ眩ス

刀

二編

社寺

六十一

祠神

上同 ○頗精美ヲ極ム上同 ○善ヲ盡クシ美ヲ盡クス ○城中極ノテ寛ク、
 祠宇頗宏ナリ ○祠岡ニ倚リ潭ニ臨ム ○壇壝頗華ニ數松樹アリ、
 以テ祠宇ヲ庇フ ○儼然タル一叢祠 ○廟峭崖ニ依ル ○廟基四五
 縁ニ過ギズ ○其封ハ垤然トシテ以テ高く、其樹ハ蔚然トシテ
 以テ茂ル塚 ○祠ヲ立テコレヲ祀ル ○像ヲ其中ニ奉ジテコレヲ祀ル
 ○魂魄ヲ收拾シ以テ神ト為ス ○英雄ヲ祀リ以テ神靈トナス ○百
 歳ノ下、其神散セズ、赫々トシテ威靈アリ ○威靈千載今
 モ一日ノ如シ同上 ○義士ノ遺勳、忠士ノ餘功、赫々トシテ萬世ニ輝キ、不
 キニ傳フ ○千古ニ血食ス ○其忠誠義烈ハ金石ヲ貫キ、宇宙
 ニ徹ス ○碑アリ其事ヲ載ス ○字己ニ刻ス ○碑ナドハカキタ
 トホル

像佛

字纒ニ半存ス ○野史ヲ考ヘテ、益其詳カナルヲ得タリ ○郡乘ニ載
 スルナシ ○神ノ來歴考フベキナシ ○民徳トシテコレヲ祀ル ○誠敬ヲ盡
 クレ功德ニ報ユスル ○組豆肅然、賽祀特ニ盛ナリ ○虔潔齊敬ニシ
 テ、誠意ヲ盡クス ○幣帛ヲ捧ゲ、香火ヲ設ケ、跪拜禱祀ス ○口ヲ漱ギ
 掌ヲ拍ツ ○百穀ノ豐穰ヲ祈ル ○水旱災厲コレヲ禱レバ輒應ズ
 ○祝禱スル一通宵 ○通宵黙禱ス ○神宮ヲ改造シテ、遷宮ノ儀ヲ行
 フ ○秋成ニ屆ル毎ニ、戲ヲ演シテ神ニ酬ユ ○秋コクモツデキタル ○祀典久ク廢ス
 ○著シテ、永式ト為ス ○大旃檀ヲ以テ菩薩ノ像ヲ作ル ○慈
 容端正ニシテ、結束真ヲ得、印結シテ、跣相具足ス ○佛端嚴如
 麗ニシテ、慈愍ノ性ヲ具ス ○合掌シテ、如意ヲ横タヘテ、跣坐ス ○結跏
 上同 ○如意ヲ横タヘテ、跣坐ス ○結跏
 上同 ○經ヲ執リテ、平

刀馬作大七指掌

二編

社寺

坐シ、カキ變バシ奴ヌ側カハラニ立ツ上ト○カキ跏カキ坐カキシテ香カキヲ燒カキク上ト○カキ正カキ坐カキシテ枯カキ木カキノ中カキニ入カキ

定ツヤウス上ト○カキ數カキ珠カキヲ持カキシ、誦カキ呪カキシテ坐カキス上ト○カキ胡カキ人カキ錫カキ杖カキヲ持カキシ、カキ變カキ奴カキ鉢カキヲ

捧カキゲテ立カキツ上ト○カキ手カキ臂カキ錯カキ出カキシ、開カキ合カキ捧カキ執カキ、指カキ彈カキ摩カキ拊カキ、千カキ態カキ具カキサニ備カキハルカキ觀カキ音カキ

像カキ○カキ冷カキ骨カキ癯カキ貌カキ、カキ肫カキ然カキ懇カキ至カキノ象カキアリ、目カキ精カキハ玉カキヲ嵌カキシ、炯カキ然カキ人カキヲ射カキルガ如カキ

ク、衣カキ上トノ漆カキ光カキ鐵カキノ如カキシ、佛カキ像カキ○カキ其カキ像カキ熏カキ黑カキニシテ、俱カキ眼カキニ玉カキヲ嵌カキシ、閃カキ々カキ人カキ

ヲ射カキル上ト○カキ庵カキ僅カキニ十カキ笏カキ風カキ雨カキヲ庇カキハズ、像カキヲ其カキ中カキニ置カキク○カキ像カキ左カキノ袈カキ裟カキ下カキ

副カキ、摺カキ疊カキノ處カキ皆カキ斷カキニ、初カキメテ看カキルニ淡カキ黃カキノ如カキシ、其カキ裏カキヲ翻カキセバ、紅カキ彩カキ絲カキ理カキ

ニ隱カキ然カキタリ、年カキ久カキクシテ壞カキル、ナリ○カキ鐘カキ磬カキ椅カキ榻カキノ類カキ、次カキ第カキニ鋪カキ列カキス○カキ琉カキ璃カキ器カキニ舍カキ刹カキヲ貯カキフ○カキ極カキ樂カキ世カキ界カキノ圖カキ○カキ妙カキ光カキ四カキニ散カキシ、天カキ花カキ續カキ續カキ紛カキタ

リ佛カキ大カキノ○カキ紫カキ雲カキ變カキ變カキ○カキ慈カキ悲カキ深カキ重カキ○カキ案カキ頭カキニ舊カキ磁カキ淨カキ瓶カキヲ以カキテ花カキヲ

獻カキシ、淨カキ碗カキニ水カキヲ酌カキミ、晝カキハ印カキ香カキヲ熱カキキ、夜カキハ石カキ燈カキヲ燃カキス○カキ德カキ更カキニ高カキ久カキ功カキ

更カキニ廣カキシ佛カキノリヤク○カキ人カキ民カキノ縱カキ覽カキヲ許カキスノスル○カキ都カキ人カキノ群カキ參カキ殆カキ庫カキ刻カキナ

シ○カキ丰カキ人カキノ拜カキ賽カキ坊カキヲ傾カキクガ多カキキ○カキ賽カキ群カキ潮カキヲ捲カキク上ト○カキ賽カキ報カキ夜カキヲ趁カキヒ、

香カキ火カキ曉カキニ薰カキス上ト○カキ香カキヲ行カキフ者カキ日カキ夜カキ雲カキ聚カキス上ト○カキ檀カキ徒カキ雲カキ合カキシ、雜カキ還カキ殊カキ

ニ甚カキシ○カキ男カキ女カキ貫カキ魚カキシテ膜カキ拜カキス○カキ千カキ指カキ香カキヲ拈カキリテ、濃カキ雲カキ祥カキヲ凝カキラス○

犀カキ宇カキ蕭カキ條カキ香カキ烟カキ久カキク習カキル佛カキ堂カキ下カキト○カキ蕭カキ然カキ數カキ楹カキ僧カキ房カキ下カキト○カキ精カキ舍カキ山カキニ北カキ背カキ

シテ野カキニ面カキシ、幽カキ秀カキニシテ恢カキ達カキ○カキ長カキ廊カキ晝カキ靜カキニ、古カキ殿カキ烟カキ消カキシ、徘カキ徊カキ四カキ顧カキスル

ニ聞カキトシテ人カキ蹤カキナシ○カキ兩カキ廡カキノ古カキ畫カキ尚カキ多カキケレバ、半カキハ已カキニ紗カキ落カキス○カキ廊カキ廡カキ

缺カキ壤カキニシテ、榛カキ蔓カキコレニ生カキス寺カキ下カキトア○カキ樓カキ客カキノ廬カキ齋カキ庖カキ庖カキ、兩カキ傍カキニ序カキ列カキス○

狂カキ峯カキ怪カキ石カキ、簷カキ上トニ翔カキ舞カキシ、松カキ杉カキ竹カキ箭カキ横カキ生カキ倒カキ植カキシテ、葱カキ蒼カキ相カキ糾カキシ、大カキ風カキ

房僧

刀皇作大指掌

二編

社寺

六十三

僧

雨ノ至ル毎ニ堂中ノ人將ニ壓セラレントスルカト疑フ^{山等ナリ}○四圍ニ青杉
 數百株アリ、旁舍潔靚ニシテ、地ノ邊寂極マレリ此境ニ栖メバ、庸俗ト雖
 亦以テ一二ノ戒ヲ保ツベシ○主寺久ク人ヲ得ズ○登壇ニテ菩薩ノ戒ヲ
 受ク○佛説ヲ信ジ禪理ヲ愛ス○發願出家シテ、戒行殊ニ嚴ナリ○六
 時佛ヲ念シ、勤行怠ラス○暇アル毎ニ鉢ヲ抱キテ出デ、化ス○破衲ハ懸
 鷄ノ如クナレト補ハス、髻頭ハ謂毛ノ如クナレト剃セズ○浮屠ノ道タル、
 欲ヲ絶チ情ヲ祛キ、澹泊ヲ宗トシ、寂滅ヲ求メ、能身ヲシテ槁木ノ如ク、
 心ヲシテ死灰ノ如クナラシム○龕前ノ隙地、百雉ニシテ狹シ、射塚砲房
 槍劍ノ埒ヲ置ク○畫額樹○懸鐘臺○門側ニ懸鐘アリ、形甚古雅
 ニシテ、一一年製ノ款識アリ、字皆遒勁○獨此鐘ヲ古物トナス、僧ニ命
 年号

雜

輿神

ヅテコレヲ敲カシムルノ數杵、聲鏗々然杵止マリテ響騰ガル○數百年ヲ
 經ルト雖依然トシテ變ゼス○子坊末刹、無慮數十○繁華行樂ノ域
 ト為ル○春秋ハ則茶店酒樓ヲ設ケ、都人雜遝シ、衣香扇影、日ニ寺
 中ニ滿ツ○行酒糾觴ノ遊ヲ作ス者、晨夕絶エズ○騷人墨士、往々
 其間ニ觴咏肅歌ス○香火經梵ハ、葢然トシテ曾テ知ラザル者ノ如レ
 繁華ニナリ
 タル寺ノ一 ○神廟佛宇、漸荒廢ニ屬ス
 新ニ假宮ヲ葺シ、尊龕ヲ奉安ス○一、明鏡ヲ安置シテ高壇ヲ
 其前ニ設ク○鼓譟シテ神輿ヲ昇フ○神ノ棲舍スル所ハ威儀簫鼓雜
 戲ヲ具ヘテコレヲ迎フ○一、雙ノ吉甞ハ海味ヲ供シ、百種ノ新菜ハ山珍
 ヲ獻ズ○萬顆餅ヲ積ミテ、明珠徳ヲ敷クモチヲツミテ、神
 刀製作^{文指等} 二編 社寺 神會 六十四

クニ立チ、餉米ハ山ノゴトクニ重ナリ、錦ヲ懸ケ、繡ヲ陳ヌ○賽者ノ銅貨ハ

蒼海ノ鱗波ヲ為シ、獻備ノ芭米ハ島嶼ノ山岳ニ等シ○海島ノ神○幟竿

ハ林ノゴトクニ列ナリ、賽錢ハ雨ノゴトクニ抛ツ○賽錢ハ雨ノ如クニ抛チ、打鼓

ハ雷ノ如クニ轟ク○衣冠束帶シテ壇上ニ坐ス神官○壯嚴威ヲ壯表ヒ、

華美祥ヲ輝カスヨシナドヲ、カ○儀備甚繁盛○儀杖整肅○千點燈ヲ

燒キテ、衆星靈ヲ照ラストウミヤウ、○毬燈聯絡○星光萬點○遍往

ノ燈燭ハ輝煌トシテ晝ノ如シ○萬點燭ヲ供シテ、衆星光ヲ閃カス○

銀燭ハ光ヲ競ヒ、毬燈ハ彩ヲ闘ハス○萬枝ノ燈ヲ燃シテ、五更ノ眠ヲ欠

クアカリヲツケテ夜○人影街ニ闘チ、鼓聲天ニ轟ク○鼓聲殷々トシテ、人氣

漸課グ○鼓吹宣闌魂ヲ動カシ、魂ヲ飛バ○笙鼓紛喧、人

車山

ヲレテ覺エズ、舞蹈セシム同上○鼓手吹口○山車鼓課、次ヲ以テ挽キ出

ダス○山車ハ峻ニシテ樓ノ如ク、常中ニ一柱ヲ豎テ、高クシテ浮圖ノ如

シ、金花錯落、刻鏤藻繪、素蜀ノ異錦ヲ裵ヌ、鬚豹ノ奇繡ヲ陳ヌ○車

上ニ樓閣ヲ設ケ、金碧瑩煌包ム錦綺ヲ以テスイ○層樓海市ノ空

中ニ湧キ出ヅルガ若シイミタテ○車ハ皆駕スルニ牛ヲ以テス○絹花綉山

花ツリ○傘彩人勝○弄織アリ、浮圖上ニ金ヲ以テ鳳凰ヲ為リ、四邊ハ垂

ル、ニ流蘇ヲ以テス、錦繡錯落舞旋シテ以テ戲トナス○絲ヲ剪リ花

葉ヲ為リテ條ニ綴ルツリ○美ヲ揚ケ、豪ヲ耀カシ、錦ヲ剪リ、綺ヲ裂ク

ニカザルダシナドスリッパ○家々錦ヲ剪リ、繡ヲ裁シ、紅ヲ飄ヘシ、緑ヲ揮ヒ、豪ヲ闘シ

奢ヲ競フ衣服下ヲスリッパ○錦繡地ニ塗ヒ、綾羅塵ヲ拂マツリテスリッパナ

美ヲ闘ハスニカザル○金縷泥ニ曳キ、綾羅塵ヲ拂マツリテスリッパナ

行装一色皆剪花ヲ戴ク○衣ハ其色ヲ同クシテ以テ驕奢ヲ照ラヌ

○各新衣ヲ裁シ争フテ粧束ヲ美ニス○紋理染色極メテ工夫ヲ費ヤ

レ競フテ時様ヲ取ル○錦衣ハ細セズシテコレヲ路人ニ耀カス○行装ヲ盛

飾スルニ金銀錦繡ヲ以テテ殆天下ノ美觀ヲ為ス○巫ハ金鈴ヲ鳴ラレ

祝ハ畫鼓ヲ撃チ終日舞樂ヲ獻ズ○士女麗服ニ場ヲ設ケテ踏歌

ス○羽翠鬘ヲ蒙リテ佻技ヲ學ブ○麗服靚粧シテ三絃鼓樂ヲ奏ス

○舞躍シテ神輿ノ後殿ト為ル○男女排列シテ鼓吹隊ヲ整フ○長

袖寬帶花顏柳腰○紫衣緋禪靚粧盛飾○袷服靚粧シテ其美ヲ

鬪ハス○家々欄ヲ施シ翠ヲ張り紅ヲ鋪キ錦障銀屏以テ觀客ノ至

ルヲ待ツ○軒ハ皆帷幕ヲ施シ席ハ皆華氈ヲ布ク○戸々金屏ヲ繞

張飲

舞路

雜選

ラシ猩猩氈ヲ連ネ簾ヲ軸シ幕ヲ褰ゲ飲ヲ張り驪ヲ盡クス○圍ムニ泥

金書畫ノ屏風ヲ以テス夕マハスト○闔肆市ヲ廢シ金屏風ヲ設ケ紅

鬘兪ヲ鋪キ宴ヲ排シ客ニ饒ス○賓客蟻會鱗莖ス○酒ハ天ニ溢リ

燭ハ天ヲ焦ガスハゲレキト○竟夜火炬天ヲ燭ラシ歌鼓吹曹々トシテ

鼎沸シ驪笑海湧シ遊フ者且ニ達ル○宜闐紛拏傾都競ヒ觀ルケン

レ袂雲汗雨帝ノミナラス上○袖ヲ連ネテ幕ト為シ汗ヲ揮フテ雨ト

為ス上○汗雨陸續袂ヲ連ネ途ニ填ツ上○香風花雨謁迤麗日夕○

都人ノ賽詣星ヲ起フテ朝ヲ捲ク○賽詣雲集シテ肩摩轂轂手スケイ

ノ人ガコ○熱鬧雜選シテ立錐ノ地ナシ上○足地ヲ躡マズシテ浮行スル

刀俎作人相室

二編 神會 六十六

雜

教説

數十歩上同 ○天ヲ翻シ地ヲ覆ス上同 ○麀至蟻君華 ○都人遊治ノ盛ナ

ル百戲競ヒ集マリ、士女駢闐觀ル者堵ノ如シ ○互ニ華美ヲ爭ヒ、共

ニ新奇ヲ競フヲダス上同 ○爭フテ工夫ヲ出シ、競フテ新奇ヲ抽ク上同 ○囊

ヲ傾ケ豪ヲ賭シ、以テ一壯觀ヲ為ス上同 ○富麗繁華、天下ニ甲タリ上

○畫錦數日ノ榮華ハ、黃梁一枕ノ睡味真ニ夢中ノ事ニ似タリ

○土俗ノ習止幼穉少年ノミナラス、父耶モ亦狂シ婆モ亦顛

○男女女狂顛シテ、共ニ新衣ヲ裁ス ○浮費推シテ知ルベ

シ ○萬掌一拍響山岳ヲ崩ス、多ク人か一時ニ手ヲウツサマ

民瞻仰ノ心ヲ攬ル ○瀆神褻國ノ陋擧

教會烏帽法衣齊整嚴肅 說教ナドラスル ○詞辨明爽 ○倫理ヲ明カニ

シ名教ヲ甄ム ○神祇ヲ崇重ス ○舊制古典ヲ崇奉ス ○及覆丁寧

ニ朝旨ノ腆厚ヲ説ク ○白手上ヲ奉戴シ朝旨ヲ遵守セシム ○人皆誠敬

ノ心ヲ起サル者ナシ ○條理簡明衆心一致 ○輩々ノ民ヲ教諭シ善

ニ進マシム ○其教タルヤ、修善慈心ヲ以テ主トナシ生ヲ殺サス 佛教ナ

○諸法ノ中ニ於テ、最殊勝トナス上同 ○聽ク者罪ヲ懼レ、過ヲ改メ善ニ

遷ル ○滿堂嗚咽シ大ニ懺悔ノ心ヲ表ス ○羣聚禮拜喧鬧熱ヲ蒸シ

滿盈填塞シテ堂殆崩レント欲ス ○白頭節ニ扶ケラル者、紅顏鏡ヲ

照ラス者皆南無ヲ唱ヘ合掌啼泣シテ、心中ニ十惡ヲ去リ、十善ニ就

カン一ヲ折言ヒ唯蓮葉上ニ眠リ、木鏡中ヲ逃レニ一ヲ欲スルノミ ○政ハ

其見分ノ及ブ所ノ者ヲ治メ、教ハ其見分ノ及ハサル所ノ者ヲ治ム ○教

雜

法ハ政教ノ達セザル處ヲ輔ケ、民心ヲ堅固ニスル者ナリ○教法ヲ以テ
 人民ヲ勸誘スルヤ、權威ヲ假リテ脅サズ、詐譎ヲ挾ミテ欺カズ、誠意
 以テ人ニ及ボスナリ○人間思想ノ自由ハ、獨立不羈ノ最大ナル者○
 教法ハ人民ノ歸嚮ニ任カス○教宗ノ流弊ハ、人ノ自由ヲ束縛シ、人ノ
 知識ヲ暗マス○理學ト宗教トハ兩立セズ○人ノ知識ハ日ニ進ミテ止
 マラズ○天地ヲ創生シタル造化ノ神○永劫不死ノ靈魂○靈魂ノ
 安要ヲ悟ル○異端幻術、厭魅呪詛、百物ヲ害傷ス○巫覡ノ徒、妄ニ
 禍福ヲ説ク○幻術ヲ行ヒ、狡謀ヲ以テ人ヲ陷溺ス○妖邪ニレテ衆ヲ
 惑ハス○庶民ノ愚ハ、妖言ヲ仰信ス

例作

遊攝州記 原漢文

伊藤仁齋

庚午四月六日、攝州ニ赴ク、翌午、高津ノ神祠、及ビ四天王寺ニ
 詣ル、其規制ヲ觀ルニ、四天王寺ノ堂宇門廊、最巨麗トナス、龍
 楹、螭、栊、金碧焜耀、天下ノ壯觀ヲ極ム、寺下居民ノ輻湊スルヲ、
 殆千餘家ナリ、而シテ高津ノ神祠ハ、甚隘陋ニレテ、纔ニ四五
 宇而已、蓋仁徳天皇ハ吾國ノ聖主、而シテ、廐戸皇子ハ蘇我馬
 子ノ逆ヲ縱シ、人倫ヲ蔑棄スルノ教ヲ崇ブ、其識スベキ者固
 ニ多シ矣、然レモ高津ノ神祠、其衰フルヲ此ノ如ク、而シテ、四
 天王寺ハ、其盛ナルヲ彼ノ如シ、崇否顛倒シテ、隆替地ヲ易フ、
 孔子曰ク、邦道アルニ、貧ク且賤キハ恥ナリ、邦道ナキニ、富ミ
 且貴キハ恥ナリト、蓋小人ノ榮トスル所ハ、乃君子ノ恥トス

ル所古今轍ヲ同フシ、華夷貫ヲ共ニス、悲矣哉、攝人人ニ誇ル
 ニ、必天王寺ノ壯麗ニシテ、京師ノ諸刹ト雖有ナキヲ以テス、
 故ニ聊此ヲ書シテ以テ其惑ヲ解クト云フ、終篇高津四天王
 寫シ、而ノ意ハ偏ニ重キ高津ニ在
 リ中間三而字ヲ以テ轉折ヲナス

例作

日光山行記 鹿島神祠ヲ記ス
 節略、原漢文

佐藤一齋

念八、晴ル、華表水中ニ屹立ス、岸ニ登ル、半里ニシテ、又華表
 アリ、是ヲ鹿島祠トナス、古朴奥邃、人ヲシテ悚然トシテ敬ヲ
 起サシム、樓門アリ、左右各巨丈夫ノ像ヲ寘ク、兩手ニ推ヲ把
 リ、獐然トシテ人ヲ睨ム、内面ニモ亦二軀アリ、側ニ夜叉ヲ縛
 ス、狀奇古ナリ、更ニ四軀アリ、二ハ華表外ニ在リ、二ハ樓門内

ニ在リ、皆之ニ屋ス、合セテ八軀、土人呼ビテニ王像トナス、其
 實ハ八大龍王ノ像ナリ、南ノカタ阪ヲ下レバ神池アリ、石ヲ
 以テ甃成ス、來リ禱ル者ハ皆此ニ浴ス、内ニ小鱗アリテ游泳
 ス、人ノ手ヲ拍ツヲ聞ケバ、輒喞々然トシテ駢ビ集マリテ餌
 ヲ仰ク、神鴉一雙アリ、蓋雌雄ナリ、餌ヲ空ニ抛テバ、輒喞ヲ以
 テ之ヲ受ク、百ニシテ一ヲ失ハズ、祠林ハ皆老松、髯甲夭矯、間
 雜松ノ叢生スル者ヲ見ル、林間ニハ鹿麋羣ヲ成ス、人ヲ見テ
 驚カズ、又一異石アリ、之ヲ欄ス、呼ビテ要右ト曰フ、形圓ニシ
 テ頂窪ム、高サ一尺、徑リ尺有二寸、土人謂フ、根盤極メテ深シ、
 掘ル、數百尺ニシテ、其底ヲ測ル莫シト、余試ニ之ヲ撫摩ス

ルニ、其質水戸ノ斑石ト同シ、因テ意フ、筑波山頂ノ石モ亦質
此ト類似ス、豈常陸多ク此石ヲ出ス歟祠内ノ景象、一々臚列シテ、敘事細ニ入ル、而
シテ毎事必ズ先テ提シテ
後ニ敘ス、一筆苟モセズ、

例作

游館山寺記 原漢文

林 鶴梁

今切江ノ勝ハ、館山寺ヲ以テ第一トナス、甲寅晩秋、余田ヲ和
地村ニ檢シ、宿スル一夕、村ノ寺ヲ距ル一遠カラザルヲ聞
キ、翌晨、西ニ邁ク、里餘ニシテ、寺ニ入ル、寺ハ山巒ニ依リテ構
ス、筠篁蒙密、寺後ハ石壁峭立セリ、壁盡キハ即江ナリ、周回數
十里、水光滉漾、天ト一碧、時ニ秋深クシテ、烟澄ミ、天清クシテ、
氣爽カニ、日光ハ波光ト相射リ、璀璨トシテ、目ヲ奪フ、利木瓶

割ノ諸山ハ、蜿蜒起伏シテ、掌上ニ在ルガ如ク、嵐光滴々、山影
倒ニ浸シ、天然ノ圖畫、董巨ノ妙筆ト雖得テ、彷彿スル所ニ非
ザルナリ、而シテ江北最秀ヅル者ヲ、奥山トナス、山ニ一古刹
アリ、方廣寺ト曰フ、寺舊宗良親王ノ行殿ノ在ル所、雅潔留題
江山ヲシテ、永ク光輝ヲ増サレム、因テ憶フ、南北騷擾ハ際親
王兵間ニ崎嶇シ、茲ニ潛居シテ、義勇ヲ結集シ、以テ恢復ヲ圖
ル、今星霜殆六百年、遺愛ノ舊蹟、蕩然之ヲ、寒烟渺茫ニ附ス、然
リ而シテ、漁人樵夫、尚能日夕謳歌ス、況ンヤ書ヲ讀ミ、古ヲ慕
ヒ、大義ヲ聞知スル者ニ於テ、ヲヤ安ゾ、慨然タラザルヲ得ン
ヤ、游畢リテ、寺ヲ出ツ、余斯州ニ令トシ、江山ノ諸勝、面背縱觀

スレ氏未絶勝ト稱スルニ足ラス此寺ニ至ルニ及ビテ則一
 望レテ奇ニ驚ク諸ヲ前ノ觀ル所ニ較スルニ奚ソ徒天壤ノ
 ミナラン哉加之懷古ノ感ヲ以テス而ルニ官事懷ニ纏ヒ當
 時記スルニ及ハズ今追テ之ヲ記シ以テ後ノ游ブ者ニ告ク
 丁巳二月二十一日也

公園

園池ヲ見合スベシ又花木ナドノ事ニ屬スル語ハ一編ニ
 觀花觀蓮觀菊觀紅葉等ノ題アリ見合スベシ

府下第一ノ景勝○太園ヲ熱鬧ノ間ニ開ク○深樹ヲ伐リ高塙ヲ
 崩シ以テ一ノ勝地ヲ開ク○豁然トシテ一寬地ヲ開ク○庶民ノ縱遊
 ヲ許ス○幅員若干歩以テ遊歩ノ地ニ供ス○闊サ方若干町○廣闊
 ノ平地○數千ノ遊人雲集スト雖更ニ雜遝スルニ至ラズ
 廣内ノ○青木

木草

ハ歳ニ繁ク客鳥ハ日ニ昌ナリ○城中熱鬧ノ區ト相距ツルト僅ニ一牛
 鳴ノ地而シテ車馬ノ聲聞エズ○紅裾ノ酒文字ノ飲時トシテ宜シカ
 ラブルトナシ○丁年四時花ノ開カザルハ莫シ○絳桃ハ霞ヲ裁シテハ仙
 境ニ客ヲ引キ碧李ハ雪ヲ綴リテ幽蹊ニ人ヲ留ム○白梅ハ紅櫻ト與
 ニ嬋妍ヲ競ヒ青柳ハ丹楓ニ鄰シテ婀娜ヲ鬪ハス○香雪ハ紛々ト袂
 ヲ撲チテ飛ビ艶雲ハ長々ト顔ヲ照ラシテ浮ブ○梅杏桃李海棠
 牡丹單瓣重瓣ノ櫻百草ノ花雜殖ス○綠樹紅花輝映粧點シテ以
 テ自然ノ趣ヲ成ス○疎柳綠草點綴スルニ花卉ヲ以テス○氷心ハ蓮ヲ
 種工水涯ハ花菖蒲ヲ栽ウ○水ノ遠近ニ草花ヲ蒔ウ○石間ニ花卉
 ヲ羅植ス○林下一面野花點綴ス○紅碧錦綺ノ叢○千花萬草奇

ヲ闘ハシ異ヲ競フ○千葉單瓣紅白碧紫濃淡純駁百變千異ノ花

務メテ新奇ヲ競フ○春日ハ櫻花雲ヲ蒸シ秋日ハ楓葉錦ヲ織ル○

牡丹ノ富貴菊花ノ隱逸錦繡雨ニ織リ綾羅風ニ飄ル牡丹菊花ノ

綺艶爛燦ノ花四時ニ乏シカラズ○羣芳雜植シ素葩黃英四時絶エ

ズ○中外ノ花木姹紫嫣紅規模略具ハル○佳木芳

草ヲ繁植ス○茂林修竹アリ○茂樹蔭蔚トシテ芳草堤ニ被ル○

草木繁茂シ花實榮ヲ競フ○雜木駢植シ蕭木林トシテ林ヲ成ス○

茂樹惡木嘉葩嘉卉亂雜シテ争ヒ植ウ○新霜既ニ降り樹々皆醉

フ遊客賞伴肩ヲ比シ踵ヲ接シ杯ヲ舉グル者皆楓葉ト其面ヲ同フス

○老杉鬱茂シテ密條織ルガ如シ○松樅葱鬱猜心目ヲ怡悦ス○

冷抱ノ樹參差天ヲ蓋ヒ窈冥トシテ晝晦シ○古木千章岑鬱トシテ

山ノ如シ○直幹空ヲ凌ギ斂々扶々○正晝モ日穿漏セズ夏五

六月モ暑氣至ラズ凜乎トシテ九秋ノ如シ○老松アリ石砢

百尺ニシテ盤根起伏シ繁葉ノ蔭敷車ヲ蓋フミ殆千年外ノ物ナリ

○小丘突起シ磴ヲ設ケテ上下ス頂纒ニト數人ヲ容ルベシ○石磴

盤紆級ヲ拾リテ上ル○磴徑屈曲○奇石磊砢○石砢々墜チント欲シ

テ累卵ノ狀ヲ為ス石○大石林立シ渙ルル奔雲ノ如ク錯ルル置其石ノ

如ク怒ル者ハ虎鬪シ企ツ者ハ鳥厲ス○積石重疊シテ深谷ニ入ルガ

如シ○山ヲ築キ流ヲ引ク自然ノ如キアリ○洶々トシテ湧キ滾々ト

シテ流ル○石堰ヨリ水ヲ洩ラス凜然トシテ風雨ノ如シ○瀑樹間

刀是作入首

ヨリ瀉ギ下ル○壁頂ヨリ瀉下スル一匹練ノ舞曳スルガ如シツルサマ○

飛瀑數十丈許崖竅ノ中ニ怒撃ス○其下ニ泉アリ、清瑩寒澈ニシテ、

人ノ心脾ニ沁ス○清響冷々トシテ、自ラ絲竹ヲ成スルオト○深潭滄

涵、濯々トシテ鑑スベク、浮藻亂行ハ、魚蝦叢中ニ點綴ス○波光澹

灩、鬚眉鑑スベシ○微風波ヲ鼓スノタツミ○碧瀾寸々皆秋色○遠山

黛ヲ浮ベ鏡光ノ中ニ落ツ山ガ水ニ○潭光水色ハ山邱竹樹ト相輝映ス

○山水相射ル○山ノ嬋妍水ノ竒麗○山ニハ櫻樹多ク、水ニハ芙蓉ヲ

出ス○山ハ高カラズト雖水ニ菴ミ水ハ深カラズト雖山ヲ孕ム、其菴ム者ハ

紫ニシテ孕ム者ハ明カナリ○山水ノ美ト烟霞ノ妙トヲ兼又ヨキ一○

泉冽ニシテ猛ナリ、因テ筒ヲ接シテコレヲ引ク、又假山ノ前十歩ノ間ニ

於テ、小方池ヲ壁冠シ、植ルニ芙蓉葉ヲ以テシ、雜フルニ荇藻ヲ以テス、毎ニ泉ヲ

疏シテ筒ヨリ地中ニ入レ、コレヲ假山ノ趾ニ伏セ、仰ガセテ石一罅ヨリ出ダシ、

閉ヂテコレヲ激セバ則機泉トナル、噴珠躍玉、空ニ飛ビテ上ル、白金繩ノ如

シ假山ト相高ブル、開キテコレヲ達セバ流水トナル、其將ニ至ラントスルヤ、哽

ブガ如ク咽ブガ如ク、噴ルガ如ク叱スルガ如ク、然シテ後ニ滃然トシテ上リ、

決然トシテ流ル、流レテ池ニ入ル、其流ル、ニ文アリ、其入ルニ聲アリ○鵝

循フテ南スル一數十武ニシテ、地漸坡坳トシ、ニ伏水アリ、猝ニ湧ク、左右

ニ鵝ヲ夾ミテ以テ流ル、一歩一曲往クガ如ク復ルガ如シ、兩岸ハ櫻ト揚

柳トフ、參植ス、鵝窮リテ池出ヅ、ニ流ヲ受ケテ以テ涵ス○鳥ハ綿蠻ト

花ニ戯レテ、自然ノ音樂ヲ奏シ、鷗ハ浮沈シ波ヲ蹴テ、天造ノ活畫ヲ

魚會

刀皇作之目録

二扁 公園

七十三

出ダス○輕條ハ水ヲ出デ、白鷗ハ翼ヲ矯グ○蟬鳴キ鳥呼ビテ、山谷

ノ氣象アリ○山ヲ遠リテ溪アリ、清深ニシテ魚多シ○夕日頽レント

欲シテ、沈鱗競ヒ躍ル○池沼ヲ穿チ魚鳥ヲ飼フ○數百ノ魚ヲ深池

ノ中ニ畜フ○俯シテコレヲ觀レバ、水中ニ朱魚錦鱗浮沈潛躍ス○無

數ノ金鱗游泳セリ○試ニ菓糕ヲ投スレバ、水中ノ鱗介爭ヒ出デ、コレヲ

銜ム○池中ノ龜無數、人聲ヲ聞ケバ皆集マリ、首ヲ駢ベテ仰ギ視ル○

甲ヲ石上ニ曬ス○尾ヲ泥中ニ曳ク○都人ノ來リ遊グ者、春秋

最盛ナリ○花時ニ迨ブ毎ニ、都ヲ傾ケテ出遊ス、士女絡繹シ、鞭影衣

香所在ニ羣ヲ成ス○貴トナク賤トナク競フテ來遊ス○遊人絡繹○

遊客織ルガ如シ、人ノ如ク、醉歌雜選ス○遊人雲ノ如ク、醉歌雜選ス

茶店

ノ笑語湧クガ如シ、同○松韻ハ絲聲ニ和シ、空翠ハ紅衣ニ滴タル○馬ヲ

花樹ニ繫ギテ對酌ス○三伴五伍、榻ヲ假リテ憩ヒ、一榻ハ茶ヲ喫ミ、一

榻ハ酒ヲ呼ブ○池ニ臨ミ胡牀ヲ置キテコレニ踞ス○眺望シテ茶ヲ啜ル

○宣ヲ避ケ間ニ就キ、風ニ臨ミテ茶ヲ喫ス○筆ヲ舐リ思ヲ運ラシテ句

ヲ尋ヌ詩歌ヲツクル○幾仙境ニ遊ブガ如シ○徘徊顧望シ、久シテ去ル能ハス

○酒ヲ沽ヒ豪吟大酌シ、頽然醉ヲ盡クシテ去ル○人迹稍罕ナリ○

徧地ニ花ヲ栽エテ、隨處ニ座ヲ設ク○筵ヲ布キ席ヲ設ケ酒肆ヲ構ヘ

食舖ヲ作ル○山ニ縁リテ亭ヲ構フ○園中ニ樓ヲ起シ、亭ヲ翫シ、樹ヲ

建テ、瀟洒ニシテ以テ遊客ヲ待ツ○花ヲ圍ミテ茶ヲ賣リ、花ヲ繞リテ

酒ヲ銜ル○酒壚茶竈、犬牙相接ス○池館清麗ニシテ、肅水ノ樂ニ供

刀是作人良

二編 公園

七十四

人遊

スルニ足レリ ○翠閣紅樓水涯ニ連ナル ○涼棚茶店鱗次櫛比ス ○

彩旗風ニ飄ヘリ、湘簾水ニ映ズ ○波光簾ニ映ジ、嵐翠衣ニ滴ル ○暖

簾影ヲ翻シ、珠燈夕ニ耀ク ○風欄露簾涼ヲ納ル、ニ宜ク、月ヲ賞スル

ニ宜シ ○長袖ハ招クガ如ク、垂帶ハ呼ブガ如シ、茶ミセ女 ○桃花ノ面ハ、春

ニ先ダチテ早ク笑ヒ、楊柳ノ腰ハ風ナクシテ自ラ靡ク上 ○山上、節舎翼

然、四ニ障壁ナク、尤遠眺ニ於テ宜シトス ○宇高ク軒闊ク、最眺矚ニ適

ス ○景ヲ玩ビ、欄ニ倚ル ○頭ヲ並ベ手ヲ累ネ、遠鏡ヲ窺フ ○都下ノ衆

景皆一瞬ニ具ハル ○城郭市井、蟻族蜂屯シテ、攢烟斷雨段ノ外ニ隱見

起滅スル者、悉寸眸ニ中ニ聚マル ○官署ノ布置、肆麀ノ交錯、繁トシテ

眉睫ニ列ナル ○寺院學校巨室相望シ、其間古木森然トシテ、風景畫

クガ如シ ○萬街雲連ナリ、炊烟摇曳シ、皇城ノ林樾鬱々トシテ、翠閣

ノ如シ ○朱門白壁、碁峙相連ナリ、高樓臺榭、稻穗争ヒ秀ヅ ○邸

舍ノ逸離、坊巷ノ條達、巷ノ碁局、邸舍ノ犬牙、盡目下ニ萃マル ○人影ハ蟻ノ如ク、馬影ハ豆ノ

如シ ○烟雲竹樹、隱見千態、席ヲ下ラズレテ盡コレヲ取ル ○人烟ノ杳

靄、山嵐ノ層疊、一覽シテ盡クスベシ ○彌望萬頃、極自際ナシ、而シテ菜

花ハ方ニ盛ニ開キ、麥莖ハ稍長ス、花黄莖翠、區畫井分シ、梨然トシテ

絲氈ヲ鋪クガ如シ ○堤外數里ノ郊坰、盡金甍ヲ鋪ケリ、驚キテ諦視

スレバ皆黄菜花ナリ ○緑樹平林、烟水渺然、芙蓉渠ノ的歷タル、鳥鴈

翔遊スル、間見錯陳ス、林ノ間カラ池ナド、景色ガミユル ○水天一碧、波光林梢ヲ照ラス、

布帆出沒シテ、鳧ノ如ク路、路ノ如シ、林ノウカラ、遠ク海ヲ、風帆欄ニ上リ眺

望甚佳ナリガレキノウヘカエ、遠クノ○一碧天ト混ミ將ニ際ナカラントス海ナドノ○

島嶼シマノ簇立シ、歷々レキレキ數フベシ上○風帆沙鳥ハ烟波ノ間ニ出波シ、人ヲシテ

飄然羽化セント欲セシム上○長流天ニ接シ、芙蓉空ニ插ム川ヤ山ノ見ユ

○萬古ノ秀色玲瓏トシテ天ヲ摩スフジ山ニ雪ノ○天極メテ晴レ、衆峯

歷々目ニ在リ○尖碧駢列シテ、半ハ斷エ半ハ連ナル○眸ヲ放テハ

則羣巒四圍ニ倚伏綿互皆烟霭ノ中ニ在リ○遠近ノ諸勝、其

置繡錯レ争フテ奇ヲ呈ス○眺矚ノ敞闊ハ以テ能愁眉ヲ暢ブベク、

烟波ノ瀟洒ハ以テ能塵胸ヲ濯フベシ○眺望豁然人ヲシテ魂飛バシム

○遠望豁達人ヲシテ超然トシテ神遊カシム○園ノ百物、一トシテ人意ニ

可ナラザル者ナシ○蕭然トシテ林野ノ趣アリ○園庭ニ菓藥ヲ羅

雜

繡ス○苑ハ較廣大ニシテ、長ヲ斷キ短ヲ補ハシ、方若干歩ヲ得ベシ、而シテ

沼ハ其八九分ニ居ル、屈曲萦迴、水淺クレテ波皺シ、奇石怪岩、其間ニ

磅礴シ松翠楓紅、其上ニ靚粧ス○地ハ廣カラズト雖、一邱一壑、頗近

心ヲ具フ、凡中外ノ奇花異卉ハ、栽植シテ遺スナシ、真ニ塵俗中別

ニ生面ヲ開ケリ○園圃池沼、清雅幽邃ニシテ、泉ハ涓々ト流ヒ、木ハ欣

欣ト榮エ、禽鳥和鳴シ、百花争ヒ發シ、人ヲシテ仙境ニ入り、貝闕ニ遊

フノ想アラシム

例作

遊東叡山記 原漢文

青山拙齋

都下ノ地、花ヲ以テ著ル、者四アリ、東ニ墨池河アリ、南ニ御
殿山アリ、北ニ飛鳥山アリ、而シテ其最近クシテ最盛ナル者

遊東叡山記

二編

公園 遊東叡山記

七十六

ヲ東叡山トナス、其地ハ關闈ノ中ニ在テ、隆然トシテ突起シ、
 花木幽邃、石古ク山深シ、都下遊賞ノ地、蓋此ヲ以テ第一ト為
 スト云フ、余ガ東武ニ來ルヨリ、佳辰美景ゴトニ、常ニ來リテ
 遊賞セザル莫シ、此、三句、知ラザル者ハ、或ハ以テコレヲ削ル
 然ラズ、若シ此、句ナキハ、結末限ナキ感慨
 然ラズ、若シ此、句ナキハ、結末限ナキ感慨、今茲乙丑ノ春三
 幾句、何ニ由リテ收メ得ニ、是、文家伏筆法
 月、次子延昌ヲ攜ヘ來リテ此ニ遊フ、湯島ヨリ忍池ヲ過キ、木
 達ニ至リ、黒門ヨリ入り石磴ニ登ル、數十級ニシテ、山王社
 二至リ樹下ニ憩フ、以頃ニシテ清水閣ニ至ル、時ニ前後櫻樹
 數百株、一時亂發シ、山ヲ埋メ谷ヲ繞リ、錦疊ミ繡錯リ、欄ニ凭
 リテ廻顧セバ、則池水鏡潔、花光相映シ、祭トシテ錦ヲ濯フガ

如シ、是、日ヤ天暖ニ風和シ、都人士女、遊フ者雲ノ如ク、羅綺粉
 黛羣ニ隨ヒ隊ヲ逐ヒ、往來繽紛タリ、草ヲ藉キテ坐スル者ア
 リ、石ニ踞シテ吟ズル者アリ、歌フ者アリ、舞フ者アリ、笑フ者
 アリ、語ル者、行ク者、憩フ者、酒ヲ被リテ槃散スル者、衣ヲ解キ
 テ盤礴スル者、皆欣々トシテ自得セザルナシ、都下觀遊ノ盛
 ナル、是ニ於テ知ルベキナリ、階ヲ降りテ西シ、櫻樹中ヲ行ク
 一數十步、逶迤トシテ下リ、文珠樓前ニ至レバ、層薨宇ニ及ビ、
 飛檐空ヲ凌ギ、金碧照耀シテ、五彩目ヲ奪フ、遠ヨリシテ之ヲ
 望メバ、蔚トシテ霞ノ起ルガ如シ、又行ク、數十步ニシテ、廊
 門前ニ至レバ、左ニ石塔數級アリ、是ヲ神祖ノ廟トナス、余肅

遊東叡山記 二編 七七

然トシテ容ヲ斂メ、佻儻シテ過ギ、顧テ延昌ニ謂テ曰ク、慶元
 已降、海内昌平ナル、茲ニ二百餘載、擊壤鼓腹、人兵ヲ知ラズ、
 今吾ト汝ト幸ニシテ太平ノ時ニ生レ、觀遊ノ樂ヲ肆ニスル
 ヲ得此皆神祖ノ賜ニ非ズ哉、然ト雖一治一亂ハ循環シテ端
 ナシ、異日如シ不幸ニシテ、風塵ノ警アラハ、安ゾ今日ノ樂ヲ
 享ルヲ得ンヤ、然ラバ則遊觀モ亦常ニスベカラズ、記セザル
 ベケン乎、延昌曰ク、唯々、遂ニ之ガ記ヲ作ル、

狹斜

遊女町ノ一編、春夜
 及ビ其附録ヲ見合スベシ

樓青

青樓街ヲ夾ミテ相對ス ○酒樓妓院、鱗次櫛比 ○妓館稠密、岸ヲ奪フ
 テ樓ヲ起ス ○紅樓翠閣、櫛比音ノミナラズ ○豪華
 遊女町トテ、遊女町トテ

妓媚

花時ニ競ヒ、奢ヲ燈節ニ極ム ○明星ノ炯々タルハ、粧鏡ヲ開ケルナリ、緑雲
 ノ擾々タルハ、曉髮ヲ梳ルナリ 娼妓トドガ、多人數ニ ○黒トシテ鬢雲、髻霞ナラザル
 ハナク、赤トシテ緋禪、紅襦ナラザルハナシ 娼妓トドノ多 ○絲竹ノ聲、家トシテコレ
 無キハ莫シ ○笙歌ノ海、酒肉ノ山、熱鬧ニシテ雜遝ス ○歌吹ノ海、脂粉
 ノ郷ノ一 ○飛魂銷肉ノ愉快國上 ○溫柔花柳ノ郷上 ○娼妓ヲ蓄ヘ、
 情ヲ鬻グヲ以テ業ト為ス ○佳麗三千ノ娼妓、各嬋妍ヲ鬪ハス ○
 絶代ノ名娃 ○姿色絶美 ○華顔玉貌 ○綽態柔情 ○殊色織妍 風
 度超羣 ○舉止幼窈笑媚婀娜 ○蘭身蕙才風流自ラ命ズ ○風態
 浮薄動止灑落 ○風情水性ノ閨黛釵裙 ○錦心繡腸 詩歌ナド ○容
 顔ハ極メテ秀艶、歌曲ハ極メテ絶伎 ○麗質妙音色藝冠絶 ○色藝雙
 刀學作人日堂

遊東叡山記

狹斜

絶ニシテ名一時傾動ス○粉面皓齒、粧絶艶○紅粉既ニ施シテ、
 靚粧始メテ新ナリ○雲鬟香濃ニシテ、花顏粧淡シ○紅脂霞ヲ染メ、白
 粉雪ヲ薫ス○面ヲ塗り、釵ヲ戴キ、妖冶態ヲ成ス○粉面ニシテ、湮齒○
 額ニ横タル、瑤瑁ハ透明滴ルガ如ク、髻ニ挿ム珊瑚ハ、淡紅流レント欲ス○
 繡衣錦帶○凝脂ノ肌膚、羅綾ヲ穿テ、錦繡ヲ纏フ○緋紅ノ襖衣、
 織金ノ襟領○綾羅ノ衣裳、鳳舞ヒ龍躍ルウチ、サマ○冶態ハ世ヲ惑ハ
 シ、錦衣ハ愚ヲ駭カス○大袖ヲ翳シ、長裾ヲ曳キ、珊瑚ノ飾、瑤瑁ノ簪○
 紅袖羞ヲ包ミテ、粉黛媚ヲ衒ル○妖粧盛飾、狐媚ヲ賣ル○千艶萬
 嬌、伴ヲ結ビテ行ク、媚妓ヲガホ○歩々香ヲ生シ、隊々彩ヲ吐ク同○金蓮
 地ニ生シ、羅襪波ヲ凌グ○展音鏘々トシテ、金振ヒ玉碎ク○媚香座

遊宴

ニ薫シ、紅裙席ヲ拂フ、媚妓ナドノ○曲眉豐頰、清聲ニシテ、便體○眉端ニ
 ハ晴山ノ明媚ヲ鍾ム、眼邊ニハ秋波ノ潑艶ヲ呈ス○眼波秋ヲ流シテ、
 嬌次人ヲ動カス○酒ニ陪シ、情ヲ奉ズ○搦彈酒ヲ侑ム○遊客羣集
 シ、奢ヲ争ヒ、豪ヲ競フ○千金咲ヲ買フ○金ヲ擲ツ、瓦ノ如シ○粉頭
 圍繞シ、翳間笑調ス○燈光煥燦トシテ、金釵掩映ス○絲竹沸騰シ、肉
 屏圍繞ス○絃歌大ニ湧キ、豪興飛揚ス○絲竹齊ク起リ、敲金戛玉、
 錚々琅々トシテ、嬌喉音ヲ同フ、以テ新譜ヲ奏ス○高調ハ正ニ行
 雲ヲ過メ、低韻ハ全ク流水ヲ欺ク、シヤウマナル○織歌凝リテ、白雲過
 マル上○舞容宛轉トシテ、釵光黛色、百枝ノ銀燭ニ照映ス○西施花ニ
 戲レ、揚妃月ニ歩ス、シヤウズニマヒ○情濃カニシテ、更闌ナリ○酒漸甘ニシテ

更將ニ闌ナラントス ○爐酬交錯シ、搦戰方ニ盛ナリ ○緑酒青樽肥

鮮ヲ撃ナテ、紛羅シ、輕單深鏡花月ヲ邀ヘテ 酒嬉マ夜遊ラレテ ○青樽

緑酒春ヲ酔郷ニ尋ネ、銀燭畫屏、身ハ不夜城ニ據ル上 ○人ヲレテ神

融シ氣暢ビ、以テ襟懷萬縷ノ愁ヲ一洗セシム ○魂飛ビ肉消シ、真ニ人

間世界ノ一仙境ナリ、心ガウカレテオモ ○跡ヲ風月ニ寄セ、心ヲ烟花ニ娛マシム

娼妓カヒマ ○花ニ酔ヒ柳ニ眠ル同 ○紅ヲ寵シ翠翠ヲ嬖ス上 ○花柳ニ迷

ヒ、風月ニ戲レ、遊蕩シテ日ヲ送ル上 ○聲色ニ貪戀シ、烟花ニ流連ス

○沈酒耽溺、酒ニマケル ○風月ノ妙味ハ、真ニ是レ人間ノ極樂 ○蘭房晝

静ニシテ、蕙帳春暖ナリ、娼妓ノハマ ○物ハ皆美麗ヲ飾リ、室ハ必清潔ヲ極

ム上 ○繡幕深ク垂レ、錦褥疊ミテ堆シ上 ○錦屏深ク掩ヒ、繡茵陳設

シ、孤燈焰ヲ吐キ、爐香馥郁タリ上 ○蘭房香氣芬馥、燈影暗黯上 ○

殘樽已ニ涸レテ、蘭燈正ニ暗シ ○織手ニ朱漆ノ烟管ヲ拈リ、烟ヲ吹ク

○烟ヲ吹キ了リ、燼ヲ唾壺ニ撲ツ ○花ハ春ヨリモ暖カニ、春ハ海ヨリモ深シ

○人ヲレテ神移リ心蕩セシム ○氣奪ハレ魂飛ブ ○蝶夢一タビ誤リ、飛

花遊絮ヲ逐フヲスル上 ○恍惚ノ雲ハ眼ニ遮リ、眷戀ノ雨務ハ心ニ鎖ス上

思フテワ ○雲ニハ衣カト想ヒ、花ニハ容カト想フ上 ○昏夢未醒メズ ○明

月ハ圓ナリ難ク、彩雲ハ散ジ易シ ○秋風吹キテ赤繩ヲ破リ、雨露路早ク

霜ト為ル、赤繩ハ韋固ノ故事 ○朝雲暮雨ノ信ズベカラザル上、鬼蛇モ啓言フルニ

足ラズ、娼妓ナドハク ○心裏頻ニ春光ノ暖カナルヲ覺エテ、囊中、忽秋意ノ寒

キヲ知ル ○花柳ノ夢變ジテ凍餒ノ困トナル、財ヲ擲チテ瓦礫

戒省

室房

刀學作人七指掌

二編

狹斜

八十

雜

ト為シ終ニ其身ヲ亡ボス ○産ヲ傾ケ家ヲ覆スニ至ル者亦多カラズトセズ

○千古ノ金言ニシテ游蕩家ノ戒箴ナリ ○迷雲全ク霽ル ○象牙ノ撥 ○毒瑁ノ櫛 ○花ハ老ヒ易ク寵ハ衰ヘ易シ ○黃鸝籠ヲ出デハ自主ノ花ニ轉ジ翠鸞網ヲ脱シテ自由ノ枝ニ宿ス 媚妓ノ解放 ○粉白黛緑媚ヲ獻ジ色ヲ售ル水調一曲人ヲシテ魂飛ビ神迷ハシム ○香圍色陣

ノトリカコ ○絃歌清亮媚笑嫣然 ○艶絲稠雜諧笑謹ヲナス

家屋 附 家具 簾障子床席ノ類ヨリ總テ室内カサリツケノ道具ニ屬シタル語ヲ擧グ

門庭氣象極メテ閑壯 ○宅ヲ治ム諸第二甲ナリ ○邸宅壯麗ハ今侯ト等シ ○門ニ行馬ヲ施ス ○其家壯大堂宇山巍々トシテ一郭ヲ成ス

○周廻遶ラスニ郭壁ヲ以テス ○石門鐵牆 ○竹垣内ヲ屏ニ柴門斜

門墻

洋築

ニ開ク ○柴門深ク鎖シ板墻高ク掩フ ○圍ムニ短垣ヲ以テス ○樓臺華潔ニ洋制衣ニ模倣ス ○煉化石屋ノ結構空ニ聳エテ高大ナリ

○建築巍峩傑然トシテ空ニ聳エテ天ヲ刺ス ○石樓雲ヲ凌ギ玻璃日ニ映ズ ○石ヲ鏤シテ柱ト為シ石ヲ磨シテ壁ト為シ精巧美麗ナル一木石ヲ彫シテ以テ層樓ヲ為ルニ異ナラス ○天然ツ石ヲ積ミテ巧ニコレヲ築キ敢テ彫刻ヲ施サズ ○大理石ヲ以テ製造シ甚精巧ナリ ○白蠟石ヲ以テ精巧ニ彫刻ス ○石壁ハ板壁ヨリモ垣カニ鐵柱ハ木柱ヨリモ滑カナリ ○其建築巍峩トシテ全體皆鐵柱鐵梁ヲ以テ結構ス ○瓦石其壁ヲ築キ五彩其欄ヲ抹ス ○飾ルニ白堊ヲ以テ粧フニ金碧ヲ以テス ○金銀寶石ヲ以テ鏤飾ス ○窓戶皆玻璃

刀學作大七百卷 二編 狹斜 家屋 八十一

殿宮

瓊ヲ掩ヒ、水光滴瀝 ○コレヲ望ムニ宛然水晶ヲ以テ造ルガ如シツクリク
 ル家 ○樓亭洋築ニ擬シテ、柱壁ニ油脂ヲ塗ル ○築造ノ規製實ニ宏
 壯美麗ニシテ、人工ノ精微ヲ盡クス ○巨宏壯麗ヲ極ム ○建築ノ美
 人皆目ヲ眩ス ○結構壯麗ニシテ、觀ヲ驚カス足レリ ○桂殿蘭宮ルミヤ
 ミタテ、 ○廣廈闊屋 ○華棟廣廈 ○高堂巨榭 ○峻宇高堂 ○金
 碧輝光、凌雲ノ勢ヲ為ス、ヤネナド ○飛甍曲檻、丹碧縹緲、宮中ヲ遠ク
 四面高爽偉麗、丹雘目ヲ奪フ ○殿堂 瓦壁、黝壁丹漆、舉グルニ故法
 ヲ以テス ○土木ノ功、赫壁ノ色、遺巧ナレ ○殿舍宏大ニシテ、廊廡修直 ○
 周圍皆新築、巨屋連繞、其壯宏ヲ極ハム ○周ラスニ回廊ノ壯ヲ以テ
 ス ○殿閣宏壯、麗ニシテ、靡ナラス ○經營ノ壯、閑、建築ノ美麗、得テ言フ

閣樓

ベカラズ ○土木ノ壯麗、古今ニ冠絶ス ○懸棟飛閣 ○層樓翹峩 ○
 傑閣三層、樓宇軒敞 ○岩堯軒敞ニシテ、八面玲瓏、高キ樓 ○粉壁玲
 龍トシテ、高ク雲ヲ衝ク上 ○飛閣雲ヲ干シ、浮階虛ニ乗ズ上 ○一層
 毎ニ彫欄ヲ架シ、彩華映射ス ○一層ハ一層ヨリモ高ク、一楹ハ一楹ヨ
 リモ聳ユ、閣ヤ樓ヤ、高クナル ○螺旋階アリテ、頂上ニ登ルヲ得ヘシ ○上ニ大旗
 一杆ヲ插シ、威風極マレリ ○前閣後榭、層累重疊シテ、回環往復ス
 ○兩層ノ樓閣、亞字ノ欄干、近ク綠樹ヲ帯ビ、俯シテ、碧波ニ瞰ム ○樓
 滄海ニ俯シ、雲濤萬里、居然登瀛ノ想アリ、樓シケレキ ○風帆烟鳥、几席
 ノ間ニ往來ス上 ○一樓ヲ水滋ニ構フ、簾ヲ鈎シテ、四望スレバ、舟中ニ坐
 スルガ如クニシテ、青嶂白波、左右ニ相映ズ、樓上ノ ○春ノ明媚、秋ノ慘澹、歸

刀是正人言
 家屋
 八十二

堂

雲抹アハ露アハ早アハ晚アハノ變アハ領アハ略アハセザルナシ同○山ニ對イスルニ宜ク、水ニ臨イムニ宜ク、
 月ヲ待イツニ宜ク、霞ヲ觀イルニ宜ク、夕陽ニ宜ク、雪月ニ宜同シ○南窗イハ月
 ニ宜ク、北牖イハ風ニ宜シ○春冬ハコレヲ閑イヂテ以テ風雨ヲ避イク夏秋ハ
 開イキテ以テ涼爽イヲ通ズベシ北○公餘遊眺イノ所ト為ス○堂ノ廣サ
 數楹イ、高サ數丈○堂ノ字ハ其用廣クシテ、家屋ノ大ナル者モ堂ト云ヒ、又小ナル者モ堂ト云フ、今其大ニ屬スル語ハ宮殿ノ処ニ舉ゲ、小ニ屬スル語ヲコニ舉グ、○厥土
 ハ燥剛イニシテ、厥位ハ陽ニ面シ、厥材ハ孔良○堂宇ヲ葺治ス、舊ニ比ス
 レハ嚴潔イヲ加フ○屋宇寬宏華潔○棟椽欄楹極メテ華潔○低
 檐イ疎櫺イ○室屋堅樸イニシテ、粉漆ノ飾ナシ○極メテ虚敞、夏ニ便ナリ
 葦然イタル斗室イ、延袤十笏イニ盈イタズ○僅ニ數客ヲ容ルベシ○
 先イヲ祭リ客ヲ饗イスル、皆コニ於テス○暇アレバ則客ト其中ニ
 吟イ嘯イス

亭

○其堂ニ遊イブ者、蕭然イトシテ山林高僧逸人ノ居ニ入ルガ如シ堂ノ静カ
 ○苔痕イハ階イニ上リテ緑ニ、草色ハ簾イニ入りテ青シ○山光水色、霏々
 洋々イ來リテ欄イ塔イノ下ヲ照ラス○屋後ニ於テ小園ヲ構ヘ、亭ヲ其中
 ニ作ル○官舎ヲ治メ、亭ヲ堂ノ北ニ為ル○少憩イ諷イ咏イノ所ト為ス○
 茅イヲ編イミテ屋ト為シ、石ヲ疊イミテ塔ト為ス○棕片ヲ以テコレヲ覆フ
 自イ前イハカヤ○四柱ハ山中ノ皮ヲ帶ビタル老棕四條ヲ得テコレヲ為ル、惟淳
 朴イノミナラス、雅觀イニシテ且久キニ耐イハタリ○其位置築造華麗ニシテ風
 致イアリ○茅ヲ結ビテ澗ニ臨ム○水面ニ突出イシ、更ニ美景ヲ極ム○
 異然イトシテ泉上ニ臨ム同○亭アリ水ニ架ス、水雲映帶イシ、于雪イ于花イ于
 月イ雨イ晨イ晴イ夕イ、宜シカラザルハ莫イシ○亭ノナガシ○雲ハ棟イヨリ生シ、水ハ階イト平カ
 夕イ雨イ晨イ晴イ夕イ、宜シカラザルハ莫イシ○亭ノナガシ○雲ハ棟イヨリ生シ、水ハ階イト平カ

夕雨晨晴夕宜シカラザルハ莫シ

二編

家屋

八十三

ナリ、坐シテコロヲ翫モテウクブ者ハ足キクヲ床下ニ濯アラフベク、卧シテコロニ狎ネル者ハ釣ツリヲ枕ク

上ニ垂ツルルベシ○亭アリ堵トニ盈ミタズ、而シテ嶽ガク蓮レン萬丈戸ヲ排ハキシテ入ル富ト七ノ

見ミ○窗アリ軒ケン開クワン以テ田野ヲ眺アム躡シヨクスベシ○亭外ハ田疇チウ棋布キシ、四山シ

環抱ワクス、烟霞エン林泉リン時ニ隨レフテ其色相ヲ殊コトニシ、霏ヒ々然チ來リテ媚コヒヲ牖ウ

中ニ呈テイス○藹アイ然ストシテ春蒼然サウトシテ夏縹ヒョウ緲ハクノ月、皎潔ケウノ雪、烟山エン嵐ラン

レニ間カンシ、雲霞ウン霞カコレニ彩サイシ、晨レン憩ケイ宵游セウ皆殊シ致チアリ、此レ亭中ノ勝概ショウナリ

○亭ハ山下水ノ中央アウニアリ、高サ尋ジンニ倍ベセズ、廣サ丈チヲ累カサネズ、而シテ奇

ヲ撮トリ要ヲ得レ地ハ勝概ショウヲ搜サウリ、物ニ遜シ形ナシ、春ノ日ハ吾其草ノ薰クン々ト

シ木ノ欣キ々タルヲ愛ス、以テ和ニ導ビキ粹スヲ入レ、人ノ血氣ケツヲ暢ノズ、夏ノ日

ハ吾其泉ノ滄テイ々トシ風ノ冷レイ々タルヲ愛ス、以テ頌ハンヲ蠲クワンキ醒テイヲ折シキ、人ノ心

雜

情ヲ起スベシ○軒ハ竹樹アン匝サフ市ノ中ニ在リ、翠陰スイ雲ノ如ク、綠苔リョク茵インノ如

ク、奇花異草、其間ニ點綴テンシ、幽邃ユウ一綫セン、曲折キョクシテ軒下ニ達ス○庭園

ヲ買カヒ茶寮チヤヲ構クフ○小室ノ茶寮チヤ雅ニシテ華ナラズ○風亭水榭フウ○染

銅ドウヲ抛ハクチテ祝頌シヨ楮幣チヨヲ植クテ、禳祈ヘイスフスル○手テ竝ナラベテ偕トモニ作ル工コ

善ニシテ吏リ勤ムルホルノ○晨夜チンノカヲ展ベテコニ成ル○日ナラズシテ功ヲ

成ススル○躬親コンラ監視カンシテ以テ成ルニ至ル○大廈カ成リテ、燕雀エン相シ賀ハ

ス○新宅シンヲ營ムム頗ナ美ナリ○宅成ル甚ダ美麗ニ○釘頭テイ磷リン々々○瓦縫ワ

參差サン○鉅木キョ宏材コウ○堅實ケン精シツ立ツ○務メテ節儉セツニ從フセヌ○

用キル所ノ材木ヲ粗皮ヲ剝ハクラズ○屋壁ウハ聖アツセズ、梁リヤウ楹エイハ彩サイセズ○壁光ヘキ

然人ヲ射シル○木理モク緻密チニシテ、光澤カウ人ヲ鑑カンス○其臺キヲ瑤ニシテ、其室シツ

障簾

瓊ニスツルナ家 ○禹ハ宮室ヲ卑クテ起リ、泰ハ阿房ヲ作リテ亡ブ

家具 翠壁紗窗盡結構ノ妙ヲ窮ム ○綺窗繡簾 ○珠簾繡箔 ○句欄

輕簾 ○湘簾蒲席繞ラスニ 玻璃障ヲ以テス ○湘簾半捲キテ、繞ラ

スニ丁字ノ欄ヲ以テス ○湘簾高ク捲キ、紙障深ク掩ヒ、窗格ニ丁字ノ玻

璃ヲ嵌シテ、玲瓏透徹 ○玻璃ノ窗ヲ開キ、絨團ノ席ヲ敷ク ○葦簾深

ク鎖シテ、清香座ニ薰ス ○席牀ハ氈能ヲ布キテ、洋犬花ニ眠リ、窗戸ハ

繡幕ヲ垂テ、佳人霞ヲ撐グ ○層樓美麗ニシテ各室蕭洒或ハ全席

ニ氈能ヲ敷キ、或ハ四壁ニ繡屏ヲ回ラス ○室内粲然、席極メテ清潔 ○

室内瀟灑小ナレハ 狹カラズ粗ナレハ 自ラ麗シ ○内面ハ五彩ノ圖畫ヲ

以テコレテ文飾ス ○茵席瀟灑 ○壁柱ニ光澤アリ ○八席下面ノ華

席牀

器雜

氈ハ五彩目ヲ眩シ、九尺牀壁ノ畫幅ハ雅韻愛スヘシ ○沙壁ニ書畫幅

ヲ挂ケ、古色掬スヘシトコノマナ ○壁間ニ寶軸ヲ掛ケ、爐上ニ香烟ヲ裊ラス

○壁ニ地球ノ全圖ヲ掲ゲ、牀頭ニ六角ノ時器ヲ匾ス ○時器鏘々 ○

室房美ヲ盡クシ、器具佳ヲ聚ム ○器物整齊 ○器具ハ皆船品ヲ用ウ

○氈子美麗 ○牀帷新麗 ○筵席ハ渾テ氈能ヲ敷ク ○鐵瓶光澤

ニシテ、炭紅ニ灰白シ、火バチ ○煖灰ハ雪ヲ埋メ、鐵瓶ハ笙ヲ鳴ラス上 ○金

爐ハ麝ヲ燒キ古銅ノ鋤内ハ清湯竹筴ヲ沸カス ○蘭席筠榻、圖書山積

○書畫古玩、牀上ニ錯陳シ、茗爐香鼎、清梵喜ブベク、毫毛世間塵

坐ノ氣ナレ ○書一牀、畫一幅、花數本ヲ藝ウ ○中庭ハ盆景建蘭

ノ吉嘉ナル者、一二本ヲ窗ニ近キ處ニ列ネ、金鱗五七頭ヲ、盆池ノ内ニ

蓄カヒ、傍カニ洗セ硯ケン池チヲ置ク

例作

煉火石造ノ説

西 周

余嘗テ歐洲ニ遊テ、煉火石造ノ家屋ヲ見ル、其高キヤ五層六層、其廣キヤ二町三町、而シテ堅牢固結、揺スベカラズ、撓マスベカラズ、嶄然タル一片ノ石壁、四合スル者ナリ、近日、我新橋以北ノ街區、亦此法ヲ用ク、其堅牢固結、彼ニ如カザルモノアリト雖、亦觀ルベキアリ、嗚呼、何ゾ匠氏ノ巧ニシテ、獨リ柄政者ノ是ニ類セザルヤ、ソレ火石ハ其質堅緻ニシテ、其形方正ナル者ナリ、火石能ク堅緻、能ク方正、撓マス、曲ラズ、而シテ匠氏能ク之ヲ用キ、正ニ其堅緻ト方正トヲ利シ、累々層々、以テ

其高大ヲ致ス、今苟モ匠氏ノ石ヲ製スル、其質堅緻火石ノ性ヲ失フナラズ、其形方正ナラス、專ラカノ石灰ノカヲ恃ミ、強壓力逼シテ、以テ其累々層々ヲナサムト欲セバ、其石邊磨跳轉、正角漫磨シ、廉稜消毀シ、變シテ將ニ團々ナル者トナラムトス、則チ匠氏亦何ヲ恃ミ、以テカノ高堂大廈ヲ構スルヲ望マムヤ、以上石今有司ニシテ、其下ニ遇スル強壓力逼、以テ各個人々ノ權分ヲ權損ス、則チ人々已ガ權分ヲ存保スルコト能ハス、遂ニ變性ジテ團轉流活以テ俗ヲナスニ至ラムトス、苟モ團轉流活、一夕ビ俗ヲナスニ至レバ、間亦剛毅強直ナル者アリト雖、亦碌々世ト推移セザルヲ得ズ、猶數十方正石ノ、カノ團々ナル者ト

相盪磨スルガ如シ、幾クカソレ其廉角ヲ存スルヲ得ムヤ、況
 ヤ有司ノ人ヲ遇スル、其權分ヲ虧損シ、且姑ク我意ニ隨テ、汝
 ガ方正ヲ枉ゲヨト云ハシ、猶匠氏ノ石ノ方正ヲ利セズ、擅ニ
 槌斷斧斫シテ、以テ其用ニ適セムトスルガ如シ、亦馬ゾ其槌
 斷斧斫ノ處、異日壞崩滅裂ノ地タルニ非ザルヲ知ラムヤ、
 人ヲソレ堅緻方正ハ、火石ノ性ナリ、人民ノ權分ヲ守ルハ、亦
 人ノ性ナリ、今苟モ一旦其性ヲ變ジ、石ヲシテ團々ナラシメ、
 人ヲシテ圓活ナラシメバ、匠氏其巧ヲ盡シ、柄政者其能ヲ窮
 ムト雖、亦將ニ其力ヲ施スノ地亡カラムトス、今夫數丈ノ壁
 間、一個ノ火石、脆疎ニシテ窳脆スレバ、餘石ノ堅緻ナル者、亦

從テ陷ル、則チ支離滅裂、亦壁ノ一面ニ及バムトス、故ニ匠氏
 ハ、一石ノ質ヲ輕ンゼズ、柄政者ハ、匹夫ノ權ヲ慢ラズ、以テ能
 ク其功ヲ成ス、況ヤ本邦ノ如キ、火石素ヨリ脆疎ニシテ、人民
 ノ權分、殊ニ薄弱ナルヲヤ、維新ノ初、制度簡疎、人々頗
 ル振フノ氣アリ、今日ニ至リ、文恬武熙、萎靡復風ヲ成ス、況ヤ
 百度更張シ、節目頗ル備ハル、從テ強壓力逼ノ蔽、生セザルヲ
 得ズ、煉火石造ノ説ヲ作ル、

園池

附 養魚

松竹

盆栽 盆景

瓶花

籬門

土橋甚狭ク、柴門殊ニ卑シ、
 扉扉畫掩ヒ、閒庭晏然、
 權籬内ヲ屏

ヒ、水其外ヲ繞ル、
 石塵ナク、修竹門ヲ掩フ、
 門ニ劔喙ナ

刀學仁文指掌 二編 煉火石造ノ説 園池 全七

ク、松影參差同上、剥啄ハ門ヲタクオトナリ○一古松アリ、蒼然トシテカキシト牆外ニ聳ユ○老松

鬱葱ウツソウ高ク牆外ニ出ツ○牆外ヨリコレヲ望ム、境極メテ遠、奥、常人ノ居

ニ非ザルニ似タリ○竹樹緑密ニシテ、自然ニ籟カキヲ成ス○外護ノ闌竹カコヒ一

二條、蒼松翠蓋スネ、カキノ下、修竹茂林ノ中ニ結ブニハ、内オトヘテ○門ニ入り東北

ニ循ヒ、小徑ヲ行キ、紆折ユ、セウス、窪キ處ハ、輒木ヲ架シテ橋ト為ス○小徑

數十歩、路窄クシテ、線ノ如シ○一徑帶ノ如シ○竹樹茂密、鬱然トシ

テ徑ヲ夾ム○欹竹數竿、松陰徑ニ滿ツ○竹徑松籟、儘目ヲ娛マレム

ルニ堪ヘタリ○水ニ臨ミテ、亭ヲ築キ、以テ景致ヲ占ム○樓アリ、翼然、

遠クシテ、愈遠亭アリ、洒然清クシテ、愈雅○水碧紅欄、注射發揮ス

○宅ヲ環リテ、皆流泉、奇石○盆ヲ用キテ、池ト為シ、甕ヲ以テ、牖ト

為シ、牆ハ肩ヨリモ高ク、屋ハ斗ヨリモ大ナリ○窗外ノ芭蕉、綠ヲ分ツ

○綠葉横窓、窗ヲ侵シ、屋ヲ凌ギ、羈束スベカラズ、芭蕉○蒼鮮階ニ盈

チ、落花徑ニ滿ツ○苔草階ヲ没ス○牆邊ニ竹數竿ヲ種エ、庭砌ニ

苔數點ヲ上ス○園ニ小砌アリ、竹疎ニシテ、松暗シ○庭砌ニハ、則一株

ノ松、三竿ノ竹○雨漬シテ、苔生シ、緑褥愛スベシ○奇花修竹、左右

ニ布列ス○稚松嫩竹、苔石ト相間ハル○松陰暗キ處ニ、一ノ石燈籠

ヲ建ツ○石燈籠ハ、長トヘニ半月ヲ貯ヘ、洗手盤ハ、常ニ清水ヲ漲ラス

○石燈竹籬、嘉丹幽草、其間ニ點綴シテ、位置ノ宜キヲ得タリ○蒼

蘿嬈娜トシテ、秀石ソウシキ、嶺リョウ、怪石クワイシキ、森然、四隅ヲ周ル○一座ノ怪石アリ、

苔蘚斑蝕シ、狀極メテ奇古○怪巖奇石、恣態萬狀、駢筍ノ若キア

刀學作大旨等 二編 園池 八十八

山假

霊芝ノ如キアリ、危塔穹閣ノ若キアリ、怒猊渴驥ノ如キアリ、愈出
 デ、愈奇ナリ ○假山ヲ築キ池沼ヲ設ク ○石ヲ疊ミテ峰ト為シ、環
 ラスニ小池ヲ以テス、峭壁ノ巉トシテ澄潭ノ中ニ峙ツガ如シ、旁ニ花木
 ヲ雜ヘ植ウル十餘株、石ヲツミテ作リ、園右ニ小丘アリ、緑樹背ヲ掩ヒ、花
 木腰ヲ繞ル ○之字ノ小坂、蜿蜒シテ頂ニ達ス ○舍ヨリシテ東ニ迤スレバ、
 地勢漸高クシテ、土山隆起ス、磴ヲ躡ミテ登レバ、函根足柄ノ諸山、螺黛
 稠疊シ、而シテ岳雪ハ爛然、朗ニ天半ニ出ヅ ○水ヲ蓄ヘテ小瀑ヲ作ル
 ○辟頂ニ一瀑ヲ掛ク、銀繩條落シテ、半潭ニ墜ツル時、綵々灑々トシ
 テ、一束ノ碎雨ニ似タリ ○水灑々然トシテ石間ヨリ注出ス ○泉アリ
 石竇ヨリ出ツ、雪花ヲ噴クガ如シ ○欄外ノ雙瀑、石澗ノ中ニ瀉グ ○

瀑

泉

池

竹樹翁鬱ノ間、飛泉ヲ掛ク、直下スル一丈餘、白練ヲ曳クガ如ク、
 テ潭ト為ル、潭廣サ數十畝、淵遠、清畜、色碧玉ノ如シ ○微泉冷々
 トシテ巖中ヨリ出ヅ ○水涼々トシテ竹間ヨリ流レ去ル ○一帶、
 ヲ遶リテ流ル ○水洞中ヨリ出テ、鏘トシテ鳴ル、琴筑ノ如シ、水オトノ
 流泉消々トシテ、庭際ヲ環繞ス ○沿池、磚甃 ○一泓澄碧、コレニ鑑ス
 レバ、鬚眉皆緑トリ ○藍碧一泓、游魚潑刺シテ水ヲ出ヅ ○池水派
 分シ、旋リテ垣側ニ注ギ、涼々トシテ、鳴玉ノ如ク然リ ○晶々ノ色ハ以テ
 目ヲ養ヒ、涼々ノ韻ハ以テ耳ヲ養フ ○檻ニ俯シテ聽ケバ、則チ循フノ
 水、池ニ注ギ、澗々然トシテ、溪湍ノ聲ノ如ク、堂ニ坐シテ、屬スレバ、
 則幽禽ノ波沙沙タル、野雲ノ摇曳スル、皆鏡中ニ在リテ、水底ノ天、倒植ノ

橋

魚禽

木樹

樹、真幻相映ズ ○池北ニ渠アリ川ニ至ル其末漸廣クシテ、潮上ル毎ニ鱸

魚網スベシ ○石橋隆起 ○曲木橋ヲ架シテ以テコレヲ通ズ ○斜メニ

鴈齒ノ橋ヲ通ス ○禽魚翔泳シ多ク欄檻ノ前ニ會ス ○水清クシテ

魚聚マリ、木茂リテ鳥樂ム ○池中ノ龜無數石上ニ集マリ頭ヲ縮メ甲

ヲ曬ス ○雞犬閒暇、鳥鴨浮沈ス ○巧語綿蠻、愛スベシ ○小鳥ナドカサヒ

君蛙閣々トシテ善ク鳴キ、鼓吹ヲ奏スルガ如シカハズノ声 ○梅ヲ植ウル

前後數百株、軒窗相對シ、恰孤山ノ想アリ ○梅林數株、横斜枝ヲ交

フ ○桃花ヲ栽エ林ヲ成ス、宛一玄都觀ナリ ○櫻數十章アリ、花時ハ

香雲ノ如シ ○老櫻アリ、高サハ三尋有餘、圍ミハ三四人抱バカリ、修條

交攢シ、數十歩ヲ陰ス、春時ニ當リテ、紛白、韓々、欄ニ凭リテ望ムベシ ○

垂枝櫻數十株アリ、紛披亂發ス ○藤花ハ老樹ヲ絡ヒ、開キテ空中

ヨリ垂ル ○園ノ西隅ニ藤棚アリ、樹古リテ大ナリ、春夏ノ交ゴトニ、垂綬

若々、紫艷目ニ眩ス ○映山紅ノ高サ七八尺ナル者アリ ○躑躅花開

キ、水變ジテ猩血ノ色ヲ作ス、水ハウツリタサマ ○巖上ノ杜鵑花、影ヲ池水ノ

中ニ倒ニシ游魚其間ニ潛躍ス ○燕子花、碧水ト相映發ス ○満池

ノ紫氣、掬スベシ、花カキタシ ○榆柳合圍シテ、叢生蔓植、春夏間、緑陰

千頃、絮花蒙密ニシテ、雪中ヲ行クガ如シ ○紫雲地ニ垂レ、白露珠ヲ綴

リ、羣虫聲ヲ弄シテ、訴フルガ如ク、哀ムガ如シ、秋花カサキ ○菊花ハ爛トシテ

錦繡ノ如シ ○瘦竹ハ幽人ノ如ク、幽花ハ處女ノ如シ ○幽花、果卉、其

間ニ紛錯ス ○雜木扶疎、衆草蔓蕪、四時日トシテ、花ノ開カザルハ莫シ

○霜華ノ染ムル所、林容一變ス秋木スゴウ○霜葉エヲ弄シ夕陽ト相映
 ジ、彩霞ノ如ク、錦綺ノ如シ○亭南ニ池塘アリ、楓錦コレヲ暮ヒ、水光
 苔色ト相掩映ス○矮橘數樹アリ、子ヲ結ブ無數、枝ヲ壓シ折レント欲ス
 ○培養ノ久キ鬱然トシテ成木ニ、歳ニ實數百顆ヲ結ブ、秋冬ノ交、風
 高ク霜相降ル、仰ギテコレヲ觀レハ、黄金離リヤトシテ、奇香人ヲ襲オソフ類○
 翠竹萬竿、森立シテ路ヲ抱ク○琅玕數十竿アリ、澗ニ臨ミ林ヲ成ス、
 修幹秀拔シテ、勢天ヲ衝カント欲ス○樓前ノ竹木、掀翻シテ舞ハント
 欲ス、而シテ簌々ノ聲來リテ、樓瓦ヲ擊ツ○矮松ヒキ檜ヒキヲ成ス○長再松
 アリ、竹離外ヨリ小衙門ニ枕シ、三偃蓋ヲ成ス○梁ヲ度リテ東スレバ、一
 偃松アリ、低レテ水面ヲ拂ノ○堂外ニ松多ク、風謾々トシテ起レバ、聲

涼琴清瑟ノ如シ○柏ヲ揉メテ麋鹿ノ形ヲナス、柏毛方ニ怒リ、長翠濯
 濯トシテ玩ブベシ○一株ノ槐樹アリ、葱鬱千尺、厦屋ヲ陰蔽ス○桂
 樹奇芬、仙馥人ヲシテ、翛然トシテ高情清意アラシム○古藤樹ヲ繞リ、
 屈蟠スル一龍ノ如シ○葛蘿タカラ松マツ梢セウヲ纏マツフ○紫篁翠柏アリ、閒フルニ
 修竹高柳ヲ以テス、赤日蔽フベシ○苔老イ樹密ニ、竹下ニ叢ト、松七
 八株トアリ○前ニ碧梧ヲ栽エ、後ニ翠竹ヲ種ウ○古梅修竹ハ、喬松
 壽藤ト相掩映ス○喬松數株、修竹千竿○桃李茂密ニ、桐竹陰ヲ
 成ス○古木槎枒トシテ、半ハ枝葉トシ○世ノ園ヲ為ル者、松柏ノ屬ハ、
 剪縛シテ禽トナシ、獸トナシ、山茶杜鵑ノ屬ハ、結構シテ塔トナシ、亭トナ
 シ、竹掛ハ、板列シテ垣トナシ、塙トナスヲ作ケテ○凡、植物ノ性、其本ハ舒ビ

雜

一ヲ欲シ、其培ハ平カナラン一ヲ欲シ、其土ハ故クラン一ヲ欲シ、其築ハ密ナラン一ヲ欲ス、ホノ養○枝ノ振レル者ハ、洗シテコレヲ除キ、花ノ萎ム者ハ前カリテコレヲ去ル○池臺ヲ飾リ、花石ヲ聚ム作ケ○園池ヲ設ケ、臺榭ヲ布ラス、臺ハ高ク盛リタル者ニテ、ナガメナドヲスル○山水ノ美ヲ包有ス○風景佳麗ニシテ、宛圖畫ノ如シ○書屋ノ前ニ曲檻ヲ列ネテ花ヲ栽エ、方池ヲ鑿キテ月ヲ浸シ、活水ヲ引キテ魚ヲ養フ○石ヲ疊ミ池ヲ鑿キ、花ヲ栽エ竹ヲ種ク、頗林泉ノ趣饒シ○花卉ノ鮮媚、禽蟲ノ和鳴、月露雨雲、佳ナラザル所ナシ○境僻ニシテ樹密ニ、車馬ノ聲聞エズ、幽花奇石、曲沼邃榭、翛然トシテ世ト相隔ツカ如シ○衡宇蕭然トシテ、水竹清幽、門外ノ塵囂ハ、風馬相及バズ○地ヲ闢ク數歩、空ヲ築ク數楹、椽ヲ插

ミテ籜離ト作シ、茅ヲ編ミテ亭ト為ス、一畝ハ以テ竹樹ヲ蔭ヒ、一畝ハ以テ花菓ヲ栽ウ○栽培位置、自然ニ宜キヲ得、而シテ水コレニ洒ギ、篋コレヲ掃ヒ、門ニ入レバ則清梵ノ氣、自ラ韻趣アルヲ覺ユ○暇日ハ則杖ヲ曳キ園ヲ歩シ、環堵ノ地歩ヲ移スニ處ナレト雖、一草一木、亦以テ顔ヲ怡バシメ趣ヲ成スニ足レリ○池ヲ鑿キ流ヲ引キ、樹ヲ種エテ以テ休息ノ所ト為ス○塵市ヲ去ル一僅ニ百歩、超然トシテ物外ノ趣アリ○僅ニ游覽、燕嬉ノ適ニ資スルノミ、遊樂ムタメカ○盤桓以テ微倦ヲ消スルニ足レリ、セバキニハ○徘徊スル一コレヲ久シテ心甚樂メリ○余數其間ニ行

今ス○童ヲ畜ヘ園ニ灌ギ草ヲ薙ル

養魚池ニ嘉魚ヲ養ヒ、日夕觀娛ス○小魚ヲ生致シ、コレヲ池ニ畜フ

二十許尾○大ナル者ハ指ノ如ク、細ナル者ハ箸ノ如ク、頤ヲ支ヘテコレヲ觀ル○游魚為ニ躍リ、織波碧ヲ揺カス○浮藻ト居リ、緑荷ト戯ルウヲ○人至レバ則チ荷盤符帶ノ下ニ隱レ、去レバ則チ顯ル上○魚アリ數百尾、方ニ來リテ石下ニ會ル○織魚出游シ、人ト狎玩スル者ノ如シ○游魚百餘頭皆水面ニ唼嚼スルノ霞駁ノ如シ○投スルニ香餌ヲ以テスレバ、則チ鬚ヲ揚ゲテ來ル、コレヲ吞メバ輒去ル○鬚ヲ鼓シ、腮ヲ露シ、馳逐追隨シテ、交一菓ヲ爭フ○赤鯉一口ニコレヲ奪フテ去ル上○藻ニ戯ル、者アリ、萍ヲ啜フ者アリ、影ヲ顧テ自ラ喜ブ者アリ、人ノ語ニ驚馬キテ深ク藏ル、者アリ、千頭ハ自ラ千様ノ趣アリ、百尾ハ自ラ百色ノ態アリ、蜀江ニ錦ヲ濯ヒ、武陵ニ桃花ヲ涵スガ如シ○金魚ナドノキ○霞ヲ浮ベ楓

ヲ流シ、觀ル者ヲレテ心醉ヒ目眩シ、應接ニ暇アラガラシム上○圍々馬洋々馬魚ノ水中ヲ行クサマ○波ニ隨フテ浮沈ス○浮ブニ胞ヲ以テシ、游グニ翅ヲ以テス

松 蒼翠天ヲ蔽フ○鬚甲天矯トシテ、蛟龍ノ如シ松ノ○虬幹木林挺、龍鬚奮磔○幹屈シ條垂ル○累石ニシテ節自多シ○參差交互シテ天造ノ巧ヲ具フ○松風ヲ得レバ、則チ瀟然幽然、鏘々然トシテ、笙簧ヲ奏スルガ如ク、琴瑟ヲ彈ズルガ如ク、鳳凰ノ和鳴スルガ如シ○風來リテコレニ觸レハ、則チ謾々トシテ聲ヲ作ス、波濤ノ如ク、細雨ノ如シ○蒼々々

ノ色ハ其目ヲ娛マシメ、謾々ノ聲ハ其耳ヲ娛マシム○蒼々々トシテ素月ヲ迎ヘ、謾々トシテ清風ヲ起ス○隆冬ヲ經ルモ凋マズ、霜雪ヲ蒙ルモ

變ゼス○歲月ヲ歷ルモ柯ヲ改メズ、氷雪ヲ經ルモ色ヲ易ヘズ、枝葉美

幼學作文指掌

二編 養魚 松 九十三

盛ニシテ、蒼翠光潤 ○輪困庭ニ蟠リ、駁水ヲ貫キテ益秀テ、積雪ヲ

載セテ重シトセズ、鬱然トシテ後凋ノ色ヲ逞フス ○其始メテ生スルヤ、

木々トシテ凌雲ノ志アリ、既ニ老エルヤ、鬱然トシテ傲霜ノ節アリ、コレ

ヲ家室ニ施セバ、則棟梁ノ材アリ、コレヲ汗海ニ用ウレバ、則舟楫ノ利アリ

○古人特ニ松ヲ愛ス、庭院ニ皆松ヲ植エ、毎ニ其響ヲ聞キ、欣然トシ

テ其下ニ往キテ、曰ク、此レ一年ノ塵胃ヲ浣盡スベシ ○地ハ松ニ宜シク、

到ル處、禁々トシテ陰映ス ○雙松樹、植立千尺、黛色天ニ接ス ○蒼

鬚再黛色、影ヲ溪流ニ浸ス ○枝ハ雲漢ヲ擾シテ、聲ハ風雨ヲ挾ミ、根ハ地

ニ入ルヲ幾百尺ナルヲ知ラズ ○五鬚巖ノ状タル、嶽崎龍窟、虎跛

○松柏ハ百木ノ長 ○歳寒カラザレバ、以テ松柏ヲ知ルナシ

竹 窈窕タル幽徑、緑玉萬竿、竹ノウル ○翠竹娟々上 ○密竹林ヲ

成ス ○修竹千竿、大ナル者ハ皆七寸圍アリ、盛夏モ日ヲ見ズ ○巨竹

千挺儼トシテ相持スルガ如シ、竹ノイキホヒヨ ○巨竹萬竿、争フテ雲ヲ如ス

同 ○青葱峭蒨、天ト色ヲ竝ブ、竹ノアラク ○翠色ハ簷ヲ拂フテ上ル同 ○

流翠滴レント欲シ、清涼掬スベシ、夏 ○琉璃琅玕、翠浮ビ碧流、四時

ヲ貫キテ變ゼズ ○瀟洒ニシテ疎ナラズ、密ナラガルノ趣アリ ○清奇疎

快ノ氣アリ ○烟翠靄々トシテ、寒聲蕭然 ○風來リテ竹動キ、日影

揺碎シテ、方圓定ラズ ○輕風ユレテ吹キ、碧影俱ニ動ク、遠近ヲ辨セズ

○摇曳影ヲ弄ス ○碎影地ニ滿ッ ○露ヲ承ケテ態アリ、月ヲ竹節フテ

陰アリ、雨ヲ帶ビテ色アリ、風ニ觸レテ音アリ、疎密横斜ニシテ、清妍瀟

灑

洒人ヲシテ 怡然トシテ 眼怡バシム ○君子ハ徳ヲ竹ニ比ス、夫ノ勁本堅

節ニシテ、雪霜ヲ受ケザルハ 岡ナリ、緑葉ノ萋々トシテ、翠筠ノ浮々タルハ

柔ナリ 虚心ニシテ直ク、隱蔽スル所ナキハ忠ナリ

庭中ニ石ヲ敷キ、盆栽ノ花ヲ列ヌ ○粉牆掩映シ、朱欄曲

護スタル場所ナドノサマ ○盆卉數種、玉ヲ養ヒ碧ヲ培ス ○松、高サ尺ニ盈ツ

ベク、本大ニシテ臂ノ如ク、針毛短竹族結ビテ 歌斜詰曲ノ狀ヲ為ス ○岡

陵ノ巔ニ坐シ、孤松ト盤桓スルガ若シ 盆裁ノ松ヲ ○松林深處ニ入ルニ似タ

リ、人ヲシテ六月暑ヲ忘レシム上 ○大夫ノ松、君子ノ竹 ○高サ五六寸、

細葉老幹、瀟疎人ニ可ナリ 竹ノ ○清標雅質、疎朗ニシテ繁カラズ、玉

立亭々儼トシテ 隱人君子ノ若ク、清素人ニ逼ル上 ○盆植數竿、便

渭川ノ想ヲ生ス 盆裁ノ竹ヲ、 ○錢蒲ノ細葉ナル者ハコレヲ栽ルニ石ヲ以テス

○冰底ニ五色ノ小石子數十ヲ置キ、紅白交錯シ、青碧相間ハル、時

ニ清泉ヲ汲ミコレヲ養ヘバ、日ハ則天ヲ見、夜ハ則露ヲ見ル、特ニ玩ニ充

ルノミナラス亦邪ヲ辟クベシ 石藟 ○盆ニ換ヘテ盛ルニ、合抱ノ木木株ヲ

以テシ、緑四垂シ、花苞簇々トシテ、千萬ノ龍孫競フテ方ニ 勢ヲ出デント

スルノ勢アリ 蘭ノ ○幹ノ高サ尺ニ盈タズ、枝葉纖纖 南天 ○殷紅錯落

トシテ、サナガラ 鐵如意ノ珊瑚ヲ碎クガ如シ 上 ○枝葉青鬱トシテ、エ

子扶蘇點々綴ルガ如シ 枸杞 ○石長生ノ穿眼ヲ作ス者、索ヲ以テコ

レヲ垂ル ○石竹幾叢コレニ挿ムニ 桔梗ヲ以テス ○鳳尾蕉ハ麒麟角ニ

對シテ立チ、霸王樹ハ美人草ヲ擁シテ坐ス ○花ニ盆卉アリ、梅薰シ

蘭秀ヅヒイ○蒼鮮鱗ソウケンリン皴ソウトシテ、花身ニ封満フウマンシ、苔鬚タイシュ垂タラシレテ、或ハ長サ數寸、風緑絲フウキョクシヲ颺アハゲ、飄々トシテ玩モテブベシ、木カラハ若ク、老本オホホン虬曲キョクニシテ、其大サ拳ノ如ク、根ハ龍蛇ノ蟠結バンケツスルガ若ク、柯幹カカン蒼老ニシテ、束縛ソクバク盡ク解ケ、做手ソウテヲ露アツサズ、多ク態イアリテ、天生ノ若ク然リ、木ハフル、○摎曲キョク古拙コソツニシテ、

○木小交參コウソウハリ、枝葉古朴コボクニシテ、唐畫ノ風趣フウクアリ、○奇狀キジョウヲ呈テイシ、異様イサマヲ抜ク、○種々趣ソウソウソウヲ殊コトニス、○萬卉千花マンカイセンカ、高低羅列タカヒトシラレツス、○葉ノ間色マノイサハアル

者○寸莖千金ウエホノネノタカキ、○盧幹ロカンヲ樹キテ、枝エダニ杖ツヅス、○傍カタクニ小巧コウコウノ奇石キセキ一塊イツクワンヲ立ツツ、○古雅コウガノ盆ヒツニ、奇峭キセウノ石イシヲ佐サト為スス、○清陰セイイン室シツニ満ミツ、○果

紫濃シロ紅ベニ、交加コウカ雜植ソクシツス、○奇キヲ鬪ウツハシ、異イヲ競キツフ、○葉ノ間色マノイサハアル、○葉ノ間色マノイサハアル

○寸莖千金ウエホノネノタカキ、○盧幹ロカンヲ樹キテ、枝エダニ杖ツヅス、○傍カタクニ小巧コウコウノ奇石キセキ一塊イツクワンヲ立ツツ、○古雅コウガノ盆ヒツニ、奇峭キセウノ石イシヲ佐サト為スス、○清陰セイイン室シツニ満ミツ、○果

香庭カウテイ戸ドニ満ミツ、○期キニ届ツキレバ、各オノオノ蒔マキ植家シツカ佳種カシユヲ以モテ會カヒニ入ヒル、斐ヒ凡ソウ湘シヨウ簾レン磁チ盆ヒツ竹格チクカク、陳設チンセツ幽雅ユウガ、○盆栽ヒツカシノ佳木カシハ、瓶插ビンサツノ名花メイカト、多々オホク益タマ位イ置チノ宜ヨシキヲ得エテ、紅翠ベニソウ相映ソウオウジ、紫白ムラサキシロ觀ミヲ賣ウリ、人ヒトヲシテ香氣カウキ鬱ウツク郁ウツクノ中ナカニ、應オウ接ケツスルニ暇イダノカラシム、○目眩メクラシ神搖カミユラキ、人ヒトヲシテ心醉ココロヰハシム、盆栽ヒツカシノ下シタガ多オホクアリ、○花ハナヲ愛アイスル者モノ、重オモク値チヲ以モテコレヲ購カウフ、甚オホクニキハ下シタ花ハナノ值チ、數十オホク金カネナルニ

至イル、○盆池ヒツイ拳石ケンシツノ間マ、烟霞エンカ具足グゾクス、○蒼崖ソウガハ倒タラシニ懸カリ、緑苔キョククサ錯サカ綴セツス、○溪ケイ水スイニ濱ヒナシテ、竹チクヲ種タネウル、丁チヨウ竿カン○泉セン瀧タケ々タタトシテ、其上ウヘニ流ナル、○鳥トリ路ロ水スイ由ユニ飛トビビ、麋鹿ミロク古徑コケイニ遊アソブ、○文魚モンイサ細藻サイソ、其中ウチノナカニ浮游ウキユウス、○一園イツエン手テ掌シヤウノ大オホクニシテ、草木ソクボク蒙茸モウジョウシ、禽魚キヌイサ往來ウラキス、○三山サンサン五岳ゴク、百洞ヒャクドウ千壑センカク、觀ミ縷ルニ簇クワリテ、盡ツク其中ウチノナカニ在アリ、百仞ヒャクジンモ一イツ拳ケン、千里センリモ一イツ瞬シュン、坐イマカラニシテ、得エサキ中ナカニ具ツクリ、

景盆

景盆

景盆

景盆

景盆

景盆

景盆

景盆

景盆

景盆

景盆

景盆

景盆

景盆

景盆

景盆

景盆

景盆

景盆

瓶花 籃中ニ百花ヲ插ム、紅紫爛漫トシテ、馥郁香ヲ吹ク○銅瓶ニ花

卉ヲ插ミ、奇香人ヲ襲フ○膽瓶長ナニ春ヲ插ム○下木花瓶ヲ置キ、百

花ヲ合插シテ、四時春ヲ貯フ○奇花異草ヲ插ミ、香氣鼻ヲ撲ツ○

滿樓馥郁馨香ナラザルナシ○瓶ニ小大矮高ノ形アリ、花ニ疎密正斜

ノ態アリ○低昂俯仰長短疎密肥瘦正斜各其宜キヲ得タリ○俯

仰高下、斜正疎密皆意態アリテ、畫家寫生ノ趣ヲ得タリ○花ヲ瓶

ニ插ムニ、唯一兩枝ナレバ、横斜參差、偃仰向背、自然ノ姿致ヲ具ハス、數

枝ヲ湊合スレバ、終ニ態ヲ成ス、一能ハズ○堂供ハ高瓶木枝ヲ須テ、方ニ人

意ヲ快クス、山齋ノ玩ニ充ツルガ若キハ、瓶ハ宜ク短小ナルベク、花ハ宜ク瘦

巧ナルベシ○花ヲ養フハ、瓶モ亦須ク精良ナルベシ、譬ハバ玉環飛燕ノ著

例作

茨ニ置クベカラザルガ如シ○清窗靜室ノ雅趣ヲ添フ、漆フ、イケガナラカ

麻溪紀勝 櫻戀春容

林 鶴梁

漫馬トシテ、斯雲カト疑フ、而ルニ色ハ則艶ナリ矣、翻馬トシ

テ、斯鷺カト訝ル、而ルニ香ハ則淡ナリ矣、姿態妖冶ニシテ、韻

致ハ蕭洒ナル、又雪華柳絮ノ喩フバ、キニ非ス、豈櫻花ノ春容

ヲ逞フスル者ニ非ズ、耶、都人往々花ヲ飛鳥墨陀ニ賞ス、其花

多キヲ以テナリ、而シテ相馬氏ノ邸内ハ、岡巒疊連、挺拔シテ

凸地清ニシテ、趣幽境ト花ト稱ヘリ、此ヲ麻溪ノ第一勝トナ

ス、但之ヲ飛鳥墨陀ニ視ルニ、花數半ヲ望ム能ハズ、然レ氏飛

鳥墨陀ハ、則遊客雜遝ニシテ、頗殺風景トナス、獨此花幽清ノ境

刀學作文指掌 二編 瓶花 麻溪紀勝 九七